

平成28年度使用  
中学校用教科書選定資料

平成27年6月

大分県教育委員会

\*\*\*\*\*も く じ\*\*\*\*\*

はじめに	1
基本方針	2
調査研究の観点	3
国 語	4 ～ 7
書 写	8 ～ 11
社 会（地理的分野）	12 ～ 15
地 図	16 ～ 17
社 会（歴史的分野）	18 ～ 23
社 会（公民的分野）	24 ～ 29
数 学	30 ～ 35
理 科	36 ～ 39
音 楽（一般）	40 ～ 41
音 楽（器楽合奏）	42 ～ 43
美 術	44 ～ 47
保健体育	48 ～ 51
技術・家庭（技術分野）	52 ～ 55
技術・家庭（家庭分野）	56 ～ 59
英 語	60 ～ 63

※種目の記載順は、大分県教育委員会による。

## はじめに

大分県教育委員会では、このたび「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定に基づいて、平成28年度から使用する中学校教科用図書の選定資料を作成しました。

この選定資料は、種目ごとに調査員が、慎重に調査研究を行い、協議を重ねた上で作成したもので、学習指導要領の目標及び内容に基づいて設定した「調査・研究の観点」からそれぞれの教科用図書の特徴を明らかにしています。

各市町村教育委員会及び国立、県立、私立の義務教育書学校においては、この選定資料をもとに十分検討の上、生徒が学習する上で最も適切な教科書の採択が、公正かつ適正に行われることを希望します。

平成27年6月

大分県教育委員会教育長

工 藤 利 明

## 平成28年度使用教科用図書の採択に関する基本方針

- 1 採択権者は、その権限と責任において、主体的に採択を行うこと。
- 2 調査研究のための組織の構成、調査員の人選等は公正中立に行い、法令の趣旨に沿って採択の手順、手続きの適正化を図ること。
- 3 採択に当たっては、採択権者は教科書についての十分かつ綿密な調査研究に基づいて適正かつ公正な採択を行うこととし、宣伝等にまどわされることなく採択の適正を期すること。
- 4 地域の実態や自然的・文化的諸条件を考慮し、地区内の生徒に適した教科書の採択を行うこと。
- 5 採択終了後は採択結果及び採択理由等を公表するなど、採択に関する情報の公開に努め、開かれた採択を推進すること。

## 調査研究の観点（中学校）

教育基本法、学校教育法に示す教育の目標の達成に資するよう調査研究にあたり、次の主眼を設定する。

- ①学習指導要領に示された目標や内容に基づいて、そのねらいを達成しやすくするために、編集の上でどのような配慮がなされているか。
- ②幅広い知識と教養、自ら学ぶ意欲や、主体的に学ぶ力が身に付くように配慮されているか。

また、主眼に基づき全教科共通観点及び各教科独自観点を設定して調査することとし、全ての教科書を比較検討し、それぞれの特色をまとめる。

### 【全教科共通観点】

- 1 単元・題材の構成及び内容の取扱い
  - (1) 学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。
  - (2) 単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らし、どのように示されているか。
  - (3) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。
- 2 文章表現、資料等
  - (1) 文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。
  - (2) 資料・手引き等が有効に使われ、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。
- 3 挿絵・<sup>まし</sup>図表及び紙質・造本
  - (1) 挿絵・図表・統計等が、どのように示されているか。
  - (2) 紙質・造本については、どのように示されているか。

### 【各教科（種目）独自観点】

- 学習指導要領に示された目標に基づいた各教科（種目）独自の観点を設定する。  
※各教科（種目）の最初のページを参照のこと。

1 学習指導要領に示された目標

【国語科の目標】

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

【各学年の目標】

	第1学年	第2学年	第3学年
話すこと・聞くこと	目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。	目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。	目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。
書くこと	目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考える的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文書を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。	目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫してわかりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文書を書いて考えを広げようとする態度を育てる。	目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文書を書いて考えを深めようとする態度を育てる。
読むこと	目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。	目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。	目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
ア伝統的な言語文化に関する事項		イ言葉の特徴やきまりに関する事項	ウ漢字に関する事項

2 調査研究の観点

(1) 話すこと・聞くこと	<p>① 目的や場面に応じ、相手や場に応じて話す能力や、考えを比べたり表現を評価したりしながら聞く能力、相手の立場を尊重し、課題の解決に向けて話し合う能力を高めることについてどのように示されているか。</p> <p>② 生徒が話したり、聞いたりして考えを深めようとする態度を育成することについて、どのように示されているか。</p>
(2) 書くこと	<p>① 目的や意図に応じ、構成を工夫して分かりやすく書く能力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>② 文章を書いて考えを深めようとする態度を育成することについて、どのように示されているか。</p>
(3) 読むこと	<p>① 目的や意図に応じ、文章の内容や展開、表現の仕方などの確にとらえ、評価しながら読む能力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>② 情報を集め効果的に活用する能力を高めるとともに読書を生活に役立てようとする態度を育てることについて、どのように示されているか。</p>
(4) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>① 古典に親しませ、伝統的な言語文化について関心を広げたり深めたりすることについて、どのように示されているか。</p> <p>② 国語の果たす役割や特質についてまとめた知識を身に付けさせ、言語感覚を豊かにすることについて、どのように示されているか。</p>

# 【 国 語 】

観 点		発 行 者	2 東 書	11 学 図																																									
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるように示されているか。</p>	<p>・単元と教材の領域ごとの数と割合</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>話す 聞く</td> <td>書く</td> <td>読む</td> <td>伝統 文化</td> <td>国語 特質</td> </tr> <tr> <td>大単元数</td> <td>4 32</td> <td>11 34.4%</td> <td>11 34.4%</td> <td>3 9.4%</td> <td>3 9.4%</td> </tr> <tr> <td>教材数</td> <td>9 112</td> <td>16 8.0%</td> <td>44 39.3%</td> <td>9 8.0%</td> <td>34 30.4%</td> </tr> </table> <p>・話し合いの単元に着目すると、1年「話し合いで理解を深めよう（グループディスカッション）」、2年「話し合いで問題を検討しよう（討論）」、3年「話し合いで問題を解決しよう（チャート式討論）」と発達の段階に応じて示されている。</p> <p>・単元の学習目標は、各単元のはじめのページに示され、各教材の目標は教材のはじめと終わりの「てびき」に示されている。</p> <p>・「言葉の力」で学習のポイントが解説されている。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」における言語活動の総数は24。</p>		話す 聞く	書く	読む	伝統 文化	国語 特質	大単元数	4 32	11 34.4%	11 34.4%	3 9.4%	3 9.4%	教材数	9 112	16 8.0%	44 39.3%	9 8.0%	34 30.4%	<p>・単元と教材の領域ごとの数と割合</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>話す 聞く</td> <td>書く</td> <td>読む</td> <td>伝統 文化</td> <td>国語 特質</td> </tr> <tr> <td>大単元数</td> <td>3 22</td> <td>2 9.1%</td> <td>12 54.5%</td> <td>3 13.6%</td> <td>2 9.1%</td> </tr> <tr> <td>教材数</td> <td>13 151</td> <td>14 8.6%</td> <td>71 47.0%</td> <td>17 11.3%</td> <td>36 23.8%</td> </tr> </table> <p>・話し合いの単元に着目すると、1年「お気に入りを発表しよう（インタビュー）」、2年「対立した立場で意見を深める（ディベート）」、3年「多様な意見の交差（パネルディスカッション）」と発達の段階に応じて示されている。</p> <p>・単元の学習目標は、各教材のはじめに示され、「学びの窓」の「ついた力を確かめよう」に評価の観点が示されている。</p> <p>・「学びの窓」に書き込みのスペースが設けられている。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」における言語活動の総数は12。</p>		話す 聞く	書く	読む	伝統 文化	国語 特質	大単元数	3 22	2 9.1%	12 54.5%	3 13.6%	2 9.1%	教材数	13 151	14 8.6%	71 47.0%	17 11.3%	36 23.8%					
		話す 聞く	書く	読む	伝統 文化	国語 特質																																							
	大単元数	4 32	11 34.4%	11 34.4%	3 9.4%	3 9.4%																																							
教材数	9 112	16 8.0%	44 39.3%	9 8.0%	34 30.4%																																								
	話す 聞く	書く	読む	伝統 文化	国語 特質																																								
大単元数	3 22	2 9.1%	12 54.5%	3 13.6%	2 9.1%																																								
教材数	13 151	14 8.6%	71 47.0%	17 11.3%	36 23.8%																																								
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引き等が有効に使われ、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・B5判で、第1学年末の1ページの字数は612（36字×17行）。</p> <p>・資料は巻末に「基礎編」「資料編」として示され、総ページ数は、310。内容は「基礎編」学びを支える言葉の力、文法解説、「資料編」読むこと、古典、話すこと・聞くこと、言葉の資料。</p>	<p>・B5判で、第1学年末の1ページの字数は720（40字×18行）。</p> <p>・資料は巻末に「言葉の学習」として示され、総ページ数は148。内容は、文法の学習、語句・語彙の学習、古典文法、古語、筆順、常用漢字表、文学史、口語・文語活用対照表。</p>																																										
挿絵・図表 紙質・造本	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<p>・「伝統的な言語文化」に関する本編中の写真の数は70、挿絵の数は17、資料編の写真の数は10、挿絵の数は0。</p> <p>・各学年1冊。</p> <p>・カラーユニバーサルデザイン、植物油インキ使用。</p>	<p>・「伝統的な言語文化」に関する本編中の写真の数は21、挿絵の数は24、資料編の写真の数は0、挿絵の数は1。</p> <p>・各学年1冊。</p> <p>・カラーユニバーサルデザイン、植物油インキ使用。</p>																																										
教科独自	話すこと	<p>①目的や場面に応じ、相手や場に応じて話す能力や、考えを比べたり表現を評価したりしながら聞く能力、相手の立場を尊重し、課題の解決に向けて話し合う能力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②生徒が話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育成することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・取り上げられている言語活動の形態は、リスニング、メモ、インタビュー、スピーチ、プレゼンテーション、グループディスカッション、討論。</p> <p>・技能を身に付けさせるために示された資料の数は、リスニング資料3、聞き取りメモ1、取材メモ4、構成メモ2、構想メモ2、発表メモ1、構成モデル3、情報整理モデル5、話し合いのモデル4、討論モデル1、発表モデル9、討論資料2、リンクマップ1。</p> <p>・学習過程が示されている教材数は9。そのうち振り返りまで示されている教材数は6。</p>	<p>・取り上げられている言語活動の形態は、インタビュー、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、パネルディスカッション、パブリックスピーキング。</p> <p>・技能を身に付けさせるために示された資料の数は、聞き取りメモ1、取材メモ1、構想メモ1、発表メモ1、取材モデル1、インタビューモデル2、話題モデル2、構成モデル1、構想モデル2、進行モデル1、発表モデル3、教室配置モデル2、その他3。</p> <p>・学習過程が示されている教材数は6。そのうち振り返りまで示されている教材数は6。</p>																																									
	書くこと	<p>①目的や意図に応じ、構成を工夫して分かりやすく書く能力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②文書を書いて考えを深めようとする態度を育成することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・「書くこと」の言語活動の単元数は16。</p> <p>・文章の形態は、観賞文・報告文・説明文・意見文・批評文・随筆・手紙・創作（詩・短歌・俳句・物語）・新聞。</p> <p>・16教材のうち学習過程が示されている単元数は9。推敲を含む単元数は3。</p>	<p>・「書くこと」の言語活動の単元数は6。</p> <p>・文章の形態は、紹介文・意見文・批評文・随筆・創作（詩・物語）・新聞。</p> <p>・6教材のうち学習過程が示されている単元数は5。推敲を含む単元数は1。</p>																																									
	読むこと	<p>①目的や意図に応じ、文章の内容や展開、表現の仕方などの確にとらえ、評価しながら読む能力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②情報を集め効果的に活用する能力を高めるとともに読書を生活に役立てようとする態度を育てることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・「てびき」（手引き）に、文章の理解・解釈に関わる「読みとる」と、文章の熟考や評価に関わる「考えを深める」の2段階の課題が示されている。</p> <p>・文学的文章の教材数（伝統的な言語文化に関する教材は除く）は28。</p> <p>・説明的文章の教材数は16。情報に関する内容は3。</p> <p>・図書館利用に関して、読書に親しむ教材数は9、図書を利用して調べる教材数は1。</p> <p>・紹介されている図書数は1年93、2年93、3年89。</p>	<p>・「学びの窓」（手引き）に、文章の理解・解釈に関わる課題が示されている。</p> <p>・文学的文章の教材数（伝統的な言語文化に関する教材は除く）は56。</p> <p>・説明的文章の教材数は15。情報に関する内容は0。</p> <p>・図書館利用に関して、読書に親しむ教材数は6、図書を利用して調べる教材数は0。</p> <p>・紹介されている図書数は1年40、2年38、3年33。</p>																																									
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>①古典に親しませ、伝統的な言語文化について関心を広げたり深めたりすることについて、どのように示されているか。</p> <p>②国語の果たす役割や特質についてまとまった知識を身に付けさせ、言語感覚を豊かにすることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・伝統的な言語文化に関する出典数は10。</p> <p>・1年は「伊曾保物語」「竹取物語」「故事成語」2年は「枕草子」「徒然草」「平家物語」「漢詩」3年は「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」「おくのほそ道」「論語」。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>音声</td> <td>言葉 遣い</td> <td>語句 語彙</td> <td>文法</td> <td>表現 技法</td> <td>漢字</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>3.0</td> <td>9.1</td> <td>15.2</td> <td>33.3</td> <td>3.0</td> <td>36.4</td> </tr> </table>		音声	言葉 遣い	語句 語彙	文法	表現 技法	漢字	数	1	3	5	11	1	12	割合	3.0	9.1	15.2	33.3	3.0	36.4	<p>・伝統的な言語文化に関する出典数は11。</p> <p>・1年は「竹取物語」「宇治十景物語」「故事成語」2年は「平家物語」「徒然草」「論語」3年は「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」「枕草子」「漢詩」「おくのほそ道」「遠野物語」。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>音声</td> <td>言葉 遣い</td> <td>語句 語彙</td> <td>文法</td> <td>表現 技法</td> <td>漢字</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>6.1</td> <td>3.0</td> <td>12.1</td> <td>39.4</td> <td>3.0</td> <td>36.4</td> </tr> </table>		音声	言葉 遣い	語句 語彙	文法	表現 技法	漢字	数	2	1	4	13	1	12	割合	6.1	3.0	12.1	39.4	3.0	36.4
	音声	言葉 遣い	語句 語彙	文法	表現 技法	漢字																																							
数	1	3	5	11	1	12																																							
割合	3.0	9.1	15.2	33.3	3.0	36.4																																							
	音声	言葉 遣い	語句 語彙	文法	表現 技法	漢字																																							
数	2	1	4	13	1	12																																							
割合	6.1	3.0	12.1	39.4	3.0	36.4																																							

# 【国語】

観点		発行者	15 三省堂	17 教出																																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるように示されているか。</p>	<p>・単元と教材の領域ごとの数と割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>話す 聞く</th> <th>書く</th> <th>読む</th> <th>伝統 文化</th> <th>国語 特質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大単元数</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>17</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>35</td> <td>11.4%</td> <td>25.7%</td> <td>48.6%</td> <td>8.6%</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td>教材数</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>33</td> <td>9</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>98</td> <td>14.3%</td> <td>15.3%</td> <td>33.7%</td> <td>9.2%</td> <td>27.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・話し合いの単元に着目すると、1年「理想的な討論のあり方（討論）」、2年「多角的な視点から問題を検討し、物の見方や考え方を広げる（パネルディスカッション）」、3年「合意を形成するための対話の力をつける（会議）」と発達の段階に応じて示されている。</p> <p>・単元の学習目標は、各教材のはじめと終わりの「学びの道しるべ」に示されている。</p> <p>・「学びをひろげよう」で発展課題が示されている。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」における言語活動の総数は24。</p>		話す 聞く	書く	読む	伝統 文化	国語 特質	大単元数	4	9	17	3	2	35	11.4%	25.7%	48.6%	8.6%	5.7%	教材数	14	15	33	9	27	98	14.3%	15.3%	33.7%	9.2%	27.6%	<p>・単元と教材の領域ごとの数と割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>話す 聞く</th> <th>書く</th> <th>読む</th> <th>伝統 文化</th> <th>国語 特質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大単元数</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>22.2%</td> <td>22.2%</td> <td>38.9%</td> <td>8.3%</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td>教材数</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>41</td> <td>9</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>112</td> <td>13.6%</td> <td>14.5%</td> <td>37.3%</td> <td>8.2%</td> <td>26.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・話し合いの単元に着目すると、1年「アイデアを出して話し合う（討論）」、2年「役割を決めて討論する（討論）」、3年「課題を解決するために話し合う（討論）」と発達の段階に応じて示されている。</p> <p>・単元の学習目標は、各教材のはじめと終わりに示し、振り返りが「みちしるべ」に示されている。</p> <p>・読むことの教材では「ここが大事」で読解の着眼点が解説されている。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」における言語活動の総数は20。</p>		話す 聞く	書く	読む	伝統 文化	国語 特質	大単元数	8	8	14	3	3	36	22.2%	22.2%	38.9%	8.3%	8.3%	教材数	15	16	41	9	29	112	13.6%	14.5%	37.3%	8.2%	26.4%
		話す 聞く	書く	読む	伝統 文化	国語 特質																																																										
	大単元数	4	9	17	3	2																																																										
35	11.4%	25.7%	48.6%	8.6%	5.7%																																																											
教材数	14	15	33	9	27																																																											
98	14.3%	15.3%	33.7%	9.2%	27.6%																																																											
	話す 聞く	書く	読む	伝統 文化	国語 特質																																																											
大単元数	8	8	14	3	3																																																											
36	22.2%	22.2%	38.9%	8.3%	8.3%																																																											
教材数	15	16	41	9	29																																																											
112	13.6%	14.5%	37.3%	8.2%	26.4%																																																											
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引き等が有効に使われ、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・B5判で、第1学年末の1ページの字数は860（43字×20行）。</p> <p>・資料は巻末に「資料編」として示され、総ページ数は265。内容は、読書の広場、考える広場、参考資料。</p>	<p>・B5判で、第1学年末の1ページの字数は592（37字×16行）。</p> <p>・資料は巻末に「言葉と文法 解説編」「言葉の自習室」として示され、総ページ数は324。内容は「言葉と文法 解説編」「言葉、文法、漢字」「言葉の自習室」読むことの補充教材、問題、学習用語、小倉百人一首。</p>																																																													
挿絵・図表 紙質・造本	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<p>・「伝統的な言語文化」に関する本編中の写真の数は49、挿絵の数は51、資料編の写真の数は43、挿絵の数は18。</p> <p>・各学年1冊。</p> <p>・カラーユニバーサルデザイン、植物油インキ使用。</p>	<p>・「伝統的な言語文化」に関する本編中の写真の数は74、挿絵の数は8、資料編の写真の数は26、挿絵の数は2。</p> <p>・各学年1冊。</p> <p>・カラーユニバーサルデザイン、植物油インキ使用。</p>																																																													
教科独自	話すこと	<p>①目的や場面に応じ、相手や場に応じて話す能力や、考えを比較したり表現を評価したりしながら聞く能力、相手の立場を尊重し、課題の解決に向けて話し合う能力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②生徒が話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育成することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・取り上げられている言語活動の形態は、インタビュー、スピーチ、ブックトーク、プレゼンテーション、パネルディスカッション、討論、対話劇、会議。</p> <p>・技能を身に付けさせるために示された資料の数は、構成メモ5、取材モデル1、話題モデル2、進行モデル1、質問モデル1、構成モデル2、討論モデル1、台本モデル2、発表モデル6、教室配置モデル2、振り返りモデル1、その他1。</p> <p>・学習過程が示されている教材数は13。そのうち振り返りまで示されている教材数は12。</p>	<p>・取り上げられている言語活動の形態は、スピーチ、プレゼンテーション、対話、討論。</p> <p>・技能を身に付けさせるために示された資料の数は、構成メモ5、進行メモ1、討論メモ2、話題モデル1、構成モデル4、討論モデル3、台本モデル1、対話モデル2、発表モデル3、教室配置モデル3。</p> <p>・学習過程が示されている教材数は11。そのうち振り返りまで示されている教材数は8。</p>																																																												
	書くこと	<p>①目的や意図に応じ、構成を工夫して分かりやすく書く能力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②文書を書いて考えを深めようとする態度を育成することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・「書くこと」の言語活動の単元数は15。</p> <p>・文章の形態は、鑑賞文・報告文・意見文・批評文・案内文・手紙・創作（リライト等）・新聞・小論文・名言集。</p> <p>・15教材のうち学習過程が示されている単元数は10。推敲を含む単元数は5。</p>	<p>・「書くこと」の言語活動の単元数は16。</p> <p>・文章の形態は、鑑賞文・報告文・紹介文・意見文・批評文・案内文・随筆・手紙・創作（物語）・記録・投書・作品集。</p> <p>・16教材のうち学習過程が示されている単元数は15。推敲を含む単元数は6。</p>																																																												
	読むこと	<p>①目的や意図に応じ、文章の内容や展開、表現の仕方などの確からえ、評価しながら読む能力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②情報を集め効果的に活用する能力を高めるとともに読書を生活に役立てようとする態度を育てることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・「学びの道しるべ」（手引き）に、情報の整理・確認のための「内容を確認しよう」と、文章の解釈や評価に関する「考えを深めよう」の2段階の課題が示されている。</p> <p>・文学的文章の教材数（伝統的な言語文化に関する教材は除く）は20。</p> <p>・説明的文章の教材数は13。情報に関する内容は2。</p> <p>・図書館利用に関して、読書に親しむ教材数は3、図書を利用して調べる教材数は2。</p> <p>・紹介されている図書数は1年96、2年97、3年99。</p>	<p>・「みちしるべ」（手引き）に、情報の取り出しを行う「確かめよう」、文章の解釈に関する「深めよう」、考えの形成や表現に関する「考えよう」の3段階の課題が示されている。</p> <p>・文学的文章の教材数（伝統的な言語文化に関する教材は除く）は27。</p> <p>・説明的文章の教材数は16。情報に関する内容は4。</p> <p>・図書館利用に関して、読書に親しむ教材数は3、図書を利用して調べる教材数は3。</p> <p>・紹介されている図書数は1年92、2年90、3年109。</p>																																																												
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>①古典に親しませ、伝統的な言語文化について関心を広げたり深めたりすることについて、どのように示されているか。</p> <p>②国語の果たす役割や特質についてまとまった知識を身に付けさせ、言語感覚を豊かにすることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・伝統的な言語文化に関する出典数は9。</p> <p>・1年は「竹取物語」「故事成語」2年は「枕草子」「徒然草」「平家物語」「漢詩」3年は「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」「おくのほそ道」「論語」。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>音声</th> <th>言葉遣い</th> <th>語句語彙</th> <th>文法</th> <th>表現技法</th> <th>漢字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>4.3</td> <td>6.4</td> <td>12.8</td> <td>17.0</td> <td>2.1</td> <td>57.4</td> </tr> </tbody> </table>		音声	言葉遣い	語句語彙	文法	表現技法	漢字	教材数	2	3	6	8	1	27	割合	4.3	6.4	12.8	17.0	2.1	57.4	<p>・伝統的な言語文化に関する出典数は9。</p> <p>・1年は「竹取物語」「故事成語」2年は「平家物語」「枕草子」「徒然草」「論語」3年は「おくのほそ道」「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」「漢詩」。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>音声</th> <th>言葉遣い</th> <th>語句語彙</th> <th>文法</th> <th>表現技法</th> <th>漢字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>2.8</td> <td>5.6</td> <td>11.1</td> <td>25.0</td> <td>2.8</td> <td>52.7</td> </tr> </tbody> </table>		音声	言葉遣い	語句語彙	文法	表現技法	漢字	教材数	1	2	4	9	1	19	割合	2.8	5.6	11.1	25.0	2.8	52.7																		
	音声	言葉遣い	語句語彙	文法	表現技法	漢字																																																										
教材数	2	3	6	8	1	27																																																										
割合	4.3	6.4	12.8	17.0	2.1	57.4																																																										
	音声	言葉遣い	語句語彙	文法	表現技法	漢字																																																										
教材数	1	2	4	9	1	19																																																										
割合	2.8	5.6	11.1	25.0	2.8	52.7																																																										



# 【 国 語 】

観点		発行者	38 光村																									
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるように示されているか。</p>	<p>・単元と教材の領域ごとの数と割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>話す 聞く</th> <th>書く</th> <th>読む</th> <th>伝統 文化</th> <th>国語 特質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大単元数 34</td> <td>4 11.8%</td> <td>8 23.5%</td> <td>13 38.2%</td> <td>3 8.9%</td> <td>6 17.6%</td> </tr> <tr> <td>教材数 143</td> <td>15 10.5%</td> <td>23 16.1%</td> <td>51 35.7%</td> <td>14 9.8%</td> <td>40 28.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・話し合いの単元に着目すると、1年「話し合いの流れに沿って発言する（グループディスカッション）」、2年「相手の考えを尊重しながら発言する（パネルディスカッション）」、3年「論点を整理し展開をとらえて話し合う（討論）」と発達の段階に応じて示されている。</p> <p>・単元の学習目標は、各単元のはじめのページに示され、各教科の目標は教材のはじめと終わりに示され、単元末に振り返りが設けられている。</p> <p>・「学習の窓」で学習のポイントが示されている。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」における言語活動の総数は44。</p>							話す 聞く	書く	読む	伝統 文化	国語 特質	大単元数 34	4 11.8%	8 23.5%	13 38.2%	3 8.9%	6 17.6%	教材数 143	15 10.5%	23 16.1%	51 35.7%	14 9.8%	40 28.0%		
		話す 聞く	書く	読む	伝統 文化	国語 特質																						
	大単元数 34	4 11.8%	8 23.5%	13 38.2%	3 8.9%	6 17.6%																						
教材数 143	15 10.5%	23 16.1%	51 35.7%	14 9.8%	40 28.0%																							
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引き等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・B5判で、第1学年末の1ページの字数は612（36字×17行）。</p> <p>・資料は巻末に「学習を広げる」として示され、総ページ数は211。内容は、資料、付録、用語一覧。</p>																										
挿絵・図表 紙質・造本	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<p>・「伝統的な言語文化」に関する本編中の写真の数は70、挿絵の数は7、資料編の写真の数は15、挿絵の数は1。</p> <p>・各学年1冊。</p> <p>・カラーユニバーサルデザイン、植物油インキ使用。</p>																										
教科独自	話すこと 聞くこと	<p>①目的や場面に応じ、相手や場に応じて話す能力や、考えを比べたり表現を評価したりしながら聞く能力、相手の立場を尊重し、課題の解決に向けて話し合う能力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②生徒が話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育成することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・取り上げられている言語活動の形態は、メモ、スピーチ、ポスターセッション、プレゼンテーション、パネルディスカッション、討論、グループディスカッション。</p> <p>・技能を身に付けさせるために示された資料の数は、取材メモ2、構成メモ4、発表メモ1、評価メモ1、話題モデル2、取材モデル1、構成モデル3、発表モデル11、討論モデル5、教室配置モデル5。</p> <p>・学習過程が示されている教材数は10。そのうち振り返りまで示されている教材数は10。</p>																									
	書くこと	<p>①目的や意図に応じ、構成を工夫して分かりやすく書く能力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②文書を書いて考えを深めようとする態度を育成することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・「書くこと」の言語活動の単元数は37。</p> <p>・文章の形態は、鑑賞文・報告文・説明文・紹介文・意見文・批評文・案内文・手紙・創作（短歌・俳句・物語）・旅行記・編集・メッセージ。</p> <p>・37教材のうち学習過程が示されている単元数は14。推敲を含む単元数は2。</p>																									
	読むこと	<p>①目的や意図に応じ、文章の内容や展開、表現の仕方などの確にとらえ、評価しながら読む能力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②情報を集め効果的に活用する能力を高めるとともに読書を生活に役立てようとする態度を育てることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・手引きに、内容の理解に関する「確認しよう」、文章の熟考に関する「読みを深めよう」、考えの形成や表現に関する「自分の考えをもとう」の3段階の課題が示されている。</p> <p>・文学的文章の教材数（伝統的な言語文化に関する教材は除く）は29。</p> <p>・説明的文章の教材数は22。情報に関する内容は2。</p> <p>・図書館利用に関して、読書に親しむ教材数は6、図書を利用して調べる教材数は3。</p> <p>・紹介されている図書数は1年82、2年82、3年78。</p>																									
	伝統的な言語文化 に関する事項	<p>①古典に親しませ、伝統的な言語文化について関心を広げたり深めたりすることについて、どのように示されているか。</p> <p>②国語の果たす役割や特質についてまとまった知識を身に付けさせ、言語感覚を豊かにすることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・伝統的な言語文化に関する出典数は9。</p> <p>・1年は「いろは歌」「竹取物語」「故事成語」2年は「平家物語」「徒然草」3年は「論語」「漢詩」「万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」「おくのほそ道」。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>音声</th> <th>言葉 遣い</th> <th>語句 語彙</th> <th>文法</th> <th>表現 技法</th> <th>漢字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教材数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>2.4</td> <td>4.9</td> <td>9.8</td> <td>22.0</td> <td>2.4</td> <td>58.5</td> </tr> </tbody> </table>							音声	言葉 遣い	語句 語彙	文法	表現 技法	漢字	教材数	1	2	4	9	1	24	割合	2.4	4.9	9.8	22.0	2.4
	音声	言葉 遣い	語句 語彙	文法	表現 技法	漢字																						
教材数	1	2	4	9	1	24																						
割合	2.4	4.9	9.8	22.0	2.4	58.5																						

## 1 学習指導要領に示された目標

## 【国語科の目標】

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

## 【各学年における書写に関する事項】

	第1学年	第2学年	第3学年
ア	字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解し、楷書で書くこと。	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。	身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。
イ	漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。	目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。	

## 2 調査研究の観点

(1) 楷書の基本と仮名の書き方	① 「字形」「文字の大きさ」「配列」など、文字を正しく整えて書く楷書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。
(2) 行書の基本と仮名の書き方	① 「連続」「形や方向の変化」「省略」など、文字を正しく整えて速く書く行書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。
(3) 言語文化	① 文字文化に親しんだり、実生活や学習場面に効果的に役立てたりすることについて、どのように示されているか。

# 【 国語（書写） 】

観点		発行者	2 東 書	1 1 学 団																																								
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年ごとのページ数と大単元数 第1学年 53 (3単元) 第2学年 38 (4単元) 第3学年 22 (3単元) 他に資料編のページ数 35。</li> <li>各学年の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>文字指導</th> <th>文字文化</th> <th>日常化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>33 (62%)</td> <td>14 (27%)</td> <td>6 (11%)</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>17 (45%)</td> <td>8 (21%)</td> <td>13 (34%)</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>0 (0%)</td> <td>10 (45%)</td> <td>12 (55%)</td> </tr> <tr> <td>資料</td> <td>22 (63%)</td> <td>9 (26%)</td> <td>4 (11%)</td> </tr> </tbody> </table>	内容	文字指導	文字文化	日常化	第1学年	33 (62%)	14 (27%)	6 (11%)	第2学年	17 (45%)	8 (21%)	13 (34%)	第3学年	0 (0%)	10 (45%)	12 (55%)	資料	22 (63%)	9 (26%)	4 (11%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年ごとのページ数と大単元数 第1学年 49 (3単元) 第2学年 32 (3単元) 第3学年 30 (1単元) 他に資料編のページ数 11。</li> <li>各学年の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>文字指導</th> <th>文字文化</th> <th>日常化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>37 (76%)</td> <td>12 (24%)</td> <td>0 (0%)</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>22 (69%)</td> <td>8 (25%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>5 (17%)</td> <td>15 (50%)</td> <td>10 (33%)</td> </tr> <tr> <td>資料</td> <td>10 (91%)</td> <td>1 (9%)</td> <td>0 (0%)</td> </tr> </tbody> </table>	内容	文字指導	文字文化	日常化	第1学年	37 (76%)	12 (24%)	0 (0%)	第2学年	22 (69%)	8 (25%)	2 (6%)	第3学年	5 (17%)	15 (50%)	10 (33%)	資料	10 (91%)	1 (9%)	0 (0%)
		内容	文字指導	文字文化	日常化																																							
		第1学年	33 (62%)	14 (27%)	6 (11%)																																							
第2学年	17 (45%)	8 (21%)	13 (34%)																																									
第3学年	0 (0%)	10 (45%)	12 (55%)																																									
資料	22 (63%)	9 (26%)	4 (11%)																																									
内容	文字指導	文字文化	日常化																																									
第1学年	37 (76%)	12 (24%)	0 (0%)																																									
第2学年	22 (69%)	8 (25%)	2 (6%)																																									
第3学年	5 (17%)	15 (50%)	10 (33%)																																									
資料	10 (91%)	1 (9%)	0 (0%)																																									
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験を踏まえ、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元配列 (第1学年)「楷書」→「行書」→「生活を豊かにする文字」 (第2学年)「行書」→「行書と仮名」→「楷書と行書」→「生活を豊かにする文字」 (第3学年)「身近にある文字を調べよう」→「効果的に書こう」→「生活を豊かにする文字」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元配列 (第1学年)「楷書を書こう」→「楷書と仮名を書こう」→「行書を書こう」 (第2学年)「楷書を復習しよう」→「行書を深めよう」→「行書と仮名を書こう」 (第3学年)「書写を生かそう」</li> </ul>																																										
③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で思考力・判断力・表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大単元と1単位時間の学習過程が巻頭に示されている。[目標と課題の確認→練習→振り返り→活用→発展]</li> <li>自己評価の観点が1単位時間ごとに示されている。</li> <li>毛筆教材の学習後に関連する硬筆教材が示されている。</li> <li>楷書と行書の使い分けについて話し合う活動や、身の回りの文字の書かれた目的や書き方の工夫を調べる活動が提示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小単元の学習過程が巻頭に示されている。[試し書き→課題→練習→まとめ書き→活用]</li> <li>自己評価の観点が小単元ごとに示されている。</li> <li>毛筆教材の学習後に関連する硬筆教材が示されている。</li> <li>楷書と行書の使い方について気づいたことやわかかったことをまとめる活動が提示されている。</li> </ul>																																										
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きさがA4判より大きい手本の数は6。</li> <li>学習の目標や活動のポイントがキャラクターの吹き出し等で示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きさがA4判より大きい手本の数は14。</li> <li>学習のポイントや振り返りがキャラクターの吹き出し等で示されている。</li> </ul>																																									
	②資料・手引等が有効に使われ、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の内容は「いろいろな書式(封筒やはがきの宛名・原稿用紙等)」「書写テストに挑戦」「常用漢字表・人名用漢字表(楷書と行書)」等。</li> <li>コラム等の読み物教材の数は16。内容は「手書き文字と印刷文字の違い」「のしとのし袋」「身の回りの文字を探そう」等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の内容は「楷書のいろいろな書き方」「書き文字と活字」「漢字一覧表(行書)」等。</li> <li>コラム等の読み物教材の数は5。内容は「なぜ毛筆で学習するの?—『自分の課題』を理解する」「時代と文字」「頭語と結語」等。</li> </ul>																																									
紙質・造本 挿絵・図表	①挿絵・図表・統計等が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢や筆の持ち方が写真とイラストで示されている。</li> <li>筆使いが二色の薄墨と解説、写真、イラストで示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢や筆の持ち方が写真で示されている。</li> <li>筆使いが二色の薄墨と解説で示されている。</li> </ul>																																									
	②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>合本、AB判、総ページ数148、表紙は撥水加工。</li> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合本、B5変型判、総ページ数122、表紙は撥水加工。</li> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮。</li> </ul>																																									
教科 独自	楷書の基本と仮名の書き方	①「字形」「文字の大きさ」「配列」など、文字を正しく整えて書く楷書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 姿勢や筆記用具の指導</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>イ 楷書の基本点画の指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ウ 字形の指導</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>エ 文字の組み立ての指導</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>オ 文字の大きさの指導</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>カ 文字の配列の指導</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>キ 楷書に調和した仮名の指導</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字の中心が分かるように手本の上下に▼印が施され、また、必要に応じて筆順と筆脈が示されている。</li> </ul>	指導内容	ページ数	ア 姿勢や筆記用具の指導	5	イ 楷書の基本点画の指導	3	ウ 字形の指導	5	エ 文字の組み立ての指導	1	オ 文字の大きさの指導	0	カ 文字の配列の指導	4	キ 楷書に調和した仮名の指導	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 姿勢や筆記用具の指導</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>イ 楷書の基本点画の指導</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ウ 字形の指導</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>エ 文字の組み立ての指導</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>オ 文字の大きさの指導</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>カ 文字の配列の指導</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>キ 楷書に調和した仮名の指導</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字の中心が分かるように手本の上下に▼印が施され、また、筆順と必要に応じて筆脈が示されている。</li> </ul>	指導内容	ページ数	ア 姿勢や筆記用具の指導	1	イ 楷書の基本点画の指導	2	ウ 字形の指導	7	エ 文字の組み立ての指導	2	オ 文字の大きさの指導	0	カ 文字の配列の指導	0	キ 楷書に調和した仮名の指導	8								
		指導内容	ページ数																																									
ア 姿勢や筆記用具の指導	5																																											
イ 楷書の基本点画の指導	3																																											
ウ 字形の指導	5																																											
エ 文字の組み立ての指導	1																																											
オ 文字の大きさの指導	0																																											
カ 文字の配列の指導	4																																											
キ 楷書に調和した仮名の指導	2																																											
指導内容	ページ数																																											
ア 姿勢や筆記用具の指導	1																																											
イ 楷書の基本点画の指導	2																																											
ウ 字形の指導	7																																											
エ 文字の組み立ての指導	2																																											
オ 文字の大きさの指導	0																																											
カ 文字の配列の指導	0																																											
キ 楷書に調和した仮名の指導	8																																											
行書の基本と仮名の書き方	①「連続」「形や方向の変化」「省略」など、文字を正しく整えて速く書く行書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 点画の連続の指導</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>イ 点画の形や方向変化の指導</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>ウ 点画の省略の指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>エ 筆順の変化の指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>オ 行書に調和した仮名の指導</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>行書の導入は、動きのパターンと形からの2点から行書の特徴、学ぶ意義が示されている。</li> </ul>	指導内容	ページ数	ア 点画の連続の指導	10	イ 点画の形や方向変化の指導	8	ウ 点画の省略の指導	3	エ 筆順の変化の指導	3	オ 行書に調和した仮名の指導	8	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 点画の連続の指導</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>イ 点画の形や方向変化の指導</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>ウ 点画の省略の指導</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>エ 筆順の変化の指導</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>オ 行書に調和した仮名の指導</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>行書の導入は、楷書の基本的な点画と比較できるように、行書の基本的な点画が示されている。</li> </ul>	指導内容	ページ数	ア 点画の連続の指導	8	イ 点画の形や方向変化の指導	8	ウ 点画の省略の指導	7	エ 筆順の変化の指導	7	オ 行書に調和した仮名の指導	7																	
指導内容	ページ数																																											
ア 点画の連続の指導	10																																											
イ 点画の形や方向変化の指導	8																																											
ウ 点画の省略の指導	3																																											
エ 筆順の変化の指導	3																																											
オ 行書に調和した仮名の指導	8																																											
指導内容	ページ数																																											
ア 点画の連続の指導	8																																											
イ 点画の形や方向変化の指導	8																																											
ウ 点画の省略の指導	7																																											
エ 筆順の変化の指導	7																																											
オ 行書に調和した仮名の指導	7																																											
言語文化	①文字文化に親しんだり、実生活や学習場面に効果的に役立てたりすることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字文化に親しむ内容は、「用具・用紙のできるまで」「平仮名の始まりというは歌」「書き初め」等。</li> <li>学んだことを実生活や学習場面に活用する内容は、「目標を書こう」「職場訪問しよう(依頼状・メモ・新聞・礼状)」「好きな言葉を書こう」等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字文化に親しむ内容は、「古典の鑑賞(「蘭亭序」等)」「篆刻を体験しよう」「書き初め」等。</li> <li>学んだことを実生活や学習場面に活用する内容は、「書写を生かそう(いろいろな筆記用具・新聞・寄せ書き・礼状・のし袋・エアメール等)」等。</li> </ul>																																									

# 【 国語（書写） 】

観点		発行者	15 三省堂	17 教出																																								
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験を踏まえ、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で思考力・判断力・表現力等をはぐむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・学年ごとのページ数と大単元数 第1学年 47 (4 単元) 第2学年 30 (4 単元) 第3学年 12 (2 単元) 他に資料編のページ数 29。</p> <p>・各学年の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>文字指導</th> <th>文字文化</th> <th>日常化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>37 (78%)</td> <td>5 (11%)</td> <td>5 (11%)</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>17 (56%)</td> <td>5 (17%)</td> <td>8 (27%)</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>1 (9%)</td> <td>4 (33%)</td> <td>7 (58%)</td> </tr> <tr> <td>資料</td> <td>17 (59%)</td> <td>5 (17%)</td> <td>7 (24%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・単元配列 (第1学年)「楷書で書こう」→「生活に生かそう」→「行書で書こう」→「生活に生かそう」 (第2学年)「行書を使いこなそう」→「生活に生かそう」→「書体を使い分けよう」→「生活に生かそう」 (第3学年)「効果的に書こう」→「生活に生かそう」</p> <p>・小単元の学習過程が巻頭に示されている。 [目標課題の確認→練習→振り返り→復習→活用] ・自己評価の観点が1単位時間ごとに示されている。 ・毛筆教材の学習後に関連する硬筆教材が示されている。 ・場面に応じて楷書か行書かを選択する理由を話し合う活動や、生徒が書いた行事の目標や本の紹介などを交流する活動が提示されている。</p>	内容	文字指導	文字文化	日常化	第1学年	37 (78%)	5 (11%)	5 (11%)	第2学年	17 (56%)	5 (17%)	8 (27%)	第3学年	1 (9%)	4 (33%)	7 (58%)	資料	17 (59%)	5 (17%)	7 (24%)	<p>・学年ごとのページ数と大単元数 第1学年 65 (3 単元) 第2学年 40 (3 単元) 第3学年 17 (3 単元) 他に資料編のページ数 20。 各学年の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>文字指導</th> <th>文字文化</th> <th>日常化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>41 (63%)</td> <td>16 (25%)</td> <td>8 (12%)</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>22 (55%)</td> <td>10 (25%)</td> <td>8 (20%)</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>7 (41%)</td> <td>4 (24%)</td> <td>6 (35%)</td> </tr> <tr> <td>資料</td> <td>13 (65%)</td> <td>1 (5%)</td> <td>6 (30%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・単元配列 (第1学年)「楷書で書こう」→「楷書と仮名を調和させて書こう」→「行書で書いてみよう」 (第2学年)「行書で書こう」→「行書と仮名を調和させて書いてみよう」→「学習活動や日常生活に生かして書こう」 (第3学年)「行書を深めよう」→「行書と仮名を調和させて書こう」→「身のまわりの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書こう」</p> <p>・1単位時間の学習過程が巻頭に示されている。 [目標→課題→練習→活用→まとめ→振り返り→発展] ・自己評価の観点が1単位時間ごとに示されている。 ・毛筆教材の学習後に関連する硬筆教材が示されている。 ・場面に応じた書き方をする際の注意点を話し合う活動や、身のまわりの多様な仮名文字について取材し、レポートを作成する活動が提示されている。</p>	内容	文字指導	文字文化	日常化	第1学年	41 (63%)	16 (25%)	8 (12%)	第2学年	22 (55%)	10 (25%)	8 (20%)	第3学年	7 (41%)	4 (24%)	6 (35%)	資料	13 (65%)	1 (5%)	6 (30%)
	内容	文字指導	文字文化	日常化																																								
	第1学年	37 (78%)	5 (11%)	5 (11%)																																								
第2学年	17 (56%)	5 (17%)	8 (27%)																																									
第3学年	1 (9%)	4 (33%)	7 (58%)																																									
資料	17 (59%)	5 (17%)	7 (24%)																																									
内容	文字指導	文字文化	日常化																																									
第1学年	41 (63%)	16 (25%)	8 (12%)																																									
第2学年	22 (55%)	10 (25%)	8 (20%)																																									
第3学年	7 (41%)	4 (24%)	6 (35%)																																									
資料	13 (65%)	1 (5%)	6 (30%)																																									
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引等が有効に使われ、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・大きさがA4判より大きい手本の数は4。</p> <p>・学習のポイントがキャラクターの吹き出し等で示されている。</p> <p>・資料の内容は「便箋と封筒の書き方・時候の挨拶等」「荷物の送り状・のし袋・願書の書き方」「楷書・行書一覧表」等。</p> <p>・コラム等の読み物教材の数は6。 内容は「活字と手書き文字」「文化としての『書く』一年賀状と書き初め」「書の名手たち」等。</p>	<p>・大きさがA4判より大きい手本の数は4。</p> <p>・学習のポイントがキャラクターの吹き出し等で示されている。</p> <p>・資料の内容は「書式の教室(往復はがきの書き方・包み紙の書き方等)」「小学校・中学校で学習する漢字一覧表(行書)」等。</p> <p>・コラム等の読み物教材の数は2。 内容は「気持ちのつながりから文字のつながりへ(連続)」「芸術としての書道」。</p>																																									
紙質・図表 挿絵・造本	<p>①挿絵・図表・統計等が、どのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<p>・姿勢や筆の持ち方が写真で示されている。</p> <p>・筆使いが二色の薄墨と解説、写真で示されている。</p> <p>・合本、B5判、総ページ数118、表紙は撥水加工。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮。</p>	<p>・姿勢や筆の持ち方が写真で示されている。</p> <p>・筆使いが二色の薄墨と解説、写真で示されている。</p> <p>・合本、B5判、総ページ数142、表紙は撥水加工。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮。</p>																																									
教科独自	楷書の基本と仮名の書き方	<p>①「字形」「文字の大きさ」「配列」など、文字を正しく整えて書く楷書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 姿勢や筆記用具の指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>イ 楷書の基本点画の指導</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ウ 字形の指導</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>エ 文字の組み立ての指導</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>オ 文字の大きさの指導</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>カ 文字の配列の指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>キ 楷書に調和した仮名の指導</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・文字の中心が分かるように手本の上下に▼印が施され、また、必要に応じて筆順が示されている。</p>	指導内容	ページ数	ア 姿勢や筆記用具の指導	3	イ 楷書の基本点画の指導	2	ウ 字形の指導	1	エ 文字の組み立ての指導	6	オ 文字の大きさの指導	0	カ 文字の配列の指導	3	キ 楷書に調和した仮名の指導	4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 姿勢や筆記用具の指導</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>イ 楷書の基本点画の指導</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ウ 字形の指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>エ 文字の組み立ての指導</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>オ 文字の大きさの指導</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>カ 文字の配列の指導</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>キ 楷書に調和した仮名の指導</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>・文字の中心が分かるように手本の上下に●印が施され、また、筆順と必要に応じて筆順が示されている。</p>	指導内容	ページ数	ア 姿勢や筆記用具の指導	6	イ 楷書の基本点画の指導	4	ウ 字形の指導	3	エ 文字の組み立ての指導	1	オ 文字の大きさの指導	0	カ 文字の配列の指導	4	キ 楷書に調和した仮名の指導	6								
	指導内容	ページ数																																										
ア 姿勢や筆記用具の指導	3																																											
イ 楷書の基本点画の指導	2																																											
ウ 字形の指導	1																																											
エ 文字の組み立ての指導	6																																											
オ 文字の大きさの指導	0																																											
カ 文字の配列の指導	3																																											
キ 楷書に調和した仮名の指導	4																																											
指導内容	ページ数																																											
ア 姿勢や筆記用具の指導	6																																											
イ 楷書の基本点画の指導	4																																											
ウ 字形の指導	3																																											
エ 文字の組み立ての指導	1																																											
オ 文字の大きさの指導	0																																											
カ 文字の配列の指導	4																																											
キ 楷書に調和した仮名の指導	6																																											
行書の基本と仮名の書き方	<p>①「連続」「形や方向の変化」「省略」など、文字を正しく整えて速く書く行書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 点画の連続の指導</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>イ 点画の形や方向変化の指導</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>ウ 点画の省略の指導</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>エ 筆順の変化の指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>オ 行書に調和した仮名の指導</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>・行書の導入は、新しい書体との出会いとして、硬筆で書かれた詩が提示された後、楷書と行書を比較して書体の特徴が示されている。</p>	指導内容	ページ数	ア 点画の連続の指導	13	イ 点画の形や方向変化の指導	7	ウ 点画の省略の指導	5	エ 筆順の変化の指導	3	オ 行書に調和した仮名の指導	6	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 点画の連続の指導</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>イ 点画の形や方向変化の指導</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>ウ 点画の省略の指導</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>エ 筆順の変化の指導</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>オ 行書に調和した仮名の指導</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>・行書の導入は、コラム「文字の変遷」や表紙等の写真で書体が紹介され、その特徴が示されている。</p>	指導内容	ページ数	ア 点画の連続の指導	17	イ 点画の形や方向変化の指導	12	ウ 点画の省略の指導	11	エ 筆順の変化の指導	4	オ 行書に調和した仮名の指導	18																	
指導内容	ページ数																																											
ア 点画の連続の指導	13																																											
イ 点画の形や方向変化の指導	7																																											
ウ 点画の省略の指導	5																																											
エ 筆順の変化の指導	3																																											
オ 行書に調和した仮名の指導	6																																											
指導内容	ページ数																																											
ア 点画の連続の指導	17																																											
イ 点画の形や方向変化の指導	12																																											
ウ 点画の省略の指導	11																																											
エ 筆順の変化の指導	4																																											
オ 行書に調和した仮名の指導	18																																											
言語文化	<p>①文字文化に親しんだり、実生活や学習場面に効果的に役立てたりすることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・文字文化に親しむ内容は、「年賀状」「書き初め」「平仮名の発生というは歌」等。</p> <p>・学んだことを実生活や学習場面に活用する内容は、「行事の目標を書こう」「手紙を書こう」「座右の銘を書こう」等。</p>	<p>・文字文化に親しむ内容は、「文字の変遷」「社会で生きる文字」「書き初め」等。</p> <p>・学んだことを実生活や学習場面に活用する内容は、「文字で心を伝えよう(メッセージカード等)」「学校生活に生かして書く」「案内状を書く」等。</p>																																									

# 【 国語（書写） 】

発行者		38 光 村																					
教 科 共 通	観点																						
	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達段階・経験を踏まえ、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で思考力・判断力・表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・学年ごとのページ数と大単元数 第1学年38（3単元）第2学年20（3単元） 第3学年13（2単元）他に資料編のページ数49。</p> <p>・各学年の文字指導・文字文化・日常化のページ数及び割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容 学年</th> <th>文字指導</th> <th>文字文化</th> <th>日常化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学年</td> <td>31（81%）</td> <td>6（16%）</td> <td>1（3%）</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>14（70%）</td> <td>4（20%）</td> <td>2（10%）</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>2（15%）</td> <td>7（54%）</td> <td>4（31%）</td> </tr> <tr> <td>資 料</td> <td>29（59%）</td> <td>2（4%）</td> <td>18（37%）</td> </tr> </tbody> </table> <p>・単元配列 （第1学年）「楷書の書き方を確かめよう」→「楷書に仮名を交えて書こう」→「行書の書き方を学ぼう」 （第2学年）「行書の書き方を学ぼう」→「行書に仮名を交えて書こう」→「楷書か行書かを選択して書こう」 （第3学年）「目的に応じて効果的に書こう」→「学習したことを生かして書こう」</p> <p>・1単位時間の学習過程が巻頭に示されている。 [目標→練習→振り返り→復習→活用]</p> <p>・自己評価の観点が1単位時間ごとに示されている。</p> <p>・毛筆教材の学習後に関連する硬筆教材が示されている。</p> <p>・話し合っ、目的に応じて楷書か行書かを選択する活動や、活字と手書き文字の特徴や受ける印象を考えて表にまとめる活動が提示されている。</p>	内容 学年	文字指導	文字文化	日常化	第1学年	31（81%）	6（16%）	1（3%）	第2学年	14（70%）	4（20%）	2（10%）	第3学年	2（15%）	7（54%）	4（31%）	資 料	29（59%）	2（4%）	18（37%）
	内容 学年	文字指導	文字文化	日常化																			
	第1学年	31（81%）	6（16%）	1（3%）																			
第2学年	14（70%）	4（20%）	2（10%）																				
第3学年	2（15%）	7（54%）	4（31%）																				
資 料	29（59%）	2（4%）	18（37%）																				
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引等が有効に使われ、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・大きさがA4判より大きい手本の数は3。</p> <p>・学習のポイントがキャラクターの吹き出し等で示されている。ポイントをまとめるワークシートが示されている。</p> <p>・資料の内容は「日常の書式(手紙・封筒・はがき等)」「情報を集めて、整理する・情報を発信する」「常用漢字一覧表(楷書と行書)」等。</p> <p>・コラム等の読み物教材の数は5。 内容は「手書きの力」「季節のしおり」「文字の歴史を探る」等。</p>																					
紙質・挿絵・図表 造本	<p>①挿絵・図表・統計等が、どのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<p>・姿勢や筆の持ち方が写真で示されている。</p> <p>・筆使いが二色の薄墨と解説、写真、イラストで示されている。</p> <p>・合本、B5判、総ページ数120、表紙は撥水加工。</p> <p>・カラーユニバーサルデザインに配慮。</p>																					
教 科 独 自	楷書の基本と 仮名の書き方	<p>①「字形」「文字の大きさ」「配列」など、文字を正しく整えて書く楷書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 姿勢や筆記用具の指導</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>イ 楷書の基本点画の指導</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ウ 字形の指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>エ 文字の組み立ての指導</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>オ 文字の大きさの指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>カ 文字の配列の指導</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>キ 楷書に調和した仮名の指導</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・文字の中心が分かるように手本の上下に▼印が施されている。</p>	指導内容	ページ数	ア 姿勢や筆記用具の指導	2	イ 楷書の基本点画の指導	4	ウ 字形の指導	3	エ 文字の組み立ての指導	2	オ 文字の大きさの指導	3	カ 文字の配列の指導	3	キ 楷書に調和した仮名の指導	4				
	指導内容	ページ数																					
	ア 姿勢や筆記用具の指導	2																					
イ 楷書の基本点画の指導	4																						
ウ 字形の指導	3																						
エ 文字の組み立ての指導	2																						
オ 文字の大きさの指導	3																						
カ 文字の配列の指導	3																						
キ 楷書に調和した仮名の指導	4																						
行書の基本と 仮名の書き方	<p>①「連続」「形や方向の変化」「省略」など、文字を正しく整えて速く書く行書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 点画の連続の指導</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>イ 点画の形や方向変化の指導</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ウ 点画の省略の指導</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>エ 筆順の変化の指導</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>オ 行書に調和した仮名の指導</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>・行書の導入は、目次で「これから学ぶ書体」として取り上げられ、コラム「文字の歴史を探る」の後、楷書と行書を比較して、書体の特徴が示されている。</p>	指導内容	ページ数	ア 点画の連続の指導	10	イ 点画の形や方向変化の指導	6	ウ 点画の省略の指導	6	エ 筆順の変化の指導	6	オ 行書に調和した仮名の指導	8									
指導内容	ページ数																						
ア 点画の連続の指導	10																						
イ 点画の形や方向変化の指導	6																						
ウ 点画の省略の指導	6																						
エ 筆順の変化の指導	6																						
オ 行書に調和した仮名の指導	8																						
言語文化	<p>①文字文化に親しんだり、実生活や学習場面に効果的に役立ったりすることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・文字文化に親しむ内容は、「先人の文字に学ぶ」「デザインと文字」「書き初め」等。</p> <p>・学んだことを実生活や学習場面に活用する内容は、「卒業を記念する作品をつくろう」「手紙の書き方(職場体験の礼状)」「学校行事を盛り上げる」等。</p>																					

## 1 学習指導要領に示された目標

## 【社会科の目標】

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を培う。

## 【地理的分野の目標】

(1)	日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
(2)	日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。
(3)	大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
(4)	地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

## 2 教科独自の調査研究の観点

(1) 世界の様々な地域	<p>① 世界の地域構成を大観させ、世界各地の人々の生活の様子を衣食住や宗教とのかかわりを中心に、自然及び社会的条件と関連付けて考察させることについて、どのように示されているか。</p> <p>② 地域的特色や地域の課題を捉えさせることについて、どのように示されているか。</p>
(2) 日本の様々な地域	<p>① 国土の地域構成を大まかに捉えさせ、世界と比べた日本の地域的特色を大観させることについて、どのように示されているか。</p> <p>② 地域的特色ある地理的事象や事柄を他の事象と有機的に関連付けて追求することについて、どのように示されているか。</p> <p>③ 市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法を身につけさせることについて、どのように示されているか。</p>

# 【 社会 (地理的分野) 】

観点		発行者	2 東書	17 教出																																																																		
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元ごとのページ数と割合 (%)</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単元</th> <th>ページ数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巻頭・巻末の写真、資料等</td> <td>25</td> <td>8.3</td> </tr> <tr> <td>世界の姿</td> <td>16</td> <td>5.3</td> </tr> <tr> <td>世界各地の人々の生活と環境</td> <td>22</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td>世界の諸地域</td> <td>72</td> <td>23.8</td> </tr> <tr> <td>世界のさまざまな地域の調査</td> <td>12</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>日本の姿</td> <td>14</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>世界から見た日本の姿</td> <td>36</td> <td>11.9</td> </tr> <tr> <td>日本の諸地域</td> <td>87</td> <td>28.8</td> </tr> <tr> <td>身近な地域の調査</td> <td>18</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>302</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	単元	ページ数	割合	巻頭・巻末の写真、資料等	25	8.3	世界の姿	16	5.3	世界各地の人々の生活と環境	22	7.3	世界の諸地域	72	23.8	世界のさまざまな地域の調査	12	4.0	日本の姿	14	4.6	世界から見た日本の姿	36	11.9	日本の諸地域	87	28.8	身近な地域の調査	18	6.0	合計	302	100	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元ごとのページ数と割合 (%)</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単元</th> <th>ページ数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巻頭・巻末の写真、資料等</td> <td>33</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>私たちの地球と世界の地域構成</td> <td>12</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>人々の生活と環境</td> <td>18</td> <td>6.3</td> </tr> <tr> <td>世界の諸地域</td> <td>71</td> <td>24.7</td> </tr> <tr> <td>世界のさまざまな地域の調査</td> <td>13</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>日本の地域構成</td> <td>12</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>世界から見た日本のすがた</td> <td>24</td> <td>8.3</td> </tr> <tr> <td>日本の諸地域</td> <td>90</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>身近な地域の調査</td> <td>15</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>288</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	単元	ページ数	割合	巻頭・巻末の写真、資料等	33	11.5	私たちの地球と世界の地域構成	12	4.2	人々の生活と環境	18	6.3	世界の諸地域	71	24.7	世界のさまざまな地域の調査	13	4.5	日本の地域構成	12	4.2	世界から見た日本のすがた	24	8.3	日本の諸地域	90	31.3	身近な地域の調査	15	5.2	合計	288	100
		単元	ページ数	割合																																																																		
		巻頭・巻末の写真、資料等	25	8.3																																																																		
世界の姿	16	5.3																																																																				
世界各地の人々の生活と環境	22	7.3																																																																				
世界の諸地域	72	23.8																																																																				
世界のさまざまな地域の調査	12	4.0																																																																				
日本の姿	14	4.6																																																																				
世界から見た日本の姿	36	11.9																																																																				
日本の諸地域	87	28.8																																																																				
身近な地域の調査	18	6.0																																																																				
合計	302	100																																																																				
単元	ページ数	割合																																																																				
巻頭・巻末の写真、資料等	33	11.5																																																																				
私たちの地球と世界の地域構成	12	4.2																																																																				
人々の生活と環境	18	6.3																																																																				
世界の諸地域	71	24.7																																																																				
世界のさまざまな地域の調査	13	4.5																																																																				
日本の地域構成	12	4.2																																																																				
世界から見た日本のすがた	24	8.3																																																																				
日本の諸地域	90	31.3																																																																				
身近な地域の調査	15	5.2																																																																				
合計	288	100																																																																				
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開き2ページで1単位時間を原則に編集されている。</li> <li>導入資料を読み取る視点や学習活動がキャラクターを用いて示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開き2ページで1単位時間を原則に編集されている。</li> <li>導入資料を読み取る視点や学習活動がキャラクターを用いて示されている。</li> </ul>																																																																				
③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等を育む学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴシック体で示されている重要語句の数は、280。</li> <li>単元のまとめに設定された、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための問いの数は、23。</li> <li>1単位時間ごとに設定された、思考力・判断力・表現力を育むための言語活動を促す学習課題の数は、102。</li> <li>単元のまとめに設定された、思考力・判断力・表現力を育むための言語活動を促す学習課題の数は、43。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴシック体で示されている重要語句の数は、318。</li> <li>単元のまとめに設定された、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための問いの数は、32。</li> <li>1単位時間ごとに設定された、思考力・判断力・表現力を育むための言語活動を促す学習課題の数は、97。</li> <li>単元のまとめに設定された、思考力・判断力・表現力を育むための言語活動を促す学習課題の数は、32。</li> </ul>																																																																				
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の1ページあたりの最大行数は25、本文の1行あたりの最大文字数は29。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の1ページあたりの最大行数は25、本文の1行あたりの最大文字数は28。</li> </ul>																																																																			
	②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な学習を促す問いの数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>キャラクターによる問い</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャラクターによる問い</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>キャラクター以外による問い</td> <td>226</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	キャラクターによる問い	数	キャラクターによる問い	139	キャラクター以外による問い	226	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な学習を促す問いの数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>キャラクターによる問い</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャラクターによる問い</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>キャラクター以外による問い</td> <td>163</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	キャラクターによる問い	数	キャラクターによる問い	88	キャラクター以外による問い	163																																																							
キャラクターによる問い	数																																																																					
キャラクターによる問い	139																																																																					
キャラクター以外による問い	226																																																																					
キャラクターによる問い	数																																																																					
キャラクターによる問い	88																																																																					
キャラクター以外による問い	163																																																																					
挿絵・図表 紙質・造本	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲載されている資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>写真</th> <th>コラム等</th> <th>グラフ・表</th> <th>図解資料</th> <th>地図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>623</td> <td>102</td> <td>143</td> <td>171</td> <td>138</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	写真	コラム等	グラフ・表	図解資料	地図	623	102	143	171	138	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲載されている資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>写真</th> <th>コラム等</th> <th>グラフ・表</th> <th>図解資料</th> <th>地図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>464</td> <td>124</td> <td>128</td> <td>70</td> <td>158</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	写真	コラム等	グラフ・表	図解資料	地図	464	124	128	70	158																																															
	写真	コラム等	グラフ・表	図解資料	地図																																																																	
623	102	143	171	138																																																																		
写真	コラム等	グラフ・表	図解資料	地図																																																																		
464	124	128	70	158																																																																		
②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判、再生紙、植物油インキを使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判、再生紙、植物油インキを使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>																																																																				
世界の様々な地域	①世界の地域構成を大観させ、世界各地の人々の生活の様子を衣食住や宗教とのかわりを中心に、自然及び社会的条件と関連付けて考察させることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界を大観させるための資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>位置と名称が掲載されている国の数</td> <td>196</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	数	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	10	位置と名称が掲載されている国の数	196	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界を大観させるための資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>位置と名称が掲載されている国の数</td> <td>196</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	数	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	21	位置と名称が掲載されている国の数	196																																																							
	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	数																																																																				
	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	10																																																																				
位置と名称が掲載されている国の数	196																																																																					
六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	数																																																																					
六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	21																																																																					
位置と名称が掲載されている国の数	196																																																																					
②地域的特色や地域の課題を捉えさせることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人々の生活を自然及び社会的条件から考察させるために次のように配列されている。</li> <li>自然 (気候) → 宗教 → 伝統的な生活と変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人々の生活を自然及び社会的条件から考察させるために次のように配列されている。</li> <li>自然 (気候) → さまざまな言語・宗教と人々の暮らし</li> </ul>																																																																				
③地域的特色を捉えさせるための主題と資料の数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>州名</th> <th>主題</th> <th>写真</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>急速に進む成長と変化</td> <td>29</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>国どうしの統合による変化</td> <td>26</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>アフリカ</td> <td>特定の生産品にたよる生活か</td> <td>27</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>盛んな農業や工業の特色</td> <td>32</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>南米</td> <td>開発の進展と環境問題</td> <td>30</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>オセアニア</td> <td>強まるアジアとの結びつき</td> <td>27</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	州名	主題	写真	他	アジア	急速に進む成長と変化	29	41	欧州	国どうしの統合による変化	26	25	アフリカ	特定の生産品にたよる生活か	27	16	北米	盛んな農業や工業の特色	32	20	南米	開発の進展と環境問題	30	15	オセアニア	強まるアジアとの結びつき	27	18	<table border="1"> <thead> <tr> <th>州名</th> <th>主題</th> <th>写真</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>アジアの多様性と経済発展</td> <td>25</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>統合を強めるヨーロッパの国々</td> <td>14</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>アフリカ</td> <td>アフリカの人々の暮らしとその変化</td> <td>16</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>世界に大きな影響力をもつ北米</td> <td>18</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>南米</td> <td>南アメリカの開発と環境</td> <td>13</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>オセアニア</td> <td>他地域と結びつくオセアニア</td> <td>13</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	州名	主題	写真	他	アジア	アジアの多様性と経済発展	25	35	欧州	統合を強めるヨーロッパの国々	14	26	アフリカ	アフリカの人々の暮らしとその変化	16	37	北米	世界に大きな影響力をもつ北米	18	25	南米	南アメリカの開発と環境	13	24	オセアニア	他地域と結びつくオセアニア	13	15												
州名	主題	写真	他																																																																			
アジア	急速に進む成長と変化	29	41																																																																			
欧州	国どうしの統合による変化	26	25																																																																			
アフリカ	特定の生産品にたよる生活か	27	16																																																																			
北米	盛んな農業や工業の特色	32	20																																																																			
南米	開発の進展と環境問題	30	15																																																																			
オセアニア	強まるアジアとの結びつき	27	18																																																																			
州名	主題	写真	他																																																																			
アジア	アジアの多様性と経済発展	25	35																																																																			
欧州	統合を強めるヨーロッパの国々	14	26																																																																			
アフリカ	アフリカの人々の暮らしとその変化	16	37																																																																			
北米	世界に大きな影響力をもつ北米	18	25																																																																			
南米	南アメリカの開発と環境	13	24																																																																			
オセアニア	他地域と結びつくオセアニア	13	15																																																																			
教科独自	日本の様々な地域	①国土の地域構成を大まかに捉えさせ、世界と比べた日本の地域的特色を大観させることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域構成を大観させるための資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>世界と比較した統計の数</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	数	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	10	世界と比較した統計の数	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域構成を大観させるための資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>世界と比較した統計の数</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	数	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	7	世界と比較した統計の数	8																																																						
		日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	数																																																																			
		日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	10																																																																			
世界と比較した統計の数	11																																																																					
日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	数																																																																					
日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	7																																																																					
世界と比較した統計の数	8																																																																					
②地域的特色ある地理的事象や事柄を他の事象と有機的に関連付けて追求することについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域的特色を捉えさせるための考察の仕方と資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>中核とする考察の仕方</th> <th>写真</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>環境問題・環境保全</td> <td>33</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>中国四国</td> <td>人口、都市・村落</td> <td>26</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>歴史的背景</td> <td>27</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>29</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>他地域との結びつき</td> <td>20</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>生活・文化</td> <td>35</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>自然環境</td> <td>27</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	地域名	中核とする考察の仕方	写真	他	九州	環境問題・環境保全	33	21	中国四国	人口、都市・村落	26	28	近畿	歴史的背景	27	23	中部	産業	29	20	関東	他地域との結びつき	20	31	東北	生活・文化	35	24	北海道	自然環境	27	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域的特色を捉えさせるための考察の仕方と資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>中核とする考察の仕方</th> <th>写真</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>環境問題と環境保全</td> <td>24</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>中国四国</td> <td>人口や都市・村落</td> <td>17</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>歴史的背景</td> <td>25</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>30</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>他地域との結びつき</td> <td>19</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>生活・文化</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>自然環境</td> <td>27</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	地域名	中核とする考察の仕方	写真	他	九州	環境問題と環境保全	24	21	中国四国	人口や都市・村落	17	25	近畿	歴史的背景	25	27	中部	産業	30	28	関東	他地域との結びつき	19	26	東北	生活・文化	25	25	北海道	自然環境	27	26				
地域名	中核とする考察の仕方	写真	他																																																																			
九州	環境問題・環境保全	33	21																																																																			
中国四国	人口、都市・村落	26	28																																																																			
近畿	歴史的背景	27	23																																																																			
中部	産業	29	20																																																																			
関東	他地域との結びつき	20	31																																																																			
東北	生活・文化	35	24																																																																			
北海道	自然環境	27	23																																																																			
地域名	中核とする考察の仕方	写真	他																																																																			
九州	環境問題と環境保全	24	21																																																																			
中国四国	人口や都市・村落	17	25																																																																			
近畿	歴史的背景	25	27																																																																			
中部	産業	30	28																																																																			
関東	他地域との結びつき	19	26																																																																			
東北	生活・文化	25	25																																																																			
北海道	自然環境	27	26																																																																			
③市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法を身につけさせることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査を行うための学習過程ごとのページ数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>課題設定</th> <th>調査活動</th> <th>整理分析</th> <th>まとめ表現</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	課題設定	調査活動	整理分析	まとめ表現	8	6	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査を行うための学習過程ごとのページ数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>課題設定</th> <th>調査活動</th> <th>整理分析</th> <th>まとめ表現</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	課題設定	調査活動	整理分析	まとめ表現	6	4	1	3																																																				
課題設定	調査活動	整理分析	まとめ表現																																																																			
8	6	2	2																																																																			
課題設定	調査活動	整理分析	まとめ表現																																																																			
6	4	1	3																																																																			

# 【 社会 (地理的分野) 】

観点		発行者	46 帝国	116 日文																																																																		
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元ごとのページ数と割合 (%)</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単元</th> <th>ページ数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巻頭・巻末の写真、資料等</td> <td>15</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>世界の姿</td> <td>13</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>世界各地の人々の生活と環境</td> <td>19</td> <td>6.6</td> </tr> <tr> <td>世界の諸地域</td> <td>77</td> <td>26.6</td> </tr> <tr> <td>世界のさまざまな地域の調査</td> <td>9</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>日本の姿</td> <td>13</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>世界と比べた日本の地域的特色</td> <td>35</td> <td>12.1</td> </tr> <tr> <td>日本の諸地域</td> <td>99</td> <td>34.1</td> </tr> <tr> <td>身近な地域の調査</td> <td>10</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>290</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	単元	ページ数	割合	巻頭・巻末の写真、資料等	15	5.2	世界の姿	13	4.5	世界各地の人々の生活と環境	19	6.6	世界の諸地域	77	26.6	世界のさまざまな地域の調査	9	3.1	日本の姿	13	4.5	世界と比べた日本の地域的特色	35	12.1	日本の諸地域	99	34.1	身近な地域の調査	10	3.4	合計	290	100	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元ごとのページ数と割合 (%)</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単元</th> <th>ページ数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巻頭・巻末の写真、資料等</td> <td>22</td> <td>7.6</td> </tr> <tr> <td>世界の姿</td> <td>12</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>世界各地の人々の生活と環境</td> <td>18</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>世界の諸地域</td> <td>70</td> <td>24.1</td> </tr> <tr> <td>世界のさまざまな地域の調査</td> <td>12</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>日本の姿</td> <td>18</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>世界からみた日本のすがた</td> <td>38</td> <td>13.1</td> </tr> <tr> <td>日本の諸地域</td> <td>86</td> <td>29.7</td> </tr> <tr> <td>身近な地域の調査</td> <td>14</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>290</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	単元	ページ数	割合	巻頭・巻末の写真、資料等	22	7.6	世界の姿	12	4.1	世界各地の人々の生活と環境	18	6.2	世界の諸地域	70	24.1	世界のさまざまな地域の調査	12	4.1	日本の姿	18	6.2	世界からみた日本のすがた	38	13.1	日本の諸地域	86	29.7	身近な地域の調査	14	4.8	合計	290	100
		単元	ページ数	割合																																																																		
		巻頭・巻末の写真、資料等	15	5.2																																																																		
世界の姿	13	4.5																																																																				
世界各地の人々の生活と環境	19	6.6																																																																				
世界の諸地域	77	26.6																																																																				
世界のさまざまな地域の調査	9	3.1																																																																				
日本の姿	13	4.5																																																																				
世界と比べた日本の地域的特色	35	12.1																																																																				
日本の諸地域	99	34.1																																																																				
身近な地域の調査	10	3.4																																																																				
合計	290	100																																																																				
単元	ページ数	割合																																																																				
巻頭・巻末の写真、資料等	22	7.6																																																																				
世界の姿	12	4.1																																																																				
世界各地の人々の生活と環境	18	6.2																																																																				
世界の諸地域	70	24.1																																																																				
世界のさまざまな地域の調査	12	4.1																																																																				
日本の姿	18	6.2																																																																				
世界からみた日本のすがた	38	13.1																																																																				
日本の諸地域	86	29.7																																																																				
身近な地域の調査	14	4.8																																																																				
合計	290	100																																																																				
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開き2ページで1単位時間を原則に編集されている。</li> <li>導入資料を読み取る視点や学習活動がキャラクターを用いて示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開き2ページで1単位時間を原則に編集されている。</li> <li>導入資料を読み取る視点や学習活動がキャラクターを用いて示されている。</li> </ul>																																																																				
③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴシック体で示されている重要語句の数は、302。</li> <li>単元のまとめに設定された、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための問いの数は、47。</li> <li>1単位時間ごとに設定された、思考力・判断力・表現力を育むための言語活動を促す学習課題の数は、95。</li> <li>単元のまとめに設定された、思考力・判断力・表現力を育むための言語活動を促す学習課題の数は、35。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴシック体で示されている重要語句の数は、612。</li> <li>単元のまとめに設定された、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための問いの数は、43。</li> <li>1単位時間ごとに設定された、思考力・判断力・表現力を育むための言語活動を促す学習課題の数は、106。</li> <li>単元のまとめに設定された、思考力・判断力・表現力を育むための言語活動を促す学習課題の数は、25。</li> </ul>																																																																				
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の1ページあたりの最大行数は23、本文の1行あたりの最大文字数は30。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の1ページあたりの最大行数は31、本文の1行あたりの最大文字数は47。</li> </ul>																																																																			
	②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な学習を促す問いの数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>キャラクターによる問い</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャラクターによる問い</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>キャラクター以外による問い</td> <td>286</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	キャラクターによる問い	数	キャラクターによる問い	87	キャラクター以外による問い	286	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な学習を促す問いの数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>キャラクターによる問い</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャラクターによる問い</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>キャラクター以外による問い</td> <td>259</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	キャラクターによる問い	数	キャラクターによる問い	91	キャラクター以外による問い	259																																																							
キャラクターによる問い	数																																																																					
キャラクターによる問い	87																																																																					
キャラクター以外による問い	286																																																																					
キャラクターによる問い	数																																																																					
キャラクターによる問い	91																																																																					
キャラクター以外による問い	259																																																																					
挿絵・図表 紙質・造本	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲載されている資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>写真</th> <th>コラム等</th> <th>グラフ・表</th> <th>図解資料</th> <th>地図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>585</td> <td>76</td> <td>156</td> <td>96</td> <td>125</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	写真	コラム等	グラフ・表	図解資料	地図	585	76	156	96	125	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲載されている資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>写真</th> <th>コラム等</th> <th>グラフ・表</th> <th>図解資料</th> <th>地図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>514</td> <td>91</td> <td>130</td> <td>87</td> <td>142</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	写真	コラム等	グラフ・表	図解資料	地図	514	91	130	87	142																																															
	写真	コラム等	グラフ・表	図解資料	地図																																																																	
585	76	156	96	125																																																																		
写真	コラム等	グラフ・表	図解資料	地図																																																																		
514	91	130	87	142																																																																		
②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判、再生紙、ラミネートを使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判、再生紙、植物油インキを使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>																																																																				
世界の様々な地域	①世界の地域構成を大観させ、世界各地の人々の生活の様子を衣食住や宗教とのかかわりを中心に、自然及び社会的条件と関連付けて考察させることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界を大観させるための資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)</td> <td>20</td> </tr> <tr> <th>位置と名称が掲載されている国の数</th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>位置と名称が掲載されている国の数</td> <td>98</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>人々の生活を自然及び社会的条件から考察させるために次のように配列されている。 自然 (気候) → 衣食住 → 宗教と生活とのかかわり</li> </ul> </ul>	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	数	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	20	位置と名称が掲載されている国の数	数	位置と名称が掲載されている国の数	98	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界を大観させるための資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)</td> <td>23</td> </tr> <tr> <th>位置と名称が掲載されている国の数</th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>位置と名称が掲載されている国の数</td> <td>125</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>人々の生活を自然及び社会的条件から考察させるために次のように配列されている。 自然 (気候) → さまざまな宗教・言語と人々の生活</li> </ul> </ul>	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	数	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	23	位置と名称が掲載されている国の数	数	位置と名称が掲載されている国の数	125																																																			
	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	数																																																																				
	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	20																																																																				
位置と名称が掲載されている国の数	数																																																																					
位置と名称が掲載されている国の数	98																																																																					
六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	数																																																																					
六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図 (写真及び図も含む)	23																																																																					
位置と名称が掲載されている国の数	数																																																																					
位置と名称が掲載されている国の数	125																																																																					
②地域的特色や地域の課題を捉えさせることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域的特色を捉えさせるための主題と資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>州名</th> <th>主 題</th> <th>写真</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>巨大な人口と急速な経済発展</td> <td>26</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>国境をこえた結びつき</td> <td>31</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>アフリカ</td> <td>人々の生活の変化と自立への課題</td> <td>20</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>世界に影響を与える産業文化</td> <td>30</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>南米</td> <td>進出開発と環境問題</td> <td>25</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>オセアニア</td> <td>多文化社会の形成</td> <td>23</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	州名	主 題	写真	他	アジア	巨大な人口と急速な経済発展	26	41	欧州	国境をこえた結びつき	31	23	アフリカ	人々の生活の変化と自立への課題	20	17	北米	世界に影響を与える産業文化	30	26	南米	進出開発と環境問題	25	21	オセアニア	多文化社会の形成	23	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域的特色を捉えさせるための主題と資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>州名</th> <th>主 題</th> <th>写真</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>経済成長による社会の変化</td> <td>27</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>EU統合による社会の変化</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>アフリカ</td> <td>主な生産品にたよる経済からの変化</td> <td>16</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>世界中に影響を与える産業</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>南米</td> <td>開発・環境問題と人々の生活</td> <td>18</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>オセアニア</td> <td>他地域との結びつきの変化</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	州名	主 題	写真	他	アジア	経済成長による社会の変化	27	32	欧州	EU統合による社会の変化	23	23	アフリカ	主な生産品にたよる経済からの変化	16	20	北米	世界中に影響を与える産業	26	27	南米	開発・環境問題と人々の生活	18	21	オセアニア	他地域との結びつきの変化	18	19												
州名	主 題	写真	他																																																																			
アジア	巨大な人口と急速な経済発展	26	41																																																																			
欧州	国境をこえた結びつき	31	23																																																																			
アフリカ	人々の生活の変化と自立への課題	20	17																																																																			
北米	世界に影響を与える産業文化	30	26																																																																			
南米	進出開発と環境問題	25	21																																																																			
オセアニア	多文化社会の形成	23	20																																																																			
州名	主 題	写真	他																																																																			
アジア	経済成長による社会の変化	27	32																																																																			
欧州	EU統合による社会の変化	23	23																																																																			
アフリカ	主な生産品にたよる経済からの変化	16	20																																																																			
北米	世界中に影響を与える産業	26	27																																																																			
南米	開発・環境問題と人々の生活	18	21																																																																			
オセアニア	他地域との結びつきの変化	18	19																																																																			
③地域の調査では、韓国が例として取り上げられている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域構成を大観させるための資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <th>世界と比較した統計の数</th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>世界と比較した統計の数</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、歴史的経緯をふまえ、地図や図、写真を用いて我が国の固有の領土であることが示されている。</li> </ul> </ul>	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	数	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	7	世界と比較した統計の数	数	世界と比較した統計の数	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域構成を大観させるための資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数</td> <td>9</td> </tr> <tr> <th>世界と比較した統計の数</th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>世界と比較した統計の数</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、歴史的経緯をふまえ、地図や図、写真を用いて我が国の固有の領土であることが示されている。</li> </ul> </ul>	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	数	日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	9	世界と比較した統計の数	数	世界と比較した統計の数	9																																																				
日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	数																																																																					
日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	7																																																																					
世界と比較した統計の数	数																																																																					
世界と比較した統計の数	10																																																																					
日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	数																																																																					
日本の地域構成を捉えさせるための地図等の数	9																																																																					
世界と比較した統計の数	数																																																																					
世界と比較した統計の数	9																																																																					
教科独自	日本の様々な地域	①国土の地域構成を大まかに捉えさせ、世界と比べた日本の地域的特色を大観させることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域構成を大観させるための資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地名</th> <th>中核とする考察の仕方</th> <th>写真</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>自然環境</td> <td>34</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>中国四国</td> <td>他地域との結びつき</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>環境保全</td> <td>33</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>36</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>人口や都市</td> <td>29</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>生活・文化</td> <td>35</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>歴史的背景</td> <td>24</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	地名	中核とする考察の仕方	写真	他	九州	自然環境	34	35	中国四国	他地域との結びつき	31	31	近畿	環境保全	33	28	中部	産業	36	33	関東	人口や都市	29	32	東北	生活・文化	35	26	北海道	歴史的背景	24	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域構成を大観させるための資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地名</th> <th>中核とする考察の仕方</th> <th>写真</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>環境問題や環境保全</td> <td>31</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>中国四国</td> <td>人口や都市・村落</td> <td>22</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>歴史的背景</td> <td>30</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>他地域との結びつき</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>生活・文化</td> <td>34</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>自然環境</td> <td>29</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	地名	中核とする考察の仕方	写真	他	九州	環境問題や環境保全	31	23	中国四国	人口や都市・村落	22	20	近畿	歴史的背景	30	20	中部	産業	28	28	関東	他地域との結びつき	26	27	東北	生活・文化	34	26	北海道	自然環境	29	25		
		地名	中核とする考察の仕方	写真	他																																																																	
		九州	自然環境	34	35																																																																	
中国四国	他地域との結びつき	31	31																																																																			
近畿	環境保全	33	28																																																																			
中部	産業	36	33																																																																			
関東	人口や都市	29	32																																																																			
東北	生活・文化	35	26																																																																			
北海道	歴史的背景	24	25																																																																			
地名	中核とする考察の仕方	写真	他																																																																			
九州	環境問題や環境保全	31	23																																																																			
中国四国	人口や都市・村落	22	20																																																																			
近畿	歴史的背景	30	20																																																																			
中部	産業	28	28																																																																			
関東	他地域との結びつき	26	27																																																																			
東北	生活・文化	34	26																																																																			
北海道	自然環境	29	25																																																																			
②地域的特色ある地理的事象や事柄を他の事象と有機的に関連付けて追求することについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域的特色を捉えさせるための考察の仕方と資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地名</th> <th>中核とする考察の仕方</th> <th>写真</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>自然環境</td> <td>34</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>中国四国</td> <td>他地域との結びつき</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>環境保全</td> <td>33</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>36</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>人口や都市</td> <td>29</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>生活・文化</td> <td>35</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>歴史的背景</td> <td>24</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	地名	中核とする考察の仕方	写真	他	九州	自然環境	34	35	中国四国	他地域との結びつき	31	31	近畿	環境保全	33	28	中部	産業	36	33	関東	人口や都市	29	32	東北	生活・文化	35	26	北海道	歴史的背景	24	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域的特色を捉えさせるための考察の仕方と資料の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地名</th> <th>中核とする考察の仕方</th> <th>写真</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>環境問題や環境保全</td> <td>31</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>中国四国</td> <td>人口や都市・村落</td> <td>22</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>歴史的背景</td> <td>30</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>他地域との結びつき</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>生活・文化</td> <td>34</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>自然環境</td> <td>29</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	地名	中核とする考察の仕方	写真	他	九州	環境問題や環境保全	31	23	中国四国	人口や都市・村落	22	20	近畿	歴史的背景	30	20	中部	産業	28	28	関東	他地域との結びつき	26	27	東北	生活・文化	34	26	北海道	自然環境	29	25				
地名	中核とする考察の仕方	写真	他																																																																			
九州	自然環境	34	35																																																																			
中国四国	他地域との結びつき	31	31																																																																			
近畿	環境保全	33	28																																																																			
中部	産業	36	33																																																																			
関東	人口や都市	29	32																																																																			
東北	生活・文化	35	26																																																																			
北海道	歴史的背景	24	25																																																																			
地名	中核とする考察の仕方	写真	他																																																																			
九州	環境問題や環境保全	31	23																																																																			
中国四国	人口や都市・村落	22	20																																																																			
近畿	歴史的背景	30	20																																																																			
中部	産業	28	28																																																																			
関東	他地域との結びつき	26	27																																																																			
東北	生活・文化	34	26																																																																			
北海道	自然環境	29	25																																																																			
③市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法を身につけさせることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査を行うための学習過程ごとのページ数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>課題設定</th> <th>調査活動</th> <th>整理分析</th> <th>まとめ表現</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域の調査では、東京都練馬区が例として取り上げられている。</li> </ul> </ul>	課題設定	調査活動	整理分析	まとめ表現	2	4	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査を行うための学習過程ごとのページ数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>課題設定</th> <th>調査活動</th> <th>整理分析</th> <th>まとめ表現</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域の調査では、愛知県小牧市が例として取り上げられている。</li> </ul> </ul>	課題設定	調査活動	整理分析	まとめ表現	2	6	2	3																																																				
課題設定	調査活動	整理分析	まとめ表現																																																																			
2	4	2	2																																																																			
課題設定	調査活動	整理分析	まとめ表現																																																																			
2	6	2	3																																																																			





## 1 学習指導要領に示された目標

## 【社会科の目標】

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を培う。

## 【地理的分野の目標】

(1)	日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
(2)	日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりにとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。
(3)	大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
(4)	地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

## 2 教科独自の調査研究の観点

(1) 地図の活用に関する技能	<p>① 地図に慣れ親しみ、地図に対する興味・関心を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>② 地図から地理的事象を発見したり、地図から地域的特色や地域の課題を捉えたりするなど、読図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>③ 観察や調査の活動を通して明らかになったことを地図上に描くといった作図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。</p>
-----------------	--

# 【 地 図 】

観点		発行者	2 東書	46 帝国																																																																						
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲載されている地図数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>世界</th> <th>日本</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td colspan="2">184</td> </tr> <tr> <td>世界(日本)全図の数</td> <td>40</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>州別(地方別)地図の数</td> <td>57</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>諸島図の数</td> <td colspan="2">21</td> </tr> <tr> <td>詳しい地図の数</td> <td>37</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>索引に掲載されている世界(日本)の地名数</td> <td>1354</td> <td>2208</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的別資料図の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国土利用・自然環境</th> <th>人口・交通貿易</th> <th>農林産業</th> <th>鉱工業</th> <th>歴史生活文化</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目的別資料図</td> <td>80</td> <td>36</td> <td>38</td> <td>36</td> <td>60</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> </ul> </ul>		世界	日本	総ページ数	184		世界(日本)全図の数	40	41	州別(地方別)地図の数	57	53	諸島図の数	21		詳しい地図の数	37	48	索引に掲載されている世界(日本)の地名数	1354	2208		国土利用・自然環境	人口・交通貿易	農林産業	鉱工業	歴史生活文化	他	目的別資料図	80	36	38	36	60	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲載されている地図数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>世界</th> <th>日本</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td colspan="2">176</td> </tr> <tr> <td>世界(日本)全図の数</td> <td>13</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>州別(地方別)地図の数</td> <td>48</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>諸島図の数</td> <td colspan="2">23</td> </tr> <tr> <td>詳しい地図の数</td> <td>25</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>索引に掲載されている世界(日本)の地名数</td> <td>1710</td> <td>2513</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的別資料図の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国土利用・自然環境</th> <th>人口・交通貿易</th> <th>農林産業</th> <th>鉱工業</th> <th>歴史生活文化</th> <th>他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目的別資料図</td> <td>67</td> <td>31</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>55</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> </ul> </ul>		世界	日本	総ページ数	176		世界(日本)全図の数	13	40	州別(地方別)地図の数	48	36	諸島図の数	23		詳しい地図の数	25	53	索引に掲載されている世界(日本)の地名数	1710	2513		国土利用・自然環境	人口・交通貿易	農林産業	鉱工業	歴史生活文化	他	目的別資料図	67	31	39	39	55	8
			世界	日本																																																																						
		総ページ数	184																																																																							
世界(日本)全図の数	40	41																																																																								
州別(地方別)地図の数	57	53																																																																								
諸島図の数	21																																																																									
詳しい地図の数	37	48																																																																								
索引に掲載されている世界(日本)の地名数	1354	2208																																																																								
	国土利用・自然環境	人口・交通貿易	農林産業	鉱工業	歴史生活文化	他																																																																				
目的別資料図	80	36	38	36	60	6																																																																				
	世界	日本																																																																								
総ページ数	176																																																																									
世界(日本)全図の数	13	40																																																																								
州別(地方別)地図の数	48	36																																																																								
諸島図の数	23																																																																									
詳しい地図の数	25	53																																																																								
索引に掲載されている世界(日本)の地名数	1710	2513																																																																								
	国土利用・自然環境	人口・交通貿易	農林産業	鉱工業	歴史生活文化	他																																																																				
目的別資料図	67	31	39	39	55	8																																																																				
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図帳の基本的な活用法の理解のために「この地図帳の活用法」が巻頭に設けられている。</li> <li>地図帳の使い方のガイダンスのページ数は、3。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図帳の基本的な活用法の理解のために「この地図帳の使い方」が巻頭に設けられている。</li> <li>地図帳の使い方のガイダンスのページ数は、4。</li> </ul>																																																																								
③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力・判断力・表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の地域別地図では、縮尺が100万分の1に統一されている。</li> <li>「世界全体」「日本全体」のコーナーを設定し、思考力・判断力・表現力を育む資料が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の地域別地図では、縮尺が100万分の1に統一されている。</li> <li>「資料図」のコーナーを設定し、思考力・判断力・表現力を育む資料と学習課題が示されている。</li> </ul>																																																																								
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の様々な地域では、地図・資料で難解な漢字にふりがなが付けられている。</li> <li>日本の様々な地域では、地図・資料のすべての地名にふりがなが付けられている。</li> <li>地図の等高線図の色分けの数は、最大で陸地の高さが11、海の深さは8。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の様々な地域では、地図・資料で難解な漢字にふりがなが付けられている。</li> <li>日本の様々な地域では、地図・資料のすべての地名にふりがなが付けられている。</li> <li>地図の等高線図の色分けの数は、最大で陸地の高さが7、海の深さは7。</li> </ul>																																																																							
	②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>主題学習の例としてヨーロッパが取り上げられている。</li> <li>6人のキャラクターにより具体的な学習課題や着目点が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の主題学習の例としてオーストラリア、日本の諸地域の特色ある事象を読み取る学習の例として北陸3県が取り上げられている。</li> <li>「地図をみる目」「やってみよう」のコーナーで、具体的な学習課題や着目点が提示されている。</li> </ul>																																																																							
挿絵・図表	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲載されている国旗の数は196で、地図上の国々の位置と関連させて示されている。</li> <li>各地図が地球上や日本列島のどこを示しているのかがすぐに分かるように、地球儀や日本列島を模した位置図が掲載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲載されている国旗の数は196で、地図上の国々の位置と関連させて示されている。</li> <li>各地図が地球上や日本列島のどこを示しているのかがすぐに分かるように、地球儀や日本列島を模した位置図が掲載されている。</li> </ul>																																																																							
	②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判、再生紙、植物油インキを使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判、再生紙、植物油インキを使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>																																																																							
教科独自	地図の活用に関する技能	①地図に慣れ親しみ、地図に対する興味・関心を高めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計資料等の掲載数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>統計資料等の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>写真</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>表・グラフ</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>主題図(分布図)</td> <td>231</td> </tr> <tr> <td>絵地図・鳥瞰図</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連させて見ることを促している。</li> <li>郷土料理や世界遺産の写真が取り上げられている。</li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島を写真付きで取り上げ、我が国の固有の領土であることが示されている。</li> </ul> </ul>		統計資料等の数	写真	199	表・グラフ	104	主題図(分布図)	231	絵地図・鳥瞰図	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計資料等の掲載数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>統計資料等の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>写真</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>表・グラフ</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>主題図(分布図)</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td>絵地図・鳥瞰図</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の特徴が大観できる図「ながめてみよう」が州ごとに掲載されている。</li> <li>日本の生活・文化に関する特設ページが設けられている。</li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島を写真付きで取り上げ、我が国の固有の領土であることが示されている。</li> </ul> </ul>		統計資料等の数	写真	90	表・グラフ	105	主題図(分布図)	176	絵地図・鳥瞰図	47																																																		
			統計資料等の数																																																																							
		写真	199																																																																							
表・グラフ	104																																																																									
主題図(分布図)	231																																																																									
絵地図・鳥瞰図	6																																																																									
	統計資料等の数																																																																									
写真	90																																																																									
表・グラフ	105																																																																									
主題図(分布図)	176																																																																									
絵地図・鳥瞰図	47																																																																									
②地図から地理的事象を発見したり、地図から地域的特色や地域的課題を捉えたりするなど、読図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターによる問いや学習課題を設定することで、読図の視点が示されている。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>キャラクターによる問い、着目点の数</th> <th>53</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャラクター以外による問い(学習課題)の数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table>	キャラクターによる問い、着目点の数	53	キャラクター以外による問い(学習課題)の数	8	合計	61	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターによる問いや学習課題を設定することで、読図の視点が示されている。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>キャラクターによる問い、着目点の数</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャラクター以外による問い(学習課題)の数</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>92</td> </tr> </tbody> </table>	キャラクターによる問い、着目点の数	3	キャラクター以外による問い(学習課題)の数	89	合計	92																																																												
キャラクターによる問い、着目点の数	53																																																																									
キャラクター以外による問い(学習課題)の数	8																																																																									
合計	61																																																																									
キャラクターによる問い、着目点の数	3																																																																									
キャラクター以外による問い(学習課題)の数	89																																																																									
合計	92																																																																									
③観察や調査の活動を通して明らかにしたことや地図上に描くといった作図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図記号は、凡例として272示されており、地球儀の取り扱いについて1ページで示されている。</li> <li>関連する分布図を並べて掲載することで、作図の有用性が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図記号は、凡例として222示されており、地球儀の取り扱いについて1ページで示されている。</li> <li>関連する分布図を並べて掲載することで、作図の有用性が示されている。</li> <li>「やってみよう」のコーナーで、作図に関する技能を高める視点が示されている。</li> </ul>																																																																								

## 1 学習指導要領に示された目標

## 【社会科の目標】

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を培う。

## 【歴史的分野の目標】

(1)	歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
(2)	国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
(3)	歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
(4)	身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的な事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

## 2 教科独自の調査研究の観点

(1) 歴史の大きな流れ	① 学習した内容を活用して、時代の特色を大観し表現する学習と時代の転換の様子をとらえる学習が、どのように示されているか。 ② 我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。
(2) 歴史上の人物と文化遺産	① 国家・社会及び文化の発展に尽くした人物の役割や生き方が、どのように示されているか。また、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育てる学習が、どのように示されているか。
(3) 国際関係や文化交流、国際協調の精神	① 国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う学習が、どのように示されているか。

# 【 社会（歴史的分野） 】

観点		発行者	2 東書	17 教出																																							
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代区分別ページ数(割合) <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>44(17%)</td><td>34(13%)</td><td>44(17%)</td><td>99(38%)</td><td>37(14%)</td></tr> </table> </li> <li>巻頭、巻末のページ数は44。</li> <li>歴史のとらえ方や地域調査等のページ数 <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>7</td><td>22</td><td>28</td><td>13</td></tr> </table> </li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	44(17%)	34(13%)	44(17%)	99(38%)	37(14%)	歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	7	22	28	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代区分別ページ数(割合) <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>38(15%)</td><td>34(13%)</td><td>44(17%)</td><td>104(41%)</td><td>32(13%)</td></tr> </table> </li> <li>巻頭、巻末のページ数は40。</li> <li>歴史のとらえ方や地域調査等のページ数 <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>10</td><td>13</td><td>33</td><td>18</td></tr> </table> </li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	38(15%)	34(13%)	44(17%)	104(41%)	32(13%)	歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	10	13	33	18			
		古代	中世	近世	近代	現代																																					
		44(17%)	34(13%)	44(17%)	99(38%)	37(14%)																																					
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																								
7	22	28	13																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																							
38(15%)	34(13%)	44(17%)	104(41%)	32(13%)																																							
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																								
10	13	33	18																																								
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校での学習を踏まえ、歴史の流れを表すイラストや今後の学習に向けたポイントとなる活動が示されている。</li> <li>各章の導入ページ数は3。人々の生活の様子が見えるイラストやキャラクター等により、章の学習課題が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校での学習を踏まえ、年表や人物イラストを歴史区分で分ける活動や人物カードをつくる活動が示されている。</li> <li>各章の導入ページ数は1。一枚の写真や絵図を配し、キャラクターの問いかけにより、章の学習課題が示されている。</li> </ul>																																									
③基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるよう示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中ゴシック体で示す用語数は532。</li> <li>章、単元のまとめ課題の数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>6</td><td>4</td></tr> </table> </li> </ul>		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	3	3	2	4	2	思考・判断・表現に係る課題	2	2	3	6	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中ゴシック体で示す用語数は443。</li> <li>章、単元のまとめ課題の数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>7</td><td>3</td></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>6</td><td>4</td></tr> </table> </li> </ul>		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	3	3	3	7	3	思考・判断・表現に係る課題	4	4	4	6	4					
	古代	中世	近世	近代	現代																																						
基礎的・基本的な課題	3	3	2	4	2																																						
思考・判断・表現に係る課題	2	2	3	6	4																																						
	古代	中世	近世	近代	現代																																						
基礎的・基本的な課題	3	3	3	7	3																																						
思考・判断・表現に係る課題	4	4	4	6	4																																						
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1章で調べ学習の課題設定、調査、考察、まとめ、発表過程の具体が掲載されている。</li> <li>資料分析の技能コーナーが設けられている。</li> <li>本文1ページの最大行数は22。</li> <li>1行文字数は30。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1章で各種資料の読み取りや歴史調べの視点等が掲載されている。</li> <li>資料分析の技能コーナーが設けられている。</li> <li>本文1ページの最大行数は22。</li> <li>1行文字数は28。</li> </ul>																																								
	②資料・手引き等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きごとに学習課題が示され、学習内容を説明することを促すコーナーが設けられている。</li> <li>見開きに導入資料が配置され、キャラクターによる資料検討の視点が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きごとに学習課題が示され、学習内容をふりかえることを促すコーナーが設けられている。</li> <li>見開きに導入資料が配置され、キャラクターによる疑問や問いかけが示されている。</li> </ul>																																								
挿絵・図表・紙質・造本	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の数 <table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>940</td><td>14</td><td>55</td><td>71</td><td>82</td></tr> </table> </li> </ul>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	940	14	55	71	82	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の数 <table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>779</td><td>20</td><td>48</td><td>77</td><td>46</td></tr> </table> </li> </ul>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	779	20	48	77	46																				
	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																						
940	14	55	71	82																																							
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																							
779	20	48	77	46																																							
②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判。再生紙、植物油インキを使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判。再生紙、植物油インキを使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>																																									
教科 独自	歴史の大きな流れ	①学習した内容を活用して、時代の特色を大観し表現する学習と時代の転換の様子をとらえる学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代の特色をとらえる学習として、リンクマップ等の思考ツールを用いた方法や歴史新聞の作成等が示されている。</li> <li>時代の転換をとらえる視点として、文化、政治形態、生活の様子、開国、戦争、経済発展等の視点が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代の特色をとらえる学習として、歴史新聞の作成、歴史上の人物になりきる討論会、ディベート等が示されている。</li> <li>時代の転換をとらえる視点として、政治形態、文化、鎖国、戦争等の視点が示されている。</li> </ul>																																							
		②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引中の世界人物の項目数は69。</li> <li>世界の歴史に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>16</td><td>6</td><td>24</td><td>45</td><td>9</td></tr> </table> </li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	16	6	24	45	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引中の世界人物の項目数は92。</li> <li>世界の歴史に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>17</td><td>5</td><td>9</td><td>47</td><td>10</td></tr> </table> </li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	17	5	9	47	10																			
	古代	中世	近世	近代	現代																																						
16	6	24	45	9																																							
古代	中世	近世	近代	現代																																							
17	5	9	47	10																																							
文化遺産	①国家・社会及び文化の発展に尽くした人物の役割や生き方が、どのように示されているか。また、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育てる学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引の項目数は346。</li> <li>絵図等で取り上げられている人物数 <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>16</td><td>26</td><td>24</td><td>63</td><td>10</td></tr> </table> </li> <li>日本の文化に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>12</td><td>8</td><td>8</td><td>12</td><td>4</td></tr> </table> </li> </ul>	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	16	26	24	63	10	古代	中世	近世	近代	現代	12	8	8	12	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引の項目数は362。</li> <li>絵図等で取り上げられている人物数 <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>41</td><td>18</td><td>17</td><td>67</td><td>15</td></tr> </table> </li> <li>日本の文化に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>10</td><td>7</td><td>11</td><td>5</td><td>6</td></tr> </table> </li> </ul>	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	41	18	17	67	15	古代	中世	近世	近代	現代	10	7	11	5	6
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																							
16	26	24	63	10																																							
古代	中世	近世	近代	現代																																							
12	8	8	12	4																																							
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																							
41	18	17	67	15																																							
古代	中世	近世	近代	現代																																							
10	7	11	5	6																																							
国際関係や文化交流、国際協調の精神	①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際関係・文化交流に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>14</td><td>9</td><td>34</td><td>59</td><td>21</td></tr> </table> </li> <li>現在に伝わる文化遺産の写真、絵図の数 <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>160</td><td>96</td><td>146</td><td>148</td><td>28</td></tr> </table> </li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、地図、写真、年表、本文、解説、コラムを用いて扱われている。</li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	14	9	34	59	21	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	160	96	146	148	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際関係・文化交流に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>19</td><td>14</td><td>24</td><td>58</td><td>16</td></tr> </table> </li> <li>現在に伝わる文化遺産の写真、絵図の数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>144</td><td>122</td><td>167</td><td>131</td><td>16</td></tr> </table> </li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、地図、写真、年表、本文、解説、課題学習を用いて扱われている。</li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	19	14	24	58	16	古代	中世	近世	近代	現代	144	122	167	131	16
古代	中世	近世	近代	現代																																							
14	9	34	59	21																																							
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																							
160	96	146	148	28																																							
古代	中世	近世	近代	現代																																							
19	14	24	58	16																																							
古代	中世	近世	近代	現代																																							
144	122	167	131	16																																							

# 【 社会（歴史的分野） 】

観点		発行者	35 清水	46 帝国																																								
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代区分別ページ数(割合) <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>52(19%)</td><td>32(12%)</td><td>56(21%)</td><td>102(38%)</td><td>28(10%)</td></tr> </table> </li> <li>巻頭、巻末のページ数は38。</li> <li>歴史のとらえ方や地域調査等のページ数 <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>13</td><td>14</td><td>20</td><td>7</td></tr> </table> </li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	52(19%)	32(12%)	56(21%)	102(38%)	28(10%)	歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	13	14	20	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代区分別ページ数(割合) <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>38(15%)</td><td>36(14%)</td><td>52(21%)</td><td>98(39%)</td><td>28(11%)</td></tr> </table> </li> <li>巻頭、巻末のページ数は34。</li> <li>歴史のとらえ方や地域調査等のページ数 <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>11</td><td>20</td><td>33</td><td>14</td></tr> </table> </li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	38(15%)	36(14%)	52(21%)	98(39%)	28(11%)	歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	11	20	33	14				
		古代	中世	近世	近代	現代																																						
		52(19%)	32(12%)	56(21%)	102(38%)	28(10%)																																						
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																									
13	14	20	7																																									
古代	中世	近世	近代	現代																																								
38(15%)	36(14%)	52(21%)	98(39%)	28(11%)																																								
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																									
11	20	33	14																																									
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校での学習を踏まえ、歴史の流れを表すイラストや年表で今後の学習に向けたポイントとなる活動が示されている。</li> <li>各章の導入ページは1。複数の写真を掲し、吹き出しによる問いかけをつけて、章の学習課題が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校での学習を踏まえ、歴史の流れを表すイラストや今後の学習に向けたポイントとなる活動が示されている。</li> <li>各章の導入ページは2。人々の暮らしを表すイラストを見開きで掲し、問いかけの形で、学習課題が示されている。</li> </ul>																																										
③基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるよう示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中ゴシック体で示す用語数は696。</li> <li>章、単元のまとめ課題の数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>6</td><td>4</td></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> </li> <li>特設ページにおいて各種資料の読み取りや人物調べ、歴史調べを行う上での留意点等が示されている。</li> </ul>		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	3	3	3	6	4	思考・判断・表現に係る課題	1	1	1	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中ゴシック体で示す用語数は540。</li> <li>章、単元のまとめ課題の数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>6</td><td>3</td></tr> </table> </li> <li>第1章で情報収集、整理分析、まとめや発表に関する具体が掲載されている。</li> <li>資料分析の技能コーナーが設けられている。</li> </ul>		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	2	2	2	4	2	思考・判断・表現に係る課題	3	3	3	6	3						
	古代	中世	近世	近代	現代																																							
基礎的・基本的な課題	3	3	3	6	4																																							
思考・判断・表現に係る課題	1	1	1	3	3																																							
	古代	中世	近世	近代	現代																																							
基礎的・基本的な課題	2	2	2	4	2																																							
思考・判断・表現に係る課題	3	3	3	6	3																																							
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文1ページの最大行数は33。</li> <li>1行文字数は23。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文1ページの最大行数は22。</li> <li>1行文字数は30。</li> </ul>																																									
	②資料・手引き等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きごとに学習課題が示され、学習内容のまとめを促すコーナーが設けられている。</li> <li>見開きに学習内容に関連する資料が配置されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きごとに学習課題が示され、学習内容を書き出したり、説明したりすることを促すコーナーが設けられている。</li> <li>見開きに導入資料を配置し、キャラクターにより資料検討の視点が示されている。</li> </ul>																																									
紙質・造本	挿絵・図表・造本	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の数 <table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>744</td><td>16</td><td>32</td><td>57</td><td>52</td></tr> </table> </li> </ul>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	744	16	32	57	52	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の数 <table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>844</td><td>25</td><td>43</td><td>99</td><td>77</td></tr> </table> </li> </ul>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	844	25	43	99	77																				
		写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																						
744	16	32	57	52																																								
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																								
844	25	43	99	77																																								
②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>B5判。再生紙を使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判。再生紙、ライシンクを使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>																																										
教科 独自	歴史の大きな流れ	①学習した内容を活用して、時代の特色を大観し表現する学習と時代の転換の様子をとらえる学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代の特色をとらえる学習として、思考ツールであるYチャートを用いた方法、条件つき説明文の作成等が示されている。</li> <li>時代の転換をとらえる視点として、政治形態、生活の様子、産業、戦争等の視点が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代の特色をとらえる学習として、思考ツールであるKJ法やランキングを用いた方法、歴史新聞の作成等が示されている。</li> <li>時代の転換をとらえる視点として、生活の様子、産業、開国、戦争、経済等の視点が示されている。</li> </ul>																																								
		②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引中の世界人物の項目数は56。</li> <li>世界の歴史に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>16</td><td>5</td><td>10</td><td>55</td><td>13</td></tr> </table> </li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	16	5	10	55	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引中の世界人物の項目数は49。</li> <li>世界の歴史に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>17</td><td>3</td><td>9</td><td>38</td><td>9</td></tr> </table> </li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	17	3	9	38	9																				
		古代	中世	近世	近代	現代																																						
16	5	10	55	13																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
17	3	9	38	9																																								
③我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引の項目数は240。</li> <li>絵図等で取り上げられている人物数 <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>11</td><td>14</td><td>31</td><td>48</td><td>5</td></tr> </table> </li> <li>日本の文化に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>11</td><td>6</td><td>14</td><td>14</td><td>2</td></tr> </table> </li> </ul>	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	11	14	31	48	5	古代	中世	近世	近代	現代	11	6	14	14	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引の項目数は311。</li> <li>絵図等で取り上げられている人物数 <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>12</td><td>24</td><td>20</td><td>76</td><td>20</td></tr> </table> </li> <li>日本の文化に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>12</td><td>8</td><td>11</td><td>7</td><td>4</td></tr> </table> </li> </ul>	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	12	24	20	76	20	古代	中世	近世	近代	現代	12	8	11	7	4		
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																								
11	14	31	48	5																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
11	6	14	14	2																																								
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																								
12	24	20	76	20																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
12	8	11	7	4																																								
文化遺産	歴史上の人物と	①国家・社会及び文化の発展に尽くした人物の役割や生き方が、どのように示されているか。また、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育てる学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際関係・文化交流に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>18</td><td>11</td><td>22</td><td>77</td><td>19</td></tr> </table> </li> <li>現在に伝わる文化遺産の写真、絵図の数 <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>232</td><td>77</td><td>126</td><td>175</td><td>10</td></tr> </table> </li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、地図、本文、解説を用いて扱われている。</li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	18	11	22	77	19	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	232	77	126	175	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際関係・文化交流に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>16</td><td>11</td><td>19</td><td>70</td><td>16</td></tr> </table> </li> <li>現在に伝わる文化遺産の写真、絵図の数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>102</td><td>98</td><td>185</td><td>181</td><td>40</td></tr> </table> </li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、地図、写真、年表、本文、解説、課題学習を用いて扱われている。</li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	16	11	19	70	16	古代	中世	近世	近代	現代	102	98	185	181	40
		古代	中世	近世	近代	現代																																						
18	11	22	77	19																																								
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																								
232	77	126	175	10																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
16	11	19	70	16																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
102	98	185	181	40																																								
国際関係や文化交流のあらしを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際関係・文化交流に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>18</td><td>11</td><td>22</td><td>77</td><td>19</td></tr> </table> </li> <li>現在に伝わる文化遺産の写真、絵図の数 <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>232</td><td>77</td><td>126</td><td>175</td><td>10</td></tr> </table> </li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、地図、本文、解説を用いて扱われている。</li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	18	11	22	77	19	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	232	77	126	175	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際関係・文化交流に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>16</td><td>11</td><td>19</td><td>70</td><td>16</td></tr> </table> </li> <li>現在に伝わる文化遺産の写真、絵図の数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>102</td><td>98</td><td>185</td><td>181</td><td>40</td></tr> </table> </li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、地図、写真、年表、本文、解説、課題学習を用いて扱われている。</li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	16	11	19	70	16	古代	中世	近世	近代	現代	102	98	185	181	40		
古代	中世	近世	近代	現代																																								
18	11	22	77	19																																								
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																								
232	77	126	175	10																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
16	11	19	70	16																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
102	98	185	181	40																																								

# 【 社会（歴史的分野） 】

観点		発行者	116 日文	225 自由社																																								
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代区分別ページ数(割合)</li> <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>44 (17%)</td><td>38 (14%)</td><td>50 (19%)</td><td>98 (37%)</td><td>36 (14%)</td></tr> </table> <li>巻頭、巻末のページ数は44。</li> <li>歴史のとらえ方や地域調査等のページ数</li> <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>11</td><td>26</td><td>19</td><td>13</td></tr> </table> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	44 (17%)	38 (14%)	50 (19%)	98 (37%)	36 (14%)	歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	11	26	19	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代区分別ページ数(割合)</li> <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>56 (22%)</td><td>28 (11%)</td><td>44 (17%)</td><td>98 (39%)</td><td>28 (11%)</td></tr> </table> <li>巻頭、巻末のページ数は44。</li> <li>歴史のとらえ方や地域調査等のページ数</li> <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>14</td><td>10</td><td>38</td><td>12</td></tr> </table> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	56 (22%)	28 (11%)	44 (17%)	98 (39%)	28 (11%)	歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	14	10	38	12				
		古代	中世	近世	近代	現代																																						
		44 (17%)	38 (14%)	50 (19%)	98 (37%)	36 (14%)																																						
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																									
11	26	19	13																																									
古代	中世	近世	近代	現代																																								
56 (22%)	28 (11%)	44 (17%)	98 (39%)	28 (11%)																																								
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																									
14	10	38	12																																									
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校での学習を踏まえ、歴史の流れを表すイラストや年表により、今後の学習に向けたポイントとなる活動が示されている。</li> <li>各章の導入ページは4。写真やグラフ等を複数掲示し、世界地図を用いて、世界の動きが紹介されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校での学習を踏まえ、人物カードをつくる活動や人物を調査する活動が示されている。</li> <li>各章の導入ページは1。複数の写真を掲示し、吹き出しによる問いかけをつけて、章の学習課題が示されている。</li> </ul>																																										
③基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるよう示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中ゴシック体で示す用語数は538。</li> <li>章、単元のまとめ課題の数</li> <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td></tr> </table> </ul>		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	1	1	1	2	1	思考・判断・表現に係る課題	2	2	3	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中ゴシック体で示す用語数は462。</li> <li>章、単元のまとめ課題の数</li> <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>7</td><td>3</td></tr> </table> </ul>		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	1	1	1	2	1	思考・判断・表現に係る課題	4	4	4	7	3						
	古代	中世	近世	近代	現代																																							
基礎的・基本的な課題	1	1	1	2	1																																							
思考・判断・表現に係る課題	2	2	3	4	3																																							
	古代	中世	近世	近代	現代																																							
基礎的・基本的な課題	1	1	1	2	1																																							
思考・判断・表現に係る課題	4	4	4	7	3																																							
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文1ページの最大行数は22。</li> <li>1行文字数は30。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文1ページの最大行数は31。</li> <li>1行文字数は28。</li> </ul>																																									
	②資料・手引き等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きごとに学習課題、キーワードが示され、学習したことを確認したり、説明することを促すコーナーが設けられている。</li> <li>見開きに導入資料を配置し、キャラクターにより資料検討の視点が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きごとに学習課題が示され、学習内容のまとめを促すコーナーが設けられている。</li> <li>見開きに学習内容に関連する資料が配置されている。</li> </ul>																																									
紙質・造本	挿絵・図表	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の数</li> <table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>892</td><td>39</td><td>79</td><td>100</td><td>49</td></tr> </table> </ul>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	892	39	79	100	49	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の数</li> <table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>653</td><td>16</td><td>28</td><td>30</td><td>39</td></tr> </table> </ul>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	653	16	28	30	39																				
		写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																						
892	39	79	100	49																																								
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																								
653	16	28	30	39																																								
②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判。再生紙、植物油インキを使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B5判。</li> </ul>																																										
教科 独自	歴史の大きな流れ	①学習した内容を活用して、時代の特色を大観し表現する学習や時代の転換の様子をとらえる学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代の特色をとらえる学習として、表を用いた分類や図による整理等が示されている。</li> <li>時代の転換をとらえる視点として、戦乱、政治形態、教育制度等の視点が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代の特色をとらえる学習として、対話文の読み取り、意見交換会、条件付き説明文の作成等が示されている。</li> <li>時代の転換をとらえる視点として、政治形態、文化、鎖国、開国等の視点が示されている。</li> </ul>																																								
		②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引中の世界人物の項目数は52。</li> <li>世界の歴史に関する学習</li> <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>19</td><td>3</td><td>4</td><td>22</td><td>6</td></tr> </table> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	19	3	4	22	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引中の世界人物の項目数は50。</li> <li>世界の歴史に関する学習</li> <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>11</td><td>3</td><td>3</td><td>26</td><td>8</td></tr> </table> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	11	3	3	26	8																				
		古代	中世	近世	近代	現代																																						
19	3	4	22	6																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
11	3	3	26	8																																								
③文化遺産	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引の項目数は245。</li> <li>絵図等で取り上げられている人物数</li> <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>14</td><td>23</td><td>22</td><td>51</td><td>8</td></tr> </table> <li>日本の文化に関する学習</li> <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>11</td><td>6</td><td>8</td><td>9</td><td>3</td></tr> </table> </ul>	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	14	23	22	51	8	古代	中世	近世	近代	現代	11	6	8	9	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引の項目数は265。</li> <li>絵図等で取り上げられている人物数</li> <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>17</td><td>17</td><td>30</td><td>60</td><td>21</td></tr> </table> <li>日本の文化に関する学習</li> <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>20</td><td>4</td><td>11</td><td>8</td><td>3</td></tr> </table> </ul>	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	17	17	30	60	21	古代	中世	近世	近代	現代	20	4	11	8	3		
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																								
14	23	22	51	8																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
11	6	8	9	3																																								
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																								
17	17	30	60	21																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
20	4	11	8	3																																								
国際関係や文化交流、国際協調の精神	歴史上の人物と	①国際関係や文化交流のあらしを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際関係・文化交流に関する学習</li> <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>16</td><td>8</td><td>12</td><td>57</td><td>15</td></tr> </table> <li>現在に伝わる文化遺産の写真、絵図の数</li> <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>141</td><td>65</td><td>115</td><td>150</td><td>43</td></tr> </table> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	16	8	12	57	15	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	141	65	115	150	43	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際関係・文化交流に関する学習</li> <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>27</td><td>11</td><td>20</td><td>84</td><td>15</td></tr> </table> <li>現在に伝わる文化遺産の写真、絵図の数</li> <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>126</td><td>43</td><td>78</td><td>108</td><td>13</td></tr> </table> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	27	11	20	84	15	古代	中世	近世	近代	現代	126	43	78	108	13
		古代	中世	近世	近代	現代																																						
16	8	12	57	15																																								
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																								
141	65	115	150	43																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
27	11	20	84	15																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																								
126	43	78	108	13																																								
②国際関係や文化交流のあらしを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、地図、本文、解説、コラムを用いて扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、地図、本文、解説、コラムを用いて扱われている。</li> </ul>																																										

# 【 社会（歴史的分野） 】

観点		発行者	227 育鵬社	229 学び舎																																							
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代区分別ページ数(割合) <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>52(20%)</td><td>32(12%)</td><td>54(20%)</td><td>101(38%)</td><td>27(10%)</td></tr> </table> </li> <li>巻頭、巻末のページ数は43。</li> <li>歴史のとらえ方や地域調査等のページ数 <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>13</td><td>9</td><td>40</td><td>13</td></tr> </table> </li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	52(20%)	32(12%)	54(20%)	101(38%)	27(10%)	歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	13	9	40	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代区分別ページ数(割合) <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>46(16%)</td><td>32(11%)</td><td>56(20%)</td><td>112(39%)</td><td>38(13%)</td></tr> </table> </li> <li>巻頭、巻末のページ数は48。</li> <li>歴史のとらえ方や地域調査等のページ数 <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域調査</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>8</td><td>6</td><td>12</td><td>20</td></tr> </table> </li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	46(16%)	32(11%)	56(20%)	112(39%)	38(13%)	歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ	8	6	12	20			
		古代	中世	近世	近代	現代																																					
		52(20%)	32(12%)	54(20%)	101(38%)	27(10%)																																					
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																								
13	9	40	13																																								
古代	中世	近世	近代	現代																																							
46(16%)	32(11%)	56(20%)	112(39%)	38(13%)																																							
歴史の捉え方	地域調査	課題学習	各時代のまとめ																																								
8	6	12	20																																								
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校での学習を踏まえ、人物カードをつくり、時代区分で分けて歴史の流れを確認する活動が示されている。</li> <li>各章の導入ページ数は5。写真や絵図を用いた絵巻形式で歴史の流れを凶解したり、絵図で人々の暮らしが紹介されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校での学習を踏まえ、人物や文化財のカードをつくり、年表に配置して歴史の流れを確認する活動が示されている。</li> <li>各章の導入ページは2。章ごとにテーマを設け、世界地図を中心に各地の写真を複数掲示し、世界の様子が紹介されている。</li> </ul>																																									
③基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるよう示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中ゴシック体で示す用語数は461。</li> <li>章、単元のまとめ課題の数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>3</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td>10</td><td>4</td></tr> </table> </li> </ul>		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	3	2	3	4	2	思考・判断・表現に係る課題	3	4	4	10	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中にゴシック体で示す用語はない。</li> <li>章、単元のまとめ課題の数 <table border="1"> <tr><th></th><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>基礎的・基本的な課題</td><td>3</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td><td>2</td></tr> <tr><td>思考・判断・表現に係る課題</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td></tr> </table> </li> </ul>		古代	中世	近世	近代	現代	基礎的・基本的な課題	3	2	4	6	2	思考・判断・表現に係る課題	2	3	1	3	2					
	古代	中世	近世	近代	現代																																						
基礎的・基本的な課題	3	2	3	4	2																																						
思考・判断・表現に係る課題	3	4	4	10	4																																						
	古代	中世	近世	近代	現代																																						
基礎的・基本的な課題	3	2	4	6	2																																						
思考・判断・表現に係る課題	2	3	1	3	2																																						
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>序章において、発表の仕方や調査やまとめ方等が掲載されている。</li> <li>課題学習の中で調査方法等が示されている。</li> <li>本文1ページの最大行数は26。</li> <li>1行文字数は30。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きごとに学習課題が示され、学習内容をまとめることを促すコーナーが設けられている。</li> <li>見開きに導入資料を配置し、キャラクターにより資料検討の視点が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特設ページで調べ学習や体験学習の様子が掲載されている。</li> <li>章のまとめに調べ学習の例が示されている。</li> <li>本文1ページの最大行数は28。</li> <li>1行文字数は31。</li> </ul>																																							
	②資料・手引き等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の数 <table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>823</td><td>17</td><td>48</td><td>38</td><td>31</td></tr> </table> </li> <li>AB判。一部再生紙、植物油インキを使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	823	17	48	38	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の数 <table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>927</td><td>16</td><td>51</td><td>78</td><td>66</td></tr> </table> </li> <li>A4判。再生紙（見返し除く）、植物油インキを使用。</li> </ul>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	927	16	51	78	66																				
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																							
823	17	48	38	31																																							
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																							
927	16	51	78	66																																							
紙質・造本	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の数 <table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>823</td><td>17</td><td>48</td><td>38</td><td>31</td></tr> </table> </li> </ul>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	823	17	48	38	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の数 <table border="1"> <tr><th>写真・絵図</th><th>年表</th><th>グラフ・表</th><th>地図</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>927</td><td>16</td><td>51</td><td>78</td><td>66</td></tr> </table> </li> </ul>	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト	927	16	51	78	66																				
	写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																						
823	17	48	38	31																																							
写真・絵図	年表	グラフ・表	地図	テキスト																																							
927	16	51	78	66																																							
②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判。一部再生紙、植物油インキを使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A4判。再生紙（見返し除く）、植物油インキを使用。</li> </ul>																																									
教科 独自	歴史の大きな流れ	①学習した内容を活用して、時代の特色を大観し表現する学習と時代の転換の様子をとらえる学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代の特色をとらえる学習として、表を用いた整理、分類や意見交換会等が示されている。</li> <li>時代の転換をとらえる視点として、政治形態、生活の様子、経済、文化、技術、人口等の視点が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代の特色をとらえる学習として、ポスターや歴史新聞の作成、意見交換会等が示されている。</li> <li>時代の転換をとらえる視点として、政治形態、外交、産業、戦争、経済発展等の視点が示されている。</li> </ul>																																							
		②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引中の世界人物の項目数は80。</li> <li>世界の歴史に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>12</td><td>3</td><td>4</td><td>22</td><td>7</td></tr> </table> </li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	12	3	4	22	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引中の世界人物の項目数は122。</li> <li>世界の歴史に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>23</td><td>6</td><td>6</td><td>42</td><td>10</td></tr> </table> </li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	23	6	6	42	10																			
	古代	中世	近世	近代	現代																																						
12	3	4	22	7																																							
古代	中世	近世	近代	現代																																							
23	6	6	42	10																																							
文化遺産	①国家・社会及び文化の発展に尽くした人物の役割や生き方が、どのように示されているか。また、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育てる学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引の項目数は436。</li> <li>絵図等で取り上げられている人物数 <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>11</td><td>24</td><td>40</td><td>94</td><td>23</td></tr> </table> </li> <li>日本の文化に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>14</td><td>5</td><td>14</td><td>8</td><td>3</td></tr> </table> </li> </ul>	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	11	24	40	94	23	古代	中世	近世	近代	現代	14	5	14	8	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物索引の項目数は353。</li> <li>絵図等で取り上げられている人物数 <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>11</td><td>10</td><td>18</td><td>38</td><td>39</td></tr> </table> </li> <li>日本の文化に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>13</td><td>6</td><td>12</td><td>9</td><td>2</td></tr> </table> </li> </ul>	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	11	10	18	38	39	古代	中世	近世	近代	現代	13	6	12	9	2
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																							
11	24	40	94	23																																							
古代	中世	近世	近代	現代																																							
14	5	14	8	3																																							
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																							
11	10	18	38	39																																							
古代	中世	近世	近代	現代																																							
13	6	12	9	2																																							
国際関係や文化交流、国際協調の精神	①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う学習が、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際関係・文化交流に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>17</td><td>8</td><td>24</td><td>66</td><td>18</td></tr> </table> </li> <li>現在に伝わる文化遺産の写真、絵図の数 <table border="1"> <tr><th>古代まで</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代以降</th></tr> <tr><td>87</td><td>72</td><td>145</td><td>178</td><td>52</td></tr> </table> </li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、地図、本文、解説、コラムを用いて扱われている。</li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	17	8	24	66	18	古代まで	中世	近世	近代	現代以降	87	72	145	178	52	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際関係・文化交流に関する学習 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>24</td><td>11</td><td>34</td><td>72</td><td>35</td></tr> </table> </li> <li>現在に伝わる文化遺産の写真、絵図の数 <table border="1"> <tr><th>古代</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>124</td><td>80</td><td>158</td><td>158</td><td>93</td></tr> </table> </li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島について、本文と解説を用いて扱われている。</li> </ul>	古代	中世	近世	近代	現代	24	11	34	72	35	古代	中世	近世	近代	現代	124	80	158	158	93
古代	中世	近世	近代	現代																																							
17	8	24	66	18																																							
古代まで	中世	近世	近代	現代以降																																							
87	72	145	178	52																																							
古代	中世	近世	近代	現代																																							
24	11	34	72	35																																							
古代	中世	近世	近代	現代																																							
124	80	158	158	93																																							





## 1 学習指導要領に示された目標

## 【社会科の目標】

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を培う。

## 【公民的分野の目標】

(1)	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めさせるとともに、国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
(2)	民主主義の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
(3)	国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
(4)	現代の社会事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

## 2 教科独自の調査研究の観点

(1) 基本的な人権の尊重、国民権に関する学習	① 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めさせることについてどのように示されているか。 ② 国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培うことについてどのように示されているか。
(2) 政治、経済、社会生活に関する学習	① 民主主義の意義、国民生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めさせることについてどのように示されているか。
(3) 国際理解に関する学習	① 各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させることについてどのように示されているか。
(4) 社会事象に対する関心	① 現代の社会事象に対する関心を高めさせることについてどのように示されているか。

# 【 社会 (公民的分野) 】

観点		発行者	2 東書	17 教出																																																								
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等を培う、くむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・大項目別ページ数(割合:%)</p> <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>28 (14)</td> <td>50 (24)</td> <td>84 (40)</td> <td>46 (22)</td> <td>208 (100)</td> </tr> </table> <p>・巻頭及び巻末のページ数は46。</p> <p>・大項目ごとの導入ページ数は概ね3。</p> <p>・大項目ごとに小学校で学習をした基本用語が示され、言語活動を行うための教材が設定されている。</p> <p>・大項目ごとで何を学習するのが8行程度で示されている。</p> <p>・基本的な用語として本文中ゴシック体で示されている語句の数は393。</p> <p>・大項目ごとのまとめ課題の数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>基礎的・基本的な事項</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>思考・判断・表現に係る事項</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> </table>	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の課題	合計	28 (14)	50 (24)	84 (40)	46 (22)	208 (100)		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	基礎的・基本的な事項	2	2	4	2	10	思考・判断・表現に係る事項	1	1	2	1	5	<p>・大項目別ページ数(割合:%)</p> <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>22 (11)</td> <td>60 (29)</td> <td>84 (41)</td> <td>38 (19)</td> <td>204 (100)</td> </tr> </table> <p>・巻頭及び巻末のページ数は52。</p> <p>・大項目ごとの導入ページ数は概ね3。</p> <p>・大項目ごとに内容にかかわる基本用語の説明をし、写真やコラム、グラフ等が示されている。</p> <p>・大項目ごとで何を学習するのが6行程度で示されている。</p> <p>・基本的な用語として本文中ゴシック体で示されている語句の数は357。</p> <p>・大項目ごとのまとめ課題の数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>基礎的・基本的な事項</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>思考・判断・表現に係る事項</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>18</td> </tr> </table>	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の課題	合計	22 (11)	60 (29)	84 (41)	38 (19)	204 (100)		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	基礎的・基本的な事項	0	0	2	1	3	思考・判断・表現に係る事項	3	7	6	2	18
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の課題	合計																																																						
		28 (14)	50 (24)	84 (40)	46 (22)	208 (100)																																																						
			現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																					
基礎的・基本的な事項	2	2	4	2	10																																																							
思考・判断・表現に係る事項	1	1	2	1	5																																																							
私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の課題	合計																																																								
22 (11)	60 (29)	84 (41)	38 (19)	204 (100)																																																								
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																							
基礎的・基本的な事項	0	0	2	1	3																																																							
思考・判断・表現に係る事項	3	7	6	2	18																																																							
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・本文1ページの最大行数は19、1行文字数は29。</p> <p>・見開きごとに、学習を促す写真資料や疑問、学習課題が示されている。</p> <p>・資料を読み取るヒント箇所は119。</p> <p>・索引の語句の数は560。</p>	<p>・本文1ページの最大行数は21、1行文字数は29。</p> <p>・見開きごとに、学習を促す写真資料や疑問、学習課題が示されている。</p> <p>・資料を読み取るヒント箇所は106。</p> <p>・索引の語句の数は625。</p>																																																									
挿絵・図表・紙質・造本	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<p>・項目別資料の数</p> <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞</th> <th>コラム</th> <th>グラフ</th> <th>図解</th> </tr> <tr> <td>482</td> <td>32</td> <td>59</td> <td>97</td> <td>156</td> </tr> </table> <p>・AB判、再生紙・植物油インキ使用。</p> <p>・配色等に関する配慮の記載あり。</p>	写真	新聞	コラム	グラフ	図解	482	32	59	97	156	<p>・項目別資料の数</p> <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞</th> <th>コラム</th> <th>グラフ</th> <th>図解</th> </tr> <tr> <td>421</td> <td>8</td> <td>30</td> <td>115</td> <td>124</td> </tr> </table> <p>・AB判、再生紙・植物油インキ使用。</p> <p>・配色等に関する配慮の記載あり。</p>	写真	新聞	コラム	グラフ	図解	421	8	30	115	124																																					
写真	新聞	コラム	グラフ	図解																																																								
482	32	59	97	156																																																								
写真	新聞	コラム	グラフ	図解																																																								
421	8	30	115	124																																																								
基本的な人権の尊重 国民主権に 政治・経済・社会 生活に関する学習	<p>①個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めさせることについてどのように示されているか。</p> <p>②国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培うことについて、どのように示されているか。</p>	<p>・大項目ごとの、自由・権利・責任・義務の内容が示されている数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>自由・権利</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>60</td> <td>1</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>責任・義務</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>15</td> </tr> </table> <p>・大項目ごとの、法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている箇所数</p> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>36</td> <td>51</td> <td>2</td> <td>92</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	1	8	60	1	70	責任・義務	2	8	5	0	15	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	3	36	51	2	92	<p>・大項目ごとの、自由・権利・責任・義務の内容が示されている数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>自由・権利</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>62</td> <td>3</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>責任・義務</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>21</td> </tr> </table> <p>・大項目ごとの、法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている箇所数</p> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>47</td> <td>104</td> <td>2</td> <td>155</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	1	8	62	3	74	責任・義務	4	6	11	0	21	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	2	47	104	2	155	
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																							
自由・権利	1	8	60	1	70																																																							
責任・義務	2	8	5	0	15																																																							
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																								
3	36	51	2	92																																																								
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																							
自由・権利	1	8	62	3	74																																																							
責任・義務	4	6	11	0	21																																																							
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																								
2	47	104	2	155																																																								
政治・経済・社会 生活に関する学習	<p>①民主主義の意義、国民生活の向上と経済活動とのかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかわりを中心に理解を深めさせることについてどのように示されているか。</p>	<p>・大項目ごとの、個人と社会のかかわりに関連した資料(写真・新聞・コラム・グラフ・図解)の数</p> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>23</td> <td>32</td> <td>57</td> <td>8</td> <td>120</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	23	32	57	8	120	<p>・大項目ごとの、個人と社会のかかわりに関連した資料(写真・新聞・コラム・グラフ・図解)の数</p> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>17</td> <td>26</td> <td>43</td> <td>13</td> <td>99</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	17	26	43	13	99																																					
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																								
23	32	57	8	120																																																								
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																								
17	26	43	13	99																																																								
国際理解に 関する学習	<p>①各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させることについてどのように示されているか。</p>	<p>・「日本のエネルギー政策のこれから」「パレスチナ問題と中東和平」が特設されている。</p> <p>・北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料(写真・地図・読み物・新聞記事)の数</p> <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図</th> <th>読み物</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図	読み物	新聞記事	3	8	1	0	1	<p>・「日本の外交のいま」が特設されている。</p> <p>・北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料(写真・地図・読み物・新聞記事)の数</p> <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図</th> <th>読み物</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>1.5</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図	読み物	新聞記事	1.5	4	2	0	0																																					
ページ	写真	地図	読み物	新聞記事																																																								
3	8	1	0	1																																																								
ページ	写真	地図	読み物	新聞記事																																																								
1.5	4	2	0	0																																																								
社会事象に 関する学習	<p>①現代の社会事象に対する関心を高めさせることについてどのように示されているか。</p>	<p>・大項目ごとの、現代社会における具体的な事実(事件)が取り上げられている資料(写真・新聞・コラム)の数</p> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>22</td> <td>37</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	7	4	4	22	37	<p>・大項目ごとの、現代社会における具体的な事実(事件)が取り上げられている資料(写真・新聞・コラム)の数</p> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>3</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>34</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	5	3	13	13	34																																					
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																								
7	4	4	22	37																																																								
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																																								
5	3	13	13	34																																																								

# 【 社会 (公民的分野) 】

観点		発行者	35 清水	46 帝国																																				
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目別ページ数(割合:%)</li> <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>18 (10)</td> <td>62 (34)</td> <td>74 (41)</td> <td>28 (15)</td> <td>182 (100)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭及び巻末のページ数は48。</li> </ul> </ul>	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の課題	合計	18 (10)	62 (34)	74 (41)	28 (15)	182 (100)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目別ページ数(割合:%)</li> <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>28 (14)</td> <td>60 (29)</td> <td>74 (36)</td> <td>42 (21)</td> <td>204 (100)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭及び巻末のページ数は38。</li> </ul> </ul>	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の課題	合計	28 (14)	60 (29)	74 (36)	42 (21)	204 (100)																
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の課題	合計																																		
		18 (10)	62 (34)	74 (41)	28 (15)	182 (100)																																		
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の課題	合計																																		
28 (14)	60 (29)	74 (36)	42 (21)	204 (100)																																				
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの導入ページ数は概ね1。</li> <li>大項目ごとで学習内容に関係するノーベル賞受賞者等の人物を取り上げ、その人物の活動や著作の一部などが示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの導入ページ数は概ね3。</li> <li>大項目ごとでイラストや資料からの読み取り作業を行うページが設定されている。</li> <li>大項目ごとで何を学習するのかが12行程程度で示されている。</li> </ul>																																						
③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等を培うこと、及び学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な用語として本文中ゴシック体で示されている語句の数は337。</li> <li>大項目ごとのまとめ課題の数</li> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>基礎的・基本的な事項</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>思考・判断・表現に係る事項</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> </table> </ul>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	基礎的・基本的な事項	0	3	3	3	9	思考・判断・表現に係る事項	6	0	0	0	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な用語として本文中ゴシック体で示されている語句の数は359。</li> <li>大項目ごとのまとめ課題の数</li> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>基礎的・基本的な事項</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>思考・判断・表現に係る事項</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </table> </ul>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	基礎的・基本的な事項	1	1	1	1	4	思考・判断・表現に係る事項	1	1	1	1	4		
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																			
基礎的・基本的な事項	0	3	3	3	9																																			
思考・判断・表現に係る事項	6	0	0	0	6																																			
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																			
基礎的・基本的な事項	1	1	1	1	4																																			
思考・判断・表現に係る事項	1	1	1	1	4																																			
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文1ページの最大行数は25、1行文字数は25。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文1ページの最大行数は19、1行文字数は30。</li> </ul>																																					
		②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きごとに、学習を促す写真資料や疑問、学習課題が示されている。</li> <li>資料を読み取るヒント箇所は27。</li> <li>索引の語句の数は494。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きごとに、学習を促す写真資料や疑問、学習課題が示されている。</li> <li>資料を読み取るヒント箇所は72。</li> <li>索引の語句の数は814。</li> </ul>																																				
紙質・造本	挿絵・図表・紙質・造本	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目別資料の数</li> <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞</th> <th>コラム</th> <th>グラフ</th> <th>図解</th> </tr> <tr> <td>256</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>59</td> <td>68</td> </tr> </table> </ul>	写真	新聞	コラム	グラフ	図解	256	5	13	59	68	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目別資料の数</li> <table border="1"> <tr> <th>写真</th> <th>新聞</th> <th>コラム</th> <th>グラフ</th> <th>図解</th> </tr> <tr> <td>322</td> <td>14</td> <td>36</td> <td>86</td> <td>120</td> </tr> </table> </ul>	写真	新聞	コラム	グラフ	図解	322	14	36	86	120																
		写真	新聞	コラム	グラフ	図解																																		
256	5	13	59	68																																				
写真	新聞	コラム	グラフ	図解																																				
322	14	36	86	120																																				
②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>B5判、再生紙使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判、再生紙・ライソインキ使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>																																						
教科独自	基本的な人権の尊重、国民主権に関する学習	①個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めさせることについてどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、自由・権利、責任・義務の内容が示されている数</li> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>自由・権利</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>55</td> <td>1</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>責任・義務</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>16</td> </tr> </table> </ul>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	1	8	55	1	65	責任・義務	1	6	8	1	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、自由・権利、責任・義務の内容が示されている数</li> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>自由・権利</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>53</td> <td>4</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>責任・義務</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>16</td> </tr> </table> </ul>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	1	6	53	4	64	責任・義務	2	3	11	0	16
			現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																	
	自由・権利	1	8	55	1	65																																		
	責任・義務	1	6	8	1	16																																		
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																			
自由・権利	1	6	53	4	64																																			
責任・義務	2	3	11	0	16																																			
②国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培うことについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている箇所数</li> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>0</td> <td>29</td> <td>54</td> <td>1</td> <td>84</td> </tr> </table> </ul>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	0	29	54	1	84	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている箇所数</li> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>0</td> <td>25</td> <td>103</td> <td>5</td> <td>133</td> </tr> </table> </ul>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	0	25	103	5	133																		
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
0	29	54	1	84																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
0	25	103	5	133																																				
政治・経済・社会生活に関する学習	①民主主義の意義、国民生活の向上と経済活動のかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めさせることについてどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、個人と社会のかかわりに関連した資料(写真・新聞・コラム・グラフ・図解)の数</li> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>7</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>9</td> <td>61</td> </tr> </table> </ul>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	7	21	24	9	61	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、個人と社会のかかわりに関連した資料(写真・新聞・コラム・グラフ・図解)の数</li> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>13</td> <td>33</td> <td>36</td> <td>11</td> <td>93</td> </tr> </table> </ul>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	13	33	36	11	93																	
		現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																		
7	21	24	9	61																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
13	33	36	11	93																																				
②「核兵器廃絶に向けて」が特設されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地球環境問題の解決に向けて」が特設されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「核兵器廃絶に向けて」が特設されている。</li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料(写真・地図・読み物・新聞記事)の数</li> <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図</th> <th>読み物</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> </ul>	ページ	写真	地図	読み物	新聞記事	0.5	0	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料(写真・地図・読み物・新聞記事)の数</li> <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図</th> <th>読み物</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> </ul>	ページ	写真	地図	読み物	新聞記事	2	3	2	0	0																	
ページ	写真	地図	読み物	新聞記事																																				
0.5	0	1	0	0																																				
ページ	写真	地図	読み物	新聞記事																																				
2	3	2	0	0																																				
国際理解に関する学習	①各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させることについてどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、現代社会における具体的な事実(事件)が取り上げられている資料(写真・新聞・コラム)の数</li> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> </table> </ul>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	5	2	4	4	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、現代社会における具体的な事実(事件)が取り上げられている資料(写真・新聞・コラム)の数</li> <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>36</td> </tr> </table> </ul>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	4	4	14	14	36																	
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
5	2	4	4	15																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
4	4	14	14	36																																				
社会事象に関する学習	①現代の社会事象に対する関心を高めさせることについてどのように示されているか。																																							

# 【 社会 (公民的分野) 】

観点	発行者	116 日文	225 自由社
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>
	文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>
	紙質・造本	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>
教科独自	基本的な人権の尊重 国民主権に関する学習	<p>①個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めさせることについてどのように示されているか。</p> <p>②国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培うことについて、どのように示されているか。</p>	<p>①個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めさせることについてどのように示されているか。</p> <p>②国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培うことについて、どのように示されているか。</p>
	政治・経済・社会生活に関する学習	<p>①民主主義の意義、国民生活の向上と経済活動とのかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかわりを中心に理解を深めさせることについてどのように示されているか。</p>	<p>①民主主義の意義、国民生活の向上と経済活動とのかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかわりを中心に理解を深めさせることについてどのように示されているか。</p>
	国際理解に関する学習	<p>①各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことが重要であることを認識させることについてどのように示されているか。</p>	<p>①各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことが重要であることを認識させることについてどのように示されているか。</p>
社会事象に関する学習	<p>①現代の社会事象に対する関心を高めさせることについてどのように示されているか。</p>	<p>①現代の社会事象に対する関心を高めさせることについてどのように示されているか。</p>	

# 【 社会 (公民的分野) 】

観点		発行者	227 育鵬社																				
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目別ページ数(割合:%)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の課題</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34 (16)</td> <td>50 (24)</td> <td>78 (38)</td> <td>46 (22)</td> <td>208 (100)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭及び巻末のページ数は47。</li> </ul>					私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の課題	合計	34 (16)	50 (24)	78 (38)	46 (22)	208 (100)						
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の課題	合計																	
		34 (16)	50 (24)	78 (38)	46 (22)	208 (100)																	
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの導入ページ数は概ね3。</li> <li>大項目ごとで資料の読み取りや言語活動を行うための教材が設定されている。</li> <li>大項目ごとの内容を学習する意義が20行程度で、何を学習するのかが10行程度で示されている。</li> </ul>																						
③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な用語として本文中ゴシック体で示されている語句の数は347。</li> <li>大項目ごとのまとめ課題の数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎的・基本的な事項</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>思考・判断・表現に係る事項</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>						現代社会	経済	政治	国際社会	合計	基礎的・基本的な事項	2	3	5	2	12	思考・判断・表現に係る事項	2	1	4	2	9
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																		
基礎的・基本的な事項	2	3	5	2	12																		
思考・判断・表現に係る事項	2	1	4	2	9																		
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文1ページの最大行数は20、1行文字数は30。</li> </ul>																					
	②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きごとに、学習を促す写真資料や疑問、学習課題が示されている。</li> <li>資料を読み取るヒント箇所は135。</li> <li>索引の語句の数は546。</li> </ul>																					
紙質・造本	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目別資料の数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>写真</th> <th>新聞</th> <th>コラム</th> <th>グラフ</th> <th>図解</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>443</td> <td>42</td> <td>29</td> <td>70</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>AB判、本文用紙の一部に再生紙を使用し、植物油インキ使用。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>					写真	新聞	コラム	グラフ	図解	443	42	29	70	83							
	写真	新聞	コラム	グラフ	図解																		
443	42	29	70	83																			
②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、自由・権利、責任・義務の内容が示されている数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自由・権利</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>55</td> <td>3</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>責任・義務</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>						現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	1	8	55	3	67	責任・義務	1	6	9	0	16
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																		
自由・権利	1	8	55	3	67																		
責任・義務	1	6	9	0	16																		
教科独自	基本的な人権の尊重 国民主権に 関する学習	①個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めさせることについてどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている箇所数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>37</td> <td>105</td> <td>4</td> <td>148</td> </tr> </tbody> </table>					現代社会	経済	政治	国際社会	合計	2	37	105	4	148						
		現代社会	経済	政治	国際社会	合計																	
	2	37	105	4	148																		
②国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培うことについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、個人と社会のかかわりに関連した資料(写真・新聞・コラム・グラフ・図解)の数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17</td> <td>22</td> <td>37</td> <td>12</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table>					現代社会	経済	政治	国際社会	合計	17	22	37	12	88								
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																			
17	22	37	12	88																			
政治・経済・社会生活に関する学習	①民主主義の意義、国民生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めさせることについてどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「領土を取り戻す、守るということ」「北朝鮮による日本人拉致事件」「東日本大震災―国民の絆、世界の絆」が特設されている。</li> <li>北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料(写真・地図・読み物・新聞記事)の数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図</th> <th>読み物</th> <th>新聞記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.5</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					ページ	写真	地図	読み物	新聞記事	4.5	7	1	5	1							
ページ	写真	地図	読み物	新聞記事																			
4.5	7	1	5	1																			
国際理解に 関する学習	①各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させることについてどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、現代社会における具体的な事実(事件)が取り上げられている資料(写真・新聞・コラム)の数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>10</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>					現代社会	経済	政治	国際社会	合計	2	5	18	10	35							
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																			
2	5	18	10	35																			
社会事象に 関する学習	①現代の社会事象に対する関心を高めさせることについてどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大項目ごとの、現代社会における具体的な事実(事件)が取り上げられている資料(写真・新聞・コラム)の数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>10</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>					現代社会	経済	政治	国際社会	合計	2	5	18	10	35							
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																			
2	5	18	10	35																			



1 学習指導要領に示された目標

【数学科の目標】

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

【各学年の目標】

領域	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
A 数と式	数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることや方程式の必要性と意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現して処理したり、一元一次方程式を用いたりする能力を培う。	文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。	数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を伸ばすとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。
B 図形	平面図形や空間図形についての観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。	基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性と意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。	図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。
C 関数	具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。	具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。	具体的な事象を調べることを通して、関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を伸ばす。
D 資料の活用	目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。	不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。	母集団から標本を取り出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取る能力を培う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感させる活動	① 日常生活等の問題場面を取り上げる等して、興味関心をもって学習することができるか。 ② 他教科等との関連があるか。
(2) 反復による教育課程の編成	① 小学校算数との連携に関する配慮がなされているか。 ② 生徒の学習を確実なものにするため、個々のつまづきに対する配慮がなされているか。
(3) 数学的に説明し伝え合わせる活動	① 考察したことや、結果を表現する場面を設けているか。 ② 数学のノートやレポートの書き方についての説明があるか。



# 【 数 学 】

観点		発行者	2 東 書	4 大日本																																																
教 科 共 通	単元・題材の構成及び内容の取り扱いについて	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数は、781。章の数は、21。節の数は、53。</li> <li>各領域別のページの割合（巻末の練習問題等は含まず）</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>29%</td><td>27%</td><td>13%</td><td>7%</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	29%	27%	13%	7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数は、861。章の数は、21。節の数は、64。</li> <li>各領域別のページの割合（巻末の練習問題等は含まず）</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>27%</td><td>28%</td><td>15%</td><td>7%</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	27%	28%	15%	7%																																
		A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
		29%	27%	13%	7%																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
27%	28%	15%	7%																																																	
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決をうながす見直しをもつ場面数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>86</td><td>61</td><td>35</td><td>20</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年の図形領域の配列は、「円」「三平方の定理」の順である。</li> </ul>	A数と式	B図形	C関数	D資料	86	61	35	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決をうながす見直しをもつ場面数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>142</td><td>124</td><td>53</td><td>27</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年の図形領域の配列は、「円」「三平方の定理」の順である。</li> </ul>	A数と式	B図形	C関数	D資料	142	124	53	27																																		
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
86	61	35	20																																																	
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
142	124	53	27																																																	
③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末、巻末問題における、知識・技能の習得のページ数は、45。</li> <li>各章の章末問題のページ数は概ね、2。難易度別にAとBに分けられている。</li> <li>知識・技能を活用するページ数は、63。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末、巻末問題における、知識・技能の習得のページ数は、70。</li> <li>各章の章末問題のページ数は概ね、3。難易度別に分けられている。</li> <li>知識・技能を活用するページ数は、53。</li> </ul>																																																		
挿 絵 ・ 図 表 ・ 紙 質 ・ 造 本	文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に「ゴシック体で示された用語」の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>78</td><td>63</td><td>21</td><td>26</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	78	63	21	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に「ゴシック体で示された用語」の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>87</td><td>97</td><td>25</td><td>24</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	87	97	25	24																																
		A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
		78	63	21	26																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
87	97	25	24																																																	
②資料・手引書等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のマークの意味、授業の受け方や家庭学習等が説明されている「学習の手引き」のページ数は、9。</li> <li>巻末の索引の項目数は、180。</li> <li>公式や定理、用語等をまとめているページ数は、27。重要な点は生徒に記述させるように、穴埋め形式で設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のマークの意味、授業の受け方や家庭学習等が説明されている「学習の手引き」のページ数は、12。</li> <li>巻末の索引の項目数は、376。</li> <li>公式や定理、用語等をまとめているページ数は、18。3年は巻末に穴埋め形式でまとめるページが設定されている。</li> </ul>																																																		
挿 絵 ・ 図 表 ・ 紙 質 ・ 造 本	挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や挿絵の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>92</td><td>106</td><td>61</td><td>57</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>※1年に別府市のグローバルタワーの写真</li> <li>図の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>148</td><td>767</td><td>44</td><td>8</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>表やグラフの数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>29</td><td>9</td><td>183</td><td>47</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	92	106	61	57	A数と式	B図形	C関数	D資料	148	767	44	8	A数と式	B図形	C関数	D資料	29	9	183	47	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や挿絵の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>106</td><td>121</td><td>44</td><td>67</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>※2年に由布市の由布院駅の写真</li> <li>図の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>129</td><td>890</td><td>57</td><td>9</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>表やグラフの数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>26</td><td>11</td><td>240</td><td>63</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	106	121	44	67	A数と式	B図形	C関数	D資料	129	890	57	9	A数と式	B図形	C関数	D資料	26	11	240	63
		A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
		92	106	61	57																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
148	767	44	8																																																	
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
29	9	183	47																																																	
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
106	121	44	67																																																	
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
129	890	57	9																																																	
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
26	11	240	63																																																	
②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>色覚等の個人差を問わず、より多くの人に必要なが情報は伝わるようユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>小口面にカラーインデックスが設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色覚等の個人差を問わず、より多くの人に必要なが情報は伝わるようユニバーサルデザインに配慮されている。</li> </ul>																																																		
教 科 独 自	よ数学を的実活動感のせ楽るし活さ動や数学の	①日常生活等の問題場面を取り上げる等して、興味関心をもって学習することができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>章の扉の題材</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><td>ペットボトルのキャップ数、トラックのスタート位置の差、ドミノ倒し 等</td></tr> <tr><th>B図形</th><td>しきつめの模様づくり、ナスカの地上絵、方眼に斜めにかかれた正方形の面積 等</td></tr> <tr><th>C関数</th><td>待ち時間の予想、やかんとポットの沸騰時間、ジェットコースターの動き</td></tr> <tr><th>D資料</th><td>バスの路線図、ホエールウォッチングの会社選び、視聴率の調べ方</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>操作活動を行える巻末の切り取り教具</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>正多面体（5種類）</td></tr> <tr><th>2年</th><td>図形の性質発見器</td></tr> <tr><th>3年</th><td>因数分解パズル、カメラの模型、三平方の定理パズル</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>和算や数学史、数学パズルなど、数学に関する読み物教材を扱ったページ数は、86。</li> </ul>	A数と式	ペットボトルのキャップ数、トラックのスタート位置の差、ドミノ倒し 等	B図形	しきつめの模様づくり、ナスカの地上絵、方眼に斜めにかかれた正方形の面積 等	C関数	待ち時間の予想、やかんとポットの沸騰時間、ジェットコースターの動き	D資料	バスの路線図、ホエールウォッチングの会社選び、視聴率の調べ方	1年	正多面体（5種類）	2年	図形の性質発見器	3年	因数分解パズル、カメラの模型、三平方の定理パズル	<ul style="list-style-type: none"> <li>章の扉の題材</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><td>世界各地の気温、人工衛星の飛行と赤道の距離、宇宙ヨットの面積 等</td></tr> <tr><th>B図形</th><td>蜂の巣や雪の結晶の形、建物の屋根や壁の形、チェロの大小 等</td></tr> <tr><th>C関数</th><td>風力や太陽光発電、列車の運行（由布院駅）、通関橋の放水の軌跡</td></tr> <tr><th>D資料</th><td>ハンドボール投げの記録整理と分析、ドラフト会議、ニホンカモシカの生息調査</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>操作活動を行える巻末の切り取り教具</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>正多面体（2種類）</td></tr> <tr><th>2年</th><td>角と平行線、いろいろな四角形</td></tr> <tr><th>3年</th><td>因数分解パズル、三平方の定理パズル</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>和算や数学史、数学パズルなど、数学に関する読み物教材を扱ったページ数は、75。</li> </ul>	A数と式	世界各地の気温、人工衛星の飛行と赤道の距離、宇宙ヨットの面積 等	B図形	蜂の巣や雪の結晶の形、建物の屋根や壁の形、チェロの大小 等	C関数	風力や太陽光発電、列車の運行（由布院駅）、通関橋の放水の軌跡	D資料	ハンドボール投げの記録整理と分析、ドラフト会議、ニホンカモシカの生息調査	1年	正多面体（2種類）	2年	角と平行線、いろいろな四角形	3年	因数分解パズル、三平方の定理パズル																				
		A数と式	ペットボトルのキャップ数、トラックのスタート位置の差、ドミノ倒し 等																																																	
		B図形	しきつめの模様づくり、ナスカの地上絵、方眼に斜めにかかれた正方形の面積 等																																																	
C関数	待ち時間の予想、やかんとポットの沸騰時間、ジェットコースターの動き																																																			
D資料	バスの路線図、ホエールウォッチングの会社選び、視聴率の調べ方																																																			
1年	正多面体（5種類）																																																			
2年	図形の性質発見器																																																			
3年	因数分解パズル、カメラの模型、三平方の定理パズル																																																			
A数と式	世界各地の気温、人工衛星の飛行と赤道の距離、宇宙ヨットの面積 等																																																			
B図形	蜂の巣や雪の結晶の形、建物の屋根や壁の形、チェロの大小 等																																																			
C関数	風力や太陽光発電、列車の運行（由布院駅）、通関橋の放水の軌跡																																																			
D資料	ハンドボール投げの記録整理と分析、ドラフト会議、ニホンカモシカの生息調査																																																			
1年	正多面体（2種類）																																																			
2年	角と平行線、いろいろな四角形																																																			
3年	因数分解パズル、三平方の定理パズル																																																			
②他教科等との関連があるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科等との関連した内容</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>保健</th><td>自動車の死角</td></tr> <tr><th>体育</th><td>走り高跳びの目標記録</td></tr> <tr><th>理科</th><td>撰氏と華氏</td></tr> <tr><th>家庭</th><td>調理器具の中の数学</td></tr> </table>	保健	自動車の死角	体育	走り高跳びの目標記録	理科	撰氏と華氏	家庭	調理器具の中の数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科等との関連した内容</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>技術</th><td>数学も大工の道具の一つ</td></tr> <tr><th>理科</th><td>緊急地震速報</td></tr> <tr><th>国語</th><td>数学で五・七・五</td></tr> <tr><th>音楽</th><td>ビタグラス音階から平均律へ</td></tr> </table>	技術	数学も大工の道具の一つ	理科	緊急地震速報	国語	数学で五・七・五	音楽	ビタグラス音階から平均律へ																																		
保健	自動車の死角																																																			
体育	走り高跳びの目標記録																																																			
理科	撰氏と華氏																																																			
家庭	調理器具の中の数学																																																			
技術	数学も大工の道具の一つ																																																			
理科	緊急地震速報																																																			
国語	数学で五・七・五																																																			
音楽	ビタグラス音階から平均律へ																																																			
育 反 課 復 程 に よ る 編 成 教 育	①小学校算数との連携に関する配慮がなされているか。	①1年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は、8。そのうち復習問題のページ数は、3。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は、8。そのうち復習問題のページ数は、3。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は、3。そのうち復習問題のページ数は、3。</li> </ul>																																																
		②生徒の学習を確実なものにするため、個々のつまずきに対する配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末の基本問題で、右横にどこで学習したかが分かるような関連ページ・問題番号が記載されている。</li> <li>各学年に3～5個、実際のまちがひ例を示し、巻末にその正解例と考え方が掲載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末の練習問題で、問題ごとに関連ページが記載されている。</li> <li>既習事項を「思いだそう」でまとめており、解決のヒントがキャラクターで示されている。</li> </ul>																																																
		③考察したことや、結果を表現する場面を設けているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを表現する等の問題数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>44</td><td>35</td><td>14</td><td>15</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	44	35	14	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを表現する等の問題数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>35</td><td>39</td><td>28</td><td>22</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	35	39	28	22																																
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
44	35	14	15																																																	
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
35	39	28	22																																																	
え 数 合 学 的 せ り 活 動 伝 達	②数学のノートやレポートの書き方についての説明があるか。	①ノートやレポートの書き方について説明しているページ数	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>ページ数</th></tr> <tr><td>ノート</td><td>9</td></tr> <tr><td>レポート</td><td>3</td></tr> </table>	項目	ページ数	ノート	9	レポート	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートやレポートの書き方について説明しているページ数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>ページ数</th></tr> <tr><td>ノート</td><td>3</td></tr> <tr><td>レポート</td><td>6</td></tr> </table>	項目	ページ数	ノート	3	レポート	6																																				
		項目	ページ数																																																	
		ノート	9																																																	
レポート	3																																																			
項目	ページ数																																																			
ノート	3																																																			
レポート	6																																																			

# 【 数 学 】

観点		発行者	11 学図	17 教出																																																
教 科 共 通	単元・題材の構成及び内容の取り扱いについて	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数、は829。章の数は、21。節の数は、49。</li> <li>各領域別のページの割合（巻末の練習問題等は含まず）</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>31%</td><td>27%</td><td>13%</td><td>8%</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	31%	27%	13%	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数は、849。章の数は、21。節の数は、56。</li> <li>各領域別のページの割合（巻末の練習問題等は含まず）</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>31%</td><td>29%</td><td>12%</td><td>7%</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	31%	29%	12%	7%																																
		A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
		31%	27%	13%	8%																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
31%	29%	12%	7%																																																	
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決をうながす見直しをもつ場面数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>41</td><td>40</td><td>19</td><td>13</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	41	40	19	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決をうながす見直しをもつ場面数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>77</td><td>76</td><td>37</td><td>20</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	77	76	37	20																																		
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
41	40	19	13																																																	
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
77	76	37	20																																																	
③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末、巻末問題における、知識・技能の習得のページ数は、44。</li> <li>各章の章末問題のページ数は概ね、3。基本、応用、活用と分けられている。</li> <li>知識・技能を活用するページ数は、68。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末、巻末問題における、知識・技能の習得のページ数は、59。</li> <li>各章の章末問題のページ数は概ね、2。問題ごとに評価の観点が表示されている。</li> <li>知識・技能を活用するページ数は、93。</li> </ul>																																																		
挿 絵 ・ 図 表 ・ 紙 質 ・ 造 本	文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に「ゴシック体で示された用語」の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>78</td><td>68</td><td>19</td><td>35</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	78	68	19	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に「ゴシック体で示された用語」の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>89</td><td>123</td><td>25</td><td>25</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	89	123	25	25																																
		A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
		78	68	19	35																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
89	123	25	25																																																	
②資料・手引書等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のマークの意味、授業の受け方や家庭学習等が説明されている「学習の手引き」のページ数は、6。</li> <li>巻末の索引の項目数は、199。</li> <li>公式や定理、用語等をまとめているページ数は、22。重要な点は生徒に記述させるように、穴埋め形式で設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のマークの意味、授業の受け方や家庭学習等が説明されている「学習の手引き」のページ数は、12。</li> <li>巻末の索引の項目数は、213。</li> <li>公式や定理、用語等をまとめているページ数は、46。</li> </ul>																																																		
挿 絵 ・ 図 表 ・ 紙 質 ・ 造 本	挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や挿絵の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>108</td><td>107</td><td>69</td><td>52</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>※3年に竹田市の姪だるまの写真。</li> <li>図の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>145</td><td>653</td><td>30</td><td>8</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>表やグラフ</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>23</td><td>6</td><td>154</td><td>40</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	108	107	69	52	A数と式	B図形	C関数	D資料	145	653	30	8	A数と式	B図形	C関数	D資料	23	6	154	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や挿絵の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>93</td><td>65</td><td>50</td><td>50</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>※3年に由布市の由布岳の写真。</li> <li>図の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>125</td><td>766</td><td>23</td><td>11</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>表やグラフ</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>21</td><td>3</td><td>164</td><td>47</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	93	65	50	50	A数と式	B図形	C関数	D資料	125	766	23	11	A数と式	B図形	C関数	D資料	21	3	164	47
		A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
		108	107	69	52																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
145	653	30	8																																																	
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
23	6	154	40																																																	
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
93	65	50	50																																																	
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
125	766	23	11																																																	
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
21	3	164	47																																																	
②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>色覚等の個人差を問わず、より多くの人に必要情報伝わるようユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>小口面にカラーインデックスを採用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色覚等の個人差を問わず、より多くの人に必要情報伝わるようユニバーサルデザインに配慮されている。</li> </ul>																																																		
教 科 独 自	よ数 学 的 実 活 感 動 の せ 楽 る し 活 さ 動 や 数 学 の	①日常生活等の問題場面を取り上げる等して、興味関心をもって学習することができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>章の扉の題材</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><td>海拔や気温・レートの表示、天秤とアメと一円玉、遊園地の乗り物券 等</td></tr> <tr><th>B図形</th><td>建物やいろいろなものの形、いろいろな文様、ピラミッドの高さ 等</td></tr> <tr><th>C関数</th><td>プールに水を入れる、鍾乳洞の伸び、斜面を転がるボール</td></tr> <tr><th>D資料</th><td>ルーラーキャッチ、さいころの当りはずれ、水質・世論・手荷物調査等</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>操作活動を行える巻末の切り取り教具</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>カードゲームすごろく</td></tr> <tr><th>2年</th><td>三角形のしきつめ、四角形の変身、さいころ</td></tr> <tr><th>3年</th><td>因数分解パズル、三平方の定理パズル</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>和算や数学史、数学パズルなど、数学に関する読み物教材を扱ったページ数は、90。</li> </ul>	A数と式	海拔や気温・レートの表示、天秤とアメと一円玉、遊園地の乗り物券 等	B図形	建物やいろいろなものの形、いろいろな文様、ピラミッドの高さ 等	C関数	プールに水を入れる、鍾乳洞の伸び、斜面を転がるボール	D資料	ルーラーキャッチ、さいころの当りはずれ、水質・世論・手荷物調査等	1年	カードゲームすごろく	2年	三角形のしきつめ、四角形の変身、さいころ	3年	因数分解パズル、三平方の定理パズル	<ul style="list-style-type: none"> <li>章の扉の題材</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><td>落雷、2Lと500mLのペットボトルの組み合わせ、B5とA5用紙の比較 等</td></tr> <tr><th>B図形</th><td>身の回りの建物の形、舗道や床のタイルのしきつめ方、シュートの入れやすさ 等</td></tr> <tr><th>C関数</th><td>ペットボトルキャップとポリオワクチン、ダイヤグラム、ピサの斜塔</td></tr> <tr><th>D資料</th><td>人口統計、コイントス、選挙の出口調査</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>操作活動を行える巻末の切り取り教具</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>ランドルト環、正多面体（2種類）、角錐</td></tr> <tr><th>2年</th><td>三角形のしきつめ</td></tr> <tr><th>3年</th><td>因数分解パズル、三平方の定理パズル</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>和算や数学史、数学パズルなど、数学に関する読み物教材を扱ったページ数は、46。</li> </ul>	A数と式	落雷、2Lと500mLのペットボトルの組み合わせ、B5とA5用紙の比較 等	B図形	身の回りの建物の形、舗道や床のタイルのしきつめ方、シュートの入れやすさ 等	C関数	ペットボトルキャップとポリオワクチン、ダイヤグラム、ピサの斜塔	D資料	人口統計、コイントス、選挙の出口調査	1年	ランドルト環、正多面体（2種類）、角錐	2年	三角形のしきつめ	3年	因数分解パズル、三平方の定理パズル																				
		A数と式	海拔や気温・レートの表示、天秤とアメと一円玉、遊園地の乗り物券 等																																																	
		B図形	建物やいろいろなものの形、いろいろな文様、ピラミッドの高さ 等																																																	
C関数	プールに水を入れる、鍾乳洞の伸び、斜面を転がるボール																																																			
D資料	ルーラーキャッチ、さいころの当りはずれ、水質・世論・手荷物調査等																																																			
1年	カードゲームすごろく																																																			
2年	三角形のしきつめ、四角形の変身、さいころ																																																			
3年	因数分解パズル、三平方の定理パズル																																																			
A数と式	落雷、2Lと500mLのペットボトルの組み合わせ、B5とA5用紙の比較 等																																																			
B図形	身の回りの建物の形、舗道や床のタイルのしきつめ方、シュートの入れやすさ 等																																																			
C関数	ペットボトルキャップとポリオワクチン、ダイヤグラム、ピサの斜塔																																																			
D資料	人口統計、コイントス、選挙の出口調査																																																			
1年	ランドルト環、正多面体（2種類）、角錐																																																			
2年	三角形のしきつめ																																																			
3年	因数分解パズル、三平方の定理パズル																																																			
②他教科等との関連があるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科等との関連した内容</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>社会</th><td>時差</td></tr> <tr><th>理科</th><td>フード・マイレージ</td></tr> <tr><th>国語</th><td>回文</td></tr> <tr><th>体育</th><td>総当たり戦の試合数</td></tr> </table>	社会	時差	理科	フード・マイレージ	国語	回文	体育	総当たり戦の試合数	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科等との関連した内容</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>英語</th><td>索引の用語に英訳</td></tr> <tr><th>理科</th><td>食塩水の濃度</td></tr> <tr><th>技術</th><td>おおがね</td></tr> <tr><th>美術</th><td>黄金比（葛飾北斎）</td></tr> </table>	英語	索引の用語に英訳	理科	食塩水の濃度	技術	おおがね	美術	黄金比（葛飾北斎）																																		
社会	時差																																																			
理科	フード・マイレージ																																																			
国語	回文																																																			
体育	総当たり戦の試合数																																																			
英語	索引の用語に英訳																																																			
理科	食塩水の濃度																																																			
技術	おおがね																																																			
美術	黄金比（葛飾北斎）																																																			
育 反 課 復 程 に よ 編 る 成 教	①小学校算数との連携に関する配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は、3。そのうち復習問題のページ数は、1。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は、6。関連する章のはじめに配置されている。</li> </ul>																																																	
		②生徒の学習を確実なものにするため、個々のつまずきに対する配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各節の「確かめよう」で、各問題の左横にどこで学習した内容かが分かるように、関連ページ・問題番号が記載されている。</li> <li>既習事項を「ふりかえり」でまとめており、解決のヒントがキャラクターで示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の「学習のまとめ」で、まとめと例題を取り上げ、どこで学習したかが分かるように、関連ページが記載されている。</li> <li>既習事項をふり返る「もどって確認」や、解決のヒントがキャラクターで示されている。また、間違いを指摘し、説明する問題が各学年2問ずつ掲載されている。</li> </ul>																																																
え 数 学 的 活 動 に 関 する 説 明 活 動 し 伝	①考察したことや、結果を表現する場面を設けているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを表現する等の問題数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>23</td><td>23</td><td>12</td><td>12</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	23	23	12	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを表現する等の問題数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>40</td><td>20</td><td>5</td><td>15</td></tr> </table>	A数と式	B図形	C関数	D資料	40	20	5	15																																	
		A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
23	23	12	12																																																	
A数と式	B図形	C関数	D資料																																																	
40	20	5	15																																																	
②数学のノートやレポートの書き方についての説明があるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートやレポートの書き方について説明しているページ数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>ページ数</th></tr> <tr><td>ノート</td><td>3</td></tr> <tr><td>レポート</td><td>14</td></tr> </table>	項目	ページ数	ノート	3	レポート	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートやレポートの書き方について説明しているページ数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>ページ数</th></tr> <tr><td>ノート</td><td>3</td></tr> <tr><td>レポート</td><td>4</td></tr> </table>	項目	ページ数	ノート	3	レポート	4																																						
項目	ページ数																																																			
ノート	3																																																			
レポート	14																																																			
項目	ページ数																																																			
ノート	3																																																			
レポート	4																																																			

# 【 数 学 】

観点		発行者	6 1 啓林館	1 0 4 数研																																														
教 科 共 通	単元・題材の構成及び内容の取り扱いについて	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数は、757。章の数は、21。節の数は、49。</li> <li>各領域別のページの割合（巻末の練習問題等は含まず）</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>28%</td><td>27%</td><td>12%</td><td>7%</td></tr> </table> </ul>	A数と式	B図形	C関数	D資料	28%	27%	12%	7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数は、780。章の数は、21。節の数は、47。</li> <li>各領域別のページの割合（巻末の練習問題等は含まず）</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>29%</td><td>26%</td><td>12%</td><td>7%</td></tr> </table> </ul>	A数と式	B図形	C関数	D資料	29%	26%	12%	7%																														
		A数と式	B図形	C関数	D資料																																													
		28%	27%	12%	7%																																													
A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
29%	26%	12%	7%																																															
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決をうながす見直しをもつ場面数</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>60</td><td>51</td><td>28</td><td>13</td></tr> </table> <li>3年の図形領域の配列は、「円」「三平方の定理」の順である。</li> </ul>	A数と式	B図形	C関数	D資料	60	51	28	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決をうながす見直しをもつ場面数</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>57</td><td>48</td><td>22</td><td>13</td></tr> </table> <li>3年の図形領域の配列は、「円」「三平方の定理」の順である。</li> </ul>	A数と式	B図形	C関数	D資料	57	48	22	13																																
A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
60	51	28	13																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
57	48	22	13																																															
③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末、巻末問題における、知識・技能の習得のページ数は、73。</li> <li>各章の章末問題のページ数は概ね、3。難易度別に分けられている。</li> <li>知識・技能を活用するページ数は、86。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末、巻末問題における、知識・技能の習得のページ数は、97。</li> <li>各章の章末問題のページ数は概ね、3。難易度別にAとBに分けられている。</li> <li>知識・技能を活用するページ数は、76。</li> </ul>																																																
挿 絵 ・ 図 表 ・ 紙 質 ・ 造 本	文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に「ゴシック体で示された用語」の数</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>82</td><td>83</td><td>25</td><td>28</td></tr> </table> </ul>	A数と式	B図形	C関数	D資料	82	83	25	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に「ゴシック体で示された用語」の数</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>86</td><td>96</td><td>35</td><td>33</td></tr> </table> </ul>	A数と式	B図形	C関数	D資料	86	96	35	33																														
		A数と式	B図形	C関数	D資料																																													
		82	83	25	28																																													
A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
86	96	35	33																																															
②資料・手引書等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のマークの意味、授業の受け方や家庭学習等が説明されている「学習の手引き」のページ数は、18。</li> <li>巻末の索引の項目数は、273。</li> <li>公式や定理、用語等をまとめているページ数は、23。3年の関数に穴埋め形式でまとめるページが設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のマークの意味、授業の受け方や家庭学習等が説明されている「学習の手引き」のページ数は、6。</li> <li>巻末の索引の項目数は、238。</li> <li>公式や定理、用語等をまとめているページ数は、43。関数と図形では穴埋め形式でまとめるページが設定されている。</li> </ul>																																																
③挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や挿絵の数</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>117</td><td>92</td><td>55</td><td>47</td></tr> </table> <li>※1年に大分市の水族館うみたまごの写真。</li> <li>図の数</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>90</td><td>640</td><td>16</td><td>8</td></tr> </table> <li>表やグラフ</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>11</td><td>6</td><td>167</td><td>54</td></tr> </table> </ul>	A数と式	B図形	C関数	D資料	117	92	55	47	A数と式	B図形	C関数	D資料	90	640	16	8	A数と式	B図形	C関数	D資料	11	6	167	54	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や挿絵の数</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>68</td><td>69</td><td>31</td><td>53</td></tr> </table> <li>※1年に別府市のグローバルタワーの写真。</li> <li>図の数</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>100</td><td>661</td><td>24</td><td>9</td></tr> </table> <li>表やグラフ</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>18</td><td>5</td><td>149</td><td>40</td></tr> </table> </ul>	A数と式	B図形	C関数	D資料	68	69	31	53	A数と式	B図形	C関数	D資料	100	661	24	9	A数と式	B図形	C関数	D資料	18	5	149	40
A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
117	92	55	47																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
90	640	16	8																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
11	6	167	54																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
68	69	31	53																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
100	661	24	9																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
18	5	149	40																																															
教 科 独 自	挿絵・図表・紙質・造本	①日常生活等の問題場面を取り上げる等して、興味関心をもって学習することができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>章の扉の題材</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><td>標高といろいろな日本一、勘者御伽双紙の数当て、カレンダーで数当て等</td></tr> <tr><th>B図形</th><td>タイムカプセルを埋めた場所、金沢駅の写真、円周角発見ディスク等</td></tr> <tr><th>C関数</th><td>長方形からできる直方体の体積、水槽の水の高さ、斜面を転がるボール</td></tr> <tr><th>D資料</th><td>紙コプターの滞在時間、2枚のコインの表裏、人口調査（国勢調査）</td></tr> </table> <li>操作活動を行える巻末の切り取り教具</li> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>とびだす立方体、正十二面体、紙コプター</td></tr> <tr><th>3年</th><td>三角形と四角形のしきつめ、発見ディスク</td></tr> </table> <li>和算や数学史、数学パズルなど、数学に関する読み物教材を扱ったページ数は、73。</li> </ul>	A数と式	標高といろいろな日本一、勘者御伽双紙の数当て、カレンダーで数当て等	B図形	タイムカプセルを埋めた場所、金沢駅の写真、円周角発見ディスク等	C関数	長方形からできる直方体の体積、水槽の水の高さ、斜面を転がるボール	D資料	紙コプターの滞在時間、2枚のコインの表裏、人口調査（国勢調査）	1年	とびだす立方体、正十二面体、紙コプター	3年	三角形と四角形のしきつめ、発見ディスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>章の扉の題材</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><td>フラッグガーランドづくり、スタンプカードのポイント、便利な計算等</td></tr> <tr><th>B図形</th><td>地図記号、ピースで作る形、ピラミッドとしきつめ等</td></tr> <tr><th>C関数</th><td>時間・距離・速さと買い物、水槽の水の高さ、斜面を転がるボール</td></tr> <tr><th>D資料</th><td>鹿せんべい飛ばし、さいころの代わりになる物、缶詰調査</td></tr> </table> <li>操作活動を行える巻末の切り取り教具</li> <table border="1"> <tr><th>1年</th><td>立方体の切断</td></tr> <tr><th>3年</th><td>因数分解パズル、三平方の定理パズル</td></tr> </table> <li>和算や数学史、数学パズルなど、数学に関する読み物教材を扱ったページ数は、45。</li> </ul>	A数と式	フラッグガーランドづくり、スタンプカードのポイント、便利な計算等	B図形	地図記号、ピースで作る形、ピラミッドとしきつめ等	C関数	時間・距離・速さと買い物、水槽の水の高さ、斜面を転がるボール	D資料	鹿せんべい飛ばし、さいころの代わりになる物、缶詰調査	1年	立方体の切断	3年	因数分解パズル、三平方の定理パズル																						
		A数と式	標高といろいろな日本一、勘者御伽双紙の数当て、カレンダーで数当て等																																															
		B図形	タイムカプセルを埋めた場所、金沢駅の写真、円周角発見ディスク等																																															
C関数	長方形からできる直方体の体積、水槽の水の高さ、斜面を転がるボール																																																	
D資料	紙コプターの滞在時間、2枚のコインの表裏、人口調査（国勢調査）																																																	
1年	とびだす立方体、正十二面体、紙コプター																																																	
3年	三角形と四角形のしきつめ、発見ディスク																																																	
A数と式	フラッグガーランドづくり、スタンプカードのポイント、便利な計算等																																																	
B図形	地図記号、ピースで作る形、ピラミッドとしきつめ等																																																	
C関数	時間・距離・速さと買い物、水槽の水の高さ、斜面を転がるボール																																																	
D資料	鹿せんべい飛ばし、さいころの代わりになる物、缶詰調査																																																	
1年	立方体の切断																																																	
3年	因数分解パズル、三平方の定理パズル																																																	
②他教科等との関連があるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科等との関連した内容</li> <table border="1"> <tr><th>防災</th><td>資料から防災を考える</td></tr> <tr><th>体育</th><td>オリンピックの優勝記録の子想</td></tr> <tr><th>理科</th><td>全身が映る鏡</td></tr> <tr><th>技術</th><td>曲尺の秘密</td></tr> </table> </ul>	防災	資料から防災を考える	体育	オリンピックの優勝記録の子想	理科	全身が映る鏡	技術	曲尺の秘密	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科等との関連した内容</li> <table border="1"> <tr><th>社会</th><td>少子高齢化問題</td></tr> <tr><th>理科</th><td>深海の水压</td></tr> <tr><th>技術</th><td>LED電球はお得？</td></tr> <tr><th>体育</th><td>リレーのバトンパス</td></tr> </table> </ul>	社会	少子高齢化問題	理科	深海の水压	技術	LED電球はお得？	体育	リレーのバトンパス																																
防災	資料から防災を考える																																																	
体育	オリンピックの優勝記録の子想																																																	
理科	全身が映る鏡																																																	
技術	曲尺の秘密																																																	
社会	少子高齢化問題																																																	
理科	深海の水压																																																	
技術	LED電球はお得？																																																	
体育	リレーのバトンパス																																																	
育 反 課 復 程 に よ 編 る 成 教	①小学校算数との連携に関する配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校算数の復習ページ数は、16。1年の別冊に「各章の準備をしよう」という形で掲載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は、8。そのうち復習問題のページ数は、2。</li> </ul>																																															
		②生徒の学習を確実なものにするため、個々のつまづきに対する配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の「基本のたしかめ」で、どこで学習したかが分かるように関連内容とそのページが記載されている。</li> <li>既習事項をまとめた「ふりかえり」や、解決のヒントがキャラクターで示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各節の「確かめよう」で、問題ごとに、どこで学習したかが分かるように、関連ページが記載されている。</li> <li>「ふりかえり」で参照ページが示されている。巻頭の「クイックチャージ」で、既習事項が掲載されている。</li> </ul>																																														
え 数 学 的 に せ る 説 活 明 動 し 伝	①考察したことや、結果を表現する場面を設けているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを表現する等の問題数</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>43</td><td>43</td><td>22</td><td>15</td></tr> </table> </ul>	A数と式	B図形	C関数	D資料	43	43	22	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを表現する等の問題数</li> <table border="1"> <tr><th>A数と式</th><th>B図形</th><th>C関数</th><th>D資料</th></tr> <tr><td>20</td><td>20</td><td>12</td><td>12</td></tr> </table> </ul>	A数と式	B図形	C関数	D資料	20	20	12	12																															
		A数と式	B図形	C関数	D資料																																													
43	43	22	15																																															
A数と式	B図形	C関数	D資料																																															
20	20	12	12																																															
②数学のノートやレポートの書き方についての説明があるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートやレポートの書き方について説明しているページ数</li> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>ページ数</th></tr> <tr><td>ノート</td><td>6</td></tr> <tr><td>レポート</td><td>3</td></tr> </table> </ul>	項目	ページ数	ノート	6	レポート	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートやレポートの書き方について説明しているページ数</li> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>ページ数</th></tr> <tr><td>ノート</td><td>3</td></tr> <tr><td>レポート</td><td>0</td></tr> </table> </ul>	項目	ページ数	ノート	3	レポート	0																																				
項目	ページ数																																																	
ノート	6																																																	
レポート	3																																																	
項目	ページ数																																																	
ノート	3																																																	
レポート	0																																																	

# 【 数 学 】

観点		発行者	116 日文																							
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取り扱いについて	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはじめ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・総ページ数は、807。章の数は、21。節の数は、47。</p> <p>・各領域別のページの割合（巻末の練習問題等は含まず）</p> <table border="1"> <tr> <th>A 数と式</th> <th>B 図形</th> <th>C 関数</th> <th>D 資料</th> </tr> <tr> <td>30%</td> <td>26%</td> <td>14%</td> <td>7%</td> </tr> </table> <p>・問題解決をうながす見通しをもつ場面数</p> <table border="1"> <tr> <th>A 数と式</th> <th>B 図形</th> <th>C 関数</th> <th>D 資料</th> </tr> <tr> <td>107</td> <td>78</td> <td>42</td> <td>19</td> </tr> </table> <p>・3年の図形領域の配列は、「円」「三平方の定理」の順である。</p> <p>・章末、巻末問題における、知識・技能の習得のページ数は、61。</p> <p>・各章の章末問題のページ数は概ね、3。3段階に分けられており、評価の観点が表示された問題もある。</p> <p>・知識・技能を活用するページ数は、58。</p>	A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料	30%	26%	14%	7%	A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料	107	78	42	19							
	A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料																						
	30%	26%	14%	7%																						
A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料																							
107	78	42	19																							
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引書等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・本文中に「ゴシック体で示された用語」の数</p> <table border="1"> <tr> <th>A 数と式</th> <th>B 図形</th> <th>C 関数</th> <th>D 資料</th> </tr> <tr> <td>85</td> <td>67</td> <td>23</td> <td>28</td> </tr> </table> <p>・教科書のマークの意味、授業の受け方や家庭学習等が説明されている「学習の手引き」のページ数は、12。</p> <p>・巻末の索引の項目数は、197。</p> <p>・公式や定理、用語等をまとめているページ数は、31。重要な点は生徒に記述させるように、穴埋め形式で設定されている。</p>	A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料	85	67	23	28																
A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料																							
85	67	23	28																							
挿絵・図表・紙質・造本	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<p>・写真や挿絵の数</p> <table border="1"> <tr> <th>A 数と式</th> <th>B 図形</th> <th>C 関数</th> <th>D 資料</th> </tr> <tr> <td>72</td> <td>69</td> <td>41</td> <td>44</td> </tr> </table> <p>※1年に大分国際車いすマラソンの写真。</p> <p>・図の数</p> <table border="1"> <tr> <th>A 数と式</th> <th>B 図形</th> <th>C 関数</th> <th>D 資料</th> </tr> <tr> <td>139</td> <td>667</td> <td>23</td> <td>10</td> </tr> </table> <p>・表やグラフ</p> <table border="1"> <tr> <th>A 数と式</th> <th>B 図形</th> <th>C 関数</th> <th>D 資料</th> </tr> <tr> <td>20</td> <td>7</td> <td>180</td> <td>47</td> </tr> </table> <p>・色覚等の個人差を問わず、より多くの人に必要な情報が伝わるようユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>・小口面にカラーインデックスを採用している。</p>	A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料	72	69	41	44	A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料	139	667	23	10	A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料	20	7	180	47
A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料																							
72	69	41	44																							
A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料																							
139	667	23	10																							
A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料																							
20	7	180	47																							
教科独自	よ数学的実活感動きのせ楽るし活さ動や数学の	<p>①日常生活等の問題場面を取り上げる等して、興味関心をもって学習することができるか。</p> <p>②他教科等との関連があるか。</p>	<p>・章の扉の題材</p> <table border="1"> <tr> <th>A 数と式</th> <td>俵積み（1、2年生）、スクラッチカードのポイント、モールで長方形を作る等</td> </tr> <tr> <th>B 図形</th> <td>麻の葉模様、いろいろな建物の形、白川郷の写真等</td> </tr> <tr> <th>C 関数</th> <td>ペットボトルキャップ集め、水槽の水の高さ、斜面を転がるボール</td> </tr> <tr> <th>D 資料</th> <td>3月の最高気温、コイントス、人口調査（国勢調査）</td> </tr> </table> <p>・操作活動を行える巻末の切り取り教具</p> <table border="1"> <tr> <th>1年</th> <td>正多面体（3種類）、いろいろな立体</td> </tr> <tr> <th>3年</th> <td>因数分解パズル</td> </tr> </table> <p>・和算や数学史、数学パズルなど、数学に関する読み物教材を扱ったページ数は、52。</p> <p>・他教科等との関連した内容</p> <table border="1"> <tr> <th>技術</th> <td>3Dプリンター</td> </tr> <tr> <th>保健</th> <td>国際車いすマラソンの選手の通過時刻</td> </tr> <tr> <th>社会</th> <td>湖面の高さと湖の深さ</td> </tr> <tr> <th>理科</th> <td>風の強さ</td> </tr> </table>	A 数と式	俵積み（1、2年生）、スクラッチカードのポイント、モールで長方形を作る等	B 図形	麻の葉模様、いろいろな建物の形、白川郷の写真等	C 関数	ペットボトルキャップ集め、水槽の水の高さ、斜面を転がるボール	D 資料	3月の最高気温、コイントス、人口調査（国勢調査）	1年	正多面体（3種類）、いろいろな立体	3年	因数分解パズル	技術	3Dプリンター	保健	国際車いすマラソンの選手の通過時刻	社会	湖面の高さと湖の深さ	理科	風の強さ			
	A 数と式	俵積み（1、2年生）、スクラッチカードのポイント、モールで長方形を作る等																								
B 図形	麻の葉模様、いろいろな建物の形、白川郷の写真等																									
C 関数	ペットボトルキャップ集め、水槽の水の高さ、斜面を転がるボール																									
D 資料	3月の最高気温、コイントス、人口調査（国勢調査）																									
1年	正多面体（3種類）、いろいろな立体																									
3年	因数分解パズル																									
技術	3Dプリンター																									
保健	国際車いすマラソンの選手の通過時刻																									
社会	湖面の高さと湖の深さ																									
理科	風の強さ																									
育反課程による編成	<p>①小学校算数との連携に関する配慮がなされているか。</p> <p>②生徒の学習を確実なものにするため、個々のつまずきに対する配慮がなされているか。</p>	<p>・1年の教科書にある、小学校算数の復習ページ数は、15。そのうち復習問題のページ数は、8。</p> <p>・各節の「基本の問題」と各章の「くり返し練習」の右横に、どこで学習した内容かが分かるように、関連内容とそのページが記載されている。</p> <p>・解決のヒントがキャラクターで示されている。特に間違いやすい問題には「誤答に注意」と表示されている。</p>																								
え数合学的にせにる説活明動し伝	<p>①考察したことや、結果を表現する場面を設けているか。</p> <p>②数学のノートやレポートの書き方についての説明があるか。</p>	<p>・自分の考えを表現する等の問題数</p> <table border="1"> <tr> <th>A 数と式</th> <th>B 図形</th> <th>C 関数</th> <th>D 資料</th> </tr> <tr> <td>37</td> <td>21</td> <td>25</td> <td>11</td> </tr> </table> <p>・ノートやレポートの書き方について説明しているページ数</p> <table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>ページ数</th> </tr> <tr> <td>ノート</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td>7</td> </tr> </table>	A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料	37	21	25	11	項 目	ページ数	ノート	3	レポート	7										
A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料																							
37	21	25	11																							
項 目	ページ数																									
ノート	3																									
レポート	7																									



## 1 学習指導要領に示された目標

## 【理科の目標】

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

## 【各学年の目標】

第1分野	(1)	物質やエネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、その中に問題を見だし意欲的に探究する活動を通して、規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させる。
	(2)	物理的な事物・現象についての観察、実験を行い、観察・実験技能を習得させ、観察、実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てるとともに、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギーなどについて理解させ、これらの事物・現象に対する科学的な見方や考え方を養う。
	(3)	化学的な事物・現象についての観察、実験を行い、観察・実験技能を習得させ、観察、実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てるとともに、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解させ、これらの事物・現象に対する科学的な見方や考え方を養う。
	(4)	物質やエネルギーに関する事物・現象を調べる活動を行い、これらの活動を通して科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め、科学的に考える態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。
第2分野	(1)	生物とそれを取り巻く自然の事物・現象に進んでかかわり、その中に問題を見だし意欲的に探究する活動を通して、多様性や規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させる。
	(2)	生物や生物現象について観察、実験を行い、観察・実験技能を習得させ、観察、実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てるとともに、植物や動物の生活と種類、生物の細胞と生殖などについて理解させ、これらの事物・現象に対する科学的な見方や考え方を養う。
	(3)	地学的な事物・現象についての観察、実験を行い、観察・実験技能を習得させ、観察、実験結果を分析して解釈し表現する能力を育てるとともに、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解させ、これらの事物・現象に対する科学的な見方や考え方を養う。
	(4)	生物とそれを取り巻く自然の事物・現象を調べる活動を行い、自然の調べ方を身に付けるとともに、これらの活動を通して生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育て、自然を総合的にみるができるようにする。

## 2 調査研究の観点

(1) 科学に関する基本的概念の定着	① 「エネルギー」、「粒子」、「生命」、「地球」などの科学に関する基本的概念の一層の定着を図ることについて、どのように示されているか。
(2) 科学的な思考力・表現力の育成	② 観察、実験の結果を分析して解釈する能力や、導き出した自らの考えを表現する能力を育成することについて、どのように示されているか。
(3) 科学を学ぶ意義や有用性の実感	③ 科学技術が日常生活や社会、職業と密接な関連があることを実感させることについて、どのように示されているか。
(4) 科学的な体験、自然体験の充実	④ 原理や法則の理解を深めさせるためのものづくりや継続的観察など、科学的な体験や自然体験を充実することについて、どのように示されているか。

# 【 理 科 】

観 点		発行者	2 東 書	4 大 日 本																																																																																				
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別のページ数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>68</td> <td>60</td> <td>63</td> <td>191</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>61</td> <td>73</td> <td>57</td> <td>191</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>57</td> <td>68</td> <td>43</td> <td>168</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>55</td> <td>168</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>71</td> <td>71</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野(エネルギー)	68	60	63	191	24%	第1分野(粒子)	61	73	57	191	24%	第2分野(生命)	57	68	43	168	21%	第2分野(地球)	56	57	55	168	21%	(自然科学と人間)	—	—	71	71	9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別のページ数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>67</td> <td>71</td> <td>67</td> <td>205</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>67</td> <td>73</td> <td>53</td> <td>193</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>58</td> <td>77</td> <td>67</td> <td>202</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>65</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>179</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野(エネルギー)	67	71	67	205	25%	第1分野(粒子)	67	73	53	193	23%	第2分野(生命)	58	77	67	202	25%	第2分野(地球)	65	57	57	179	22%	(自然科学と人間)	—	—	43	43	5%
		内容	学 年			合計	割合																																																																																	
			1	2	3																																																																																			
第1分野(エネルギー)	68	60	63	191	24%																																																																																			
第1分野(粒子)	61	73	57	191	24%																																																																																			
第2分野(生命)	57	68	43	168	21%																																																																																			
第2分野(地球)	56	57	55	168	21%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	71	71	9%																																																																																			
内容	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野(エネルギー)	67	71	67	205	25%																																																																																			
第1分野(粒子)	67	73	53	193	23%																																																																																			
第2分野(生命)	58	77	67	202	25%																																																																																			
第2分野(地球)	65	57	57	179	22%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	43	43	5%																																																																																			
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の分冊とも、第1分野(エネルギー、粒子)と第2分野(生命、地球)の単元が交互に配列されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の分冊とも、第1分野(エネルギー、粒子)と第2分野(生命、地球)の単元が交互に配列されている。</li> </ul>																																																																																						
③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別の「観察」「実験」「実習」の数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>20</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>23</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野(エネルギー)	6	8	6	20	27%	第1分野(粒子)	8	9	6	23	31%	第2分野(生命)	8	4	3	15	20%	第2分野(地球)	5	4	6	15	20%	(自然科学と人間)	—	—	2	2	3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別の「観察」「実験」「実習」の数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>25</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>23</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野(エネルギー)	8	10	7	25	30%	第1分野(粒子)	8	9	6	23	28%	第2分野(生命)	9	5	4	18	22%	第2分野(地球)	7	4	5	16	20%	(自然科学と人間)	—	—	0	0	0%		
内容	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野(エネルギー)	6	8	6	20	27%																																																																																			
第1分野(粒子)	8	9	6	23	31%																																																																																			
第2分野(生命)	8	4	3	15	20%																																																																																			
第2分野(地球)	5	4	6	15	20%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	2	2	3%																																																																																			
内容	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野(エネルギー)	8	10	7	25	30%																																																																																			
第1分野(粒子)	8	9	6	23	28%																																																																																			
第2分野(生命)	9	5	4	18	22%																																																																																			
第2分野(地球)	7	4	5	16	20%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	0	0	0%																																																																																			
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の本文中に「ゴシック体で示された用語」の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>76</td> <td>73</td> <td>74</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>73</td> <td>81</td> <td>51</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	76	73	74	223	第2分野	73	81	51	205	(自然科学と人間)	—	—	29	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の本文中に「ゴシック体で示された用語」の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>86</td> <td>137</td> <td>92</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>76</td> <td>90</td> <td>64</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	86	137	92	315	第2分野	76	90	64	230	(自然科学と人間)	—	—	5	5																																			
		分野	学 年			合計																																																																																		
			1	2	3																																																																																			
第1分野	76	73	74	223																																																																																				
第2分野	73	81	51	205																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	29	29																																																																																				
分野	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野	86	137	92	315																																																																																				
第2分野	76	90	64	230																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	5	5																																																																																				
②資料・手引書等が有効に利用され、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の「索引」の項目数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>80</td> <td>66</td> <td>62</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>86</td> <td>106</td> <td>64</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>33</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	80	66	62	208	第2分野	86	106	64	256	(自然科学と人間)	—	—	33	33	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の「索引」の項目数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>80</td> <td>79</td> <td>77</td> <td>236</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>85</td> <td>96</td> <td>75</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	80	79	77	236	第2分野	85	96	75	256	(自然科学と人間)	—	—	8	8																																				
分野	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野	80	66	62	208																																																																																				
第2分野	86	106	64	256																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	33	33																																																																																				
分野	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野	80	79	77	236																																																																																				
第2分野	85	96	75	256																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	8	8																																																																																				
挿絵・図表	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の本文中の「表」「グラフ」の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>22</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>11</td> <td>19</td> <td>5</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	22	11	12	45	第2分野	11	19	5	35	(自然科学と人間)	—	—	8	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の本文中の「表」「グラフ」の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>15</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>19</td> <td>32</td> <td>9</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	23	21	15	59	第2分野	19	32	9	60	(自然科学と人間)	—	—	11	11																																			
		分野	学 年			合計																																																																																		
			1	2	3																																																																																			
第1分野	22	11	12	45																																																																																				
第2分野	11	19	5	35																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	8	8																																																																																				
分野	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野	23	21	15	59																																																																																				
第2分野	19	32	9	60																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	11	11																																																																																				
②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年ごとにまとめられており、B5変型判である。</li> <li>デザイン、フォントなどに関して配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年ごとにまとめられており、B5判である。</li> <li>フォント、配色などに関して配慮している。</li> </ul>																																																																																						
科学的な思考力・表現力の育成	①「エネルギー」、「粒子」、「生命」、「地球」などの科学に関する基本的概念の一層の定着を図ることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別の各単元末の「まとめ」「問題」のページ数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計		1	2	3		第1分野(エネルギー)	5	5	5	15	第1分野(粒子)	5	5	5	15	第2分野(生命)	5	5	5	15	第2分野(地球)	5	5	5	15	(自然科学と人間)	—	—	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別の各単元末の「まとめ」「問題」のページ数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計		1	2	3		第1分野(エネルギー)	5	5	5	15	第1分野(粒子)	5	5	5	15	第2分野(生命)	5	5	10	20	第2分野(地球)	5	5	5	15	(自然科学と人間)	—	—	3	3															
		内容	学 年			合計																																																																																		
			1	2	3																																																																																			
第1分野(エネルギー)	5	5	5	15																																																																																				
第1分野(粒子)	5	5	5	15																																																																																				
第2分野(生命)	5	5	5	15																																																																																				
第2分野(地球)	5	5	5	15																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	3	3																																																																																				
内容	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野(エネルギー)	5	5	5	15																																																																																				
第1分野(粒子)	5	5	5	15																																																																																				
第2分野(生命)	5	5	10	20																																																																																				
第2分野(地球)	5	5	5	15																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	3	3																																																																																				
②観察、実験の結果を分析して解釈する能力や、導き出した自らの考えを表現する能力を育成することについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別の本文中の「問」(考えを表現する)の数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>23</td> <td>14</td> <td>21</td> <td>58</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>31</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>64</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>13</td> <td>26</td> <td>9</td> <td>48</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>26</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>65</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>8%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野(エネルギー)	23	14	21	58	23%	第1分野(粒子)	31	18	15	64	25%	第2分野(生命)	13	26	9	48	19%	第2分野(地球)	26	20	19	65	25%	(自然科学と人間)	—	—	20	20	8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別の本文中の「問」(考えを表現する)の数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>66</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>25</td> <td>19</td> <td>12</td> <td>56</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>50</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>21</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>52</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>6%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野(エネルギー)	22	23	21	66	28%	第1分野(粒子)	25	19	12	56	23%	第2分野(生命)	18	16	16	50	21%	第2分野(地球)	21	15	16	52	22%	(自然科学と人間)	—	—	15	15	6%		
内容	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野(エネルギー)	23	14	21	58	23%																																																																																			
第1分野(粒子)	31	18	15	64	25%																																																																																			
第2分野(生命)	13	26	9	48	19%																																																																																			
第2分野(地球)	26	20	19	65	25%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	20	20	8%																																																																																			
内容	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野(エネルギー)	22	23	21	66	28%																																																																																			
第1分野(粒子)	25	19	12	56	23%																																																																																			
第2分野(生命)	18	16	16	50	21%																																																																																			
第2分野(地球)	21	15	16	52	22%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	15	15	6%																																																																																			
有用性の実感	①科学技術が日常生活や社会、職業と密接な関連があることを実感させることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の科学技術と「日常生活や社会」「職業」の関連を示している箇所数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>50</td> <td>110</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>31</td> <td>80</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>61</td> <td>61</td> <td>24%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野	32	28	50	110	44%	第2分野	25	24	31	80	32%	(自然科学と人間)	—	—	61	61	24%	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の科学技術と「日常生活や社会」「職業」の関連を示している箇所数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>41</td> <td>42</td> <td>31</td> <td>114</td> <td>61%</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>14</td> <td>42</td> <td>5</td> <td>61</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野	41	42	31	114	61%	第2分野	14	42	5	61	32%	(自然科学と人間)	—	—	13	13	7%																									
		分野	学 年			合計	割合																																																																																	
			1	2	3																																																																																			
第1分野	32	28	50	110	44%																																																																																			
第2分野	25	24	31	80	32%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	61	61	24%																																																																																			
分野	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野	41	42	31	114	61%																																																																																			
第2分野	14	42	5	61	32%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	13	13	7%																																																																																			
②原理や法則の理解を深めさせるためのものづくりや継続的観察など、科学的な体験や自然体験を充実することについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の「ものづくり」「継続的な観察」を示している箇所数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>19</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	7	3	19	29	第2分野	2	1	9	12	(自然科学と人間)	—	—	14	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の「ものづくり」「継続的な観察」を示している箇所数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	13	10	1	24	第2分野	13	2	5	20	(自然科学と人間)	—	—	4	4																																				
分野	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野	7	3	19	29																																																																																				
第2分野	2	1	9	12																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	14	14																																																																																				
分野	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野	13	10	1	24																																																																																				
第2分野	13	2	5	20																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	4	4																																																																																				

# 【 理 科 】

観 点		発行者	11 学 校	17 教 出																																																																																				
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別のページ数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>61</td> <td>75</td> <td>47</td> <td>183</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>69</td> <td>59</td> <td>67</td> <td>195</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>65</td> <td>75</td> <td>59</td> <td>199</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>71</td> <td>59</td> <td>57</td> <td>187</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>46</td> <td>46</td> <td>6%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野(エネルギー)	61	75	47	183	23%	第1分野(粒子)	69	59	67	195	24%	第2分野(生命)	65	75	59	199	25%	第2分野(地球)	71	59	57	187	23%	(自然科学と人間)	—	—	46	46	6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別のページ数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>57</td> <td>61</td> <td>75</td> <td>193</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>59</td> <td>55</td> <td>42</td> <td>156</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>63</td> <td>79</td> <td>31</td> <td>173</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>59</td> <td>47</td> <td>51</td> <td>157</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>8%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野(エネルギー)	57	61	75	193	26%	第1分野(粒子)	59	55	42	156	21%	第2分野(生命)	63	79	31	173	24%	第2分野(地球)	59	47	51	157	21%	(自然科学と人間)	—	—	57	57	8%
		内容	学 年			合計	割合																																																																																	
			1	2	3																																																																																			
第1分野(エネルギー)	61	75	47	183	23%																																																																																			
第1分野(粒子)	69	59	67	195	24%																																																																																			
第2分野(生命)	65	75	59	199	25%																																																																																			
第2分野(地球)	71	59	57	187	23%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	46	46	6%																																																																																			
内容	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野(エネルギー)	57	61	75	193	26%																																																																																			
第1分野(粒子)	59	55	42	156	21%																																																																																			
第2分野(生命)	63	79	31	173	24%																																																																																			
第2分野(地球)	59	47	51	157	21%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	57	57	8%																																																																																			
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の分冊とも、前半に第1分野(エネルギー、粒子)、後半に第2分野(生命、地球)の単元が配列されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の分冊とも、前半に第1分野(エネルギー、粒子)、後半に第2分野(生命、地球)の単元が配列されている。</li> </ul>																																																																																						
③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別の「観察」「実験」「実習」の数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>20</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>21</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>13</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野(エネルギー)	6	9	5	20	29%	第1分野(粒子)	7	8	6	21	31%	第2分野(生命)	6	4	3	13	19%	第2分野(地球)	5	3	5	13	19%	(自然科学と人間)	—	—	1	1	1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別の「観察」「実験」「実習」の数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>22</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>25</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>17</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野(エネルギー)	6	9	7	22	28%	第1分野(粒子)	9	10	6	25	31%	第2分野(生命)	7	7	3	17	21%	第2分野(地球)	5	3	5	13	16%	(自然科学と人間)	—	—	3	3	4%		
内容	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野(エネルギー)	6	9	5	20	29%																																																																																			
第1分野(粒子)	7	8	6	21	31%																																																																																			
第2分野(生命)	6	4	3	13	19%																																																																																			
第2分野(地球)	5	3	5	13	19%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	1	1	1%																																																																																			
内容	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野(エネルギー)	6	9	7	22	28%																																																																																			
第1分野(粒子)	9	10	6	25	31%																																																																																			
第2分野(生命)	7	7	3	17	21%																																																																																			
第2分野(地球)	5	3	5	13	16%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	3	3	4%																																																																																			
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の本文中に「ゴシック体で示された用語」の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>85</td> <td>102</td> <td>92</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>91</td> <td>113</td> <td>69</td> <td>273</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	85	102	92	279	第2分野	91	113	69	273	(自然科学と人間)	—	—	12	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の本文中に「ゴシック体で示された用語」の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>86</td> <td>77</td> <td>75</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>80</td> <td>129</td> <td>53</td> <td>262</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	86	77	75	238	第2分野	80	129	53	262	(自然科学と人間)	—	—	11	11																																			
		分野	学 年			合計																																																																																		
			1	2	3																																																																																			
第1分野	85	102	92	279																																																																																				
第2分野	91	113	69	273																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	12	12																																																																																				
分野	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野	86	77	75	238																																																																																				
第2分野	80	129	53	262																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	11	11																																																																																				
②資料・手引書等が有効に使用され生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の「索引」の項目数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>113</td> <td>90</td> <td>100</td> <td>303</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>138</td> <td>172</td> <td>191</td> <td>501</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>59</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	113	90	100	303	第2分野	138	172	191	501	(自然科学と人間)	—	—	59	59	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の「索引」の項目数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>140</td> <td>101</td> <td>138</td> <td>379</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>198</td> <td>239</td> <td>113</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>59</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	140	101	138	379	第2分野	198	239	113	550	(自然科学と人間)	—	—	59	59																																				
分野	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野	113	90	100	303																																																																																				
第2分野	138	172	191	501																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	59	59																																																																																				
分野	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野	140	101	138	379																																																																																				
第2分野	198	239	113	550																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	59	59																																																																																				
紙質・造本	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の本文中の「表」「グラフ」の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>13</td> <td>22</td> <td>7</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	24	15	14	53	第2分野	13	22	7	42	(自然科学と人間)	—	—	9	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の本文中の「表」「グラフ」の数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>26</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>12</td> <td>18</td> <td>7</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	26	12	16	54	第2分野	12	18	7	37	(自然科学と人間)	—	—	9	9																																			
		分野	学 年			合計																																																																																		
	1	2	3																																																																																					
第1分野	24	15	14	53																																																																																				
第2分野	13	22	7	42																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	9	9																																																																																				
分野	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野	26	12	16	54																																																																																				
第2分野	12	18	7	37																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	9	9																																																																																				
②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年ごとにまとめられており、B5判である。</li> <li>色使いやレイアウトなどに関して配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年ごとにまとめられており、B5判である。</li> <li>デザイン、配色などに関して配慮している。</li> </ul>																																																																																						
教科独自	科学的な思考力・表現力の育成	①「エネルギー」、「粒子」、「生命」、「地球」などの科学に関する基本的概念の一層の定着を図ることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別の各単元末の「まとめ」「問題」のページ数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計		1	2	3		第1分野(エネルギー)	5	5	5	15	第1分野(粒子)	5	5	5	15	第2分野(生命)	5	5	4	14	第2分野(地球)	5	5	5	15	(自然科学と人間)	—	—	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別の各単元末の「まとめ」「問題」のページ数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計		1	2	3		第1分野(エネルギー)	6	6	6	18	第1分野(粒子)	6	6	6	18	第2分野(生命)	6	6	6	18	第2分野(地球)	6	6	6	18	(自然科学と人間)	—	—	4	4														
		内容	学 年			合計																																																																																		
			1	2	3																																																																																			
第1分野(エネルギー)	5	5	5	15																																																																																				
第1分野(粒子)	5	5	5	15																																																																																				
第2分野(生命)	5	5	4	14																																																																																				
第2分野(地球)	5	5	5	15																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	0	0																																																																																				
内容	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野(エネルギー)	6	6	6	18																																																																																				
第1分野(粒子)	6	6	6	18																																																																																				
第2分野(生命)	6	6	6	18																																																																																				
第2分野(地球)	6	6	6	18																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	4	4																																																																																				
②観察、実験の結果を分析して解釈する能力や、導き出した自らの考えを表現する能力を育成することについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別の本文中の「問」（考えを表現する）の数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>23</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>50</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>36</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>23</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>24</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野(エネルギー)	23	14	13	50	35%	第1分野(粒子)	16	13	7	36	25%	第2分野(生命)	12	6	5	23	16%	第2分野(地球)	10	6	8	24	17%	(自然科学と人間)	—	—	—	10	7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容別の本文中の「問」（考えを表現する）の数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野(エネルギー)</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>64</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>第1分野(粒子)</td> <td>29</td> <td>20</td> <td>8</td> <td>57</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(生命)</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>47</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>第2分野(地球)</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>24</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	内容	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野(エネルギー)	22	20	22	64	30%	第1分野(粒子)	29	20	8	57	27%	第2分野(生命)	18	16	13	47	22%	第2分野(地球)	9	8	7	24	11%	(自然科学と人間)	—	—	21	21	10%		
内容	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野(エネルギー)	23	14	13	50	35%																																																																																			
第1分野(粒子)	16	13	7	36	25%																																																																																			
第2分野(生命)	12	6	5	23	16%																																																																																			
第2分野(地球)	10	6	8	24	17%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	—	10	7%																																																																																			
内容	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野(エネルギー)	22	20	22	64	30%																																																																																			
第1分野(粒子)	29	20	8	57	27%																																																																																			
第2分野(生命)	18	16	13	47	22%																																																																																			
第2分野(地球)	9	8	7	24	11%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	21	21	10%																																																																																			
③科学技術が日常生活や社会、職業と密接な関連があることを実感させることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の科学技術と「日常生活や社会」「職業」の関連を示している箇所数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>30</td> <td>21</td> <td>19</td> <td>70</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>16</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>48</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野	30	21	19	70	54%	第2分野	16	20	12	48	37%	(自然科学と人間)	—	—	11	11	9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の科学技術と「日常生活や社会」「職業」の関連を示している箇所数及び割合</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>23</td> <td>20</td> <td>47</td> <td>90</td> <td>68%</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>20%</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計	割合		1	2	3			第1分野	23	20	47	90	68%	第2分野	8	10	1	19	14%	(自然科学と人間)	—	—	24	24	20%																										
分野	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野	30	21	19	70	54%																																																																																			
第2分野	16	20	12	48	37%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	11	11	9%																																																																																			
分野	学 年			合計	割合																																																																																			
	1	2	3																																																																																					
第1分野	23	20	47	90	68%																																																																																			
第2分野	8	10	1	19	14%																																																																																			
(自然科学と人間)	—	—	24	24	20%																																																																																			
自然体験の充実	④原理や法則の理解を深めさせるためのものづくりや継続的観察など、科学的な体験や自然体験を充実することについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の「ものづくり」「継続的な観察」を示している箇所数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	4	13	8	25	第2分野	7	2	10	19	(自然科学と人間)	—	—	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別の「ものづくり」「継続的な観察」を示している箇所数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th colspan="3">学 年</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>(自然科学と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> </ul>	分野	学 年			合計		1	2	3		第1分野	4	12	1	17	第2分野	5	2	5	12	(自然科学と人間)	—	—	7	7																																			
分野	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野	4	13	8	25																																																																																				
第2分野	7	2	10	19																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	3	3																																																																																				
分野	学 年			合計																																																																																				
	1	2	3																																																																																					
第1分野	4	12	1	17																																																																																				
第2分野	5	2	5	12																																																																																				
(自然科学と人間)	—	—	7	7																																																																																				



# 【 理 科 】

観 点		発行者
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱	61 啓林館
		<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>
	文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引書等が有効に使用され生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>
	挿絵・図表	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのようにされているか。</p>
教科 独自	基本的概念の定着	<p>①「エネルギー」、「粒子」、「生命」、「地球」などの科学に関する基本的概念の一層の定着を図ることについて、どのように示されているか。</p>
	科学的な思考力・表現力の育成	<p>①観察、実験の結果を分析して解釈する能力や、導き出した自らの考えを表現する能力を育成することについて、どのように示されているか。</p>
	有用性の実感や科学的な意義	<p>①科学技術が日常生活や社会、職業と密接な関連があることを実感させることについて、どのように示されているか。</p>
	科学的な体験の充実	<p>①原理や法則の理解を深めさせるためのものづくりや継続的観察など、科学的な体験や自然体験を充実することについて、どのように示されているか。</p>

内容別のページ数及び割合

内 容	学 年			合計	割合
	1	2	3		
第1分野(エネルギー)	53	63	62	178	25%
第1分野(粒子)	63	63	55	181	25%
第2分野(生命)	55	61	29	145	20%
第2分野(地球)	52	52	48	152	21%
(自然科学と人間)	—	—	61	61	9%

・各学年の分冊とも、前半に第2分野(生命、地球)、後半に第1分野(エネルギー、粒子)の単元が配列されている。

内容別の「観察」「実験」「実習」の数及び割合

内 容	学 年			合計	割合
	1	2	3		
第1分野(エネルギー)	6	11	8	25	34%
第1分野(粒子)	8	7	6	21	28%
第2分野(生命)	6	5	2	13	18%
第2分野(地球)	4	4	4	12	16%
(自然科学と人間)	—	—	3	3	4%

・分野別の本文中に「ゴシック体で示された用語」の数

分 野	学 年			合計
	1	2	3	
第1分野	79	55	124	258
第2分野	70	84	51	205
(自然科学と人間)	—	—	7	7

・分野別の「索引」の項目数

分 野	学 年			合計
	1	2	3	
第1分野	132	108	146	386
第2分野	114	156	105	375
(自然科学と人間)	—	—	23	23

・分野別の本文中の「表」「グラフ」の数

分 野	学 年			合計
	1	2	3	
第1分野	21	17	17	55
第2分野	12	27	6	45
(自然科学と人間)	—	—	9	9

・各学年ごとにまとめられており、B5判である。  
・デザイン、配色などに関して配慮している。

・内容別の各単元末の「まとめ」「問題」のページ数

内 容	学 年			合計
	1	2	3	
第1分野(エネルギー)	2	2	2	6
第1分野(粒子)	2	2	2	6
第2分野(生命)	2	2	2	6
第2分野(地球)	2	2	2	6
(自然科学と人間)	—	—	2	2

・内容別の本文中の「問」(考えを表現する)の数及び割合

内 容	学 年			合計	割合
	1	2	3		
第1分野(エネルギー)	22	15	19	56	26%
第1分野(粒子)	25	15	14	54	25%
第2分野(生命)	18	17	9	45	21%
第2分野(地球)	17	12	14	43	20%
(自然科学と人間)	—	—	18	18	8%

・分野別の科学技術と「日常生活や社会」「職業」の関連を示している箇所数及び割合

分 野	学 年			合計	割合
	1	2	3		
第1分野	17	16	18	51	54%
第2分野	10	11	9	30	32%
(自然科学と人間)	—	—	14	14	15%

・分野別の「ものづくり」「継続的な観察」を示している箇所数

分 野	学 年			合計
	1	2	3	
第1分野	13	10	6	29
第2分野	8	4	8	20
(自然科学と人間)	—	—	5	5

## 1 学習指導要領に示された目標

## 【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

## 【各学年の目標】

	第1学年	第2・3学年
(1)	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
(2)	多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。	多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
(3)	多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。	多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

## 【共通事項】

ア	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。
イ	音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

## 2 教科独自の調査研究の観点

(1) 表現 (歌唱・創作)	① 共通事項との関連を図りながら、思いや意図をもって表現を工夫し、言葉の特性を生かして歌うことについて、どのように示されているか。 ② 共通事項との関連を図りながら、思いをもって言葉や音階、音素材の特徴を生かして音楽を作ることについて、どのように示されているか。
(2) 鑑賞	① 様々な音楽のよさや美しさを感じ取る鑑賞教材について、どのように示されているか。 ② 共通事項との関連を図りながら、根拠をもって批評する音楽活動について、どのように示されているか。

# 【 音楽（一般） 】

観点		発行者	17 教 出	27 教 芸
教 科 共 通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数は288。</li> <li>教材数は、歌唱教材55、鑑賞教材19、創作教材 4、領域・分野を関連させた教材14。</li> <li>共通事項については、各教材のページに活動のポイントとして示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数は277。</li> <li>教材数は、歌唱教材61、鑑賞教材18、創作教材9、領域・分野を関連させた教材5。</li> <li>共通事項については、各教材のページに扱う要素が記号で示されている。</li> </ul>
		②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展教材は、音そのものについて学習する内容になっており、各学年1題材が示されている。</li> <li>生活と音楽に関わる教材が2・3年下に示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展教材は、我が国と世界の音楽文化を関連づけて学習する内容になっており、鑑賞教材10題材が示されている。</li> <li>生活と音楽に関わる教材が、全学年に示されている。</li> </ul>
		③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材の目標に即した学習のポイントが全ての教材に2つずつ示されている。</li> <li>リコーダーの運指表とコードネーム表が各学年に掲載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材の目標が、全ての教材で領域・分野によって色分けされ示されている。</li> </ul>
紙挿 質 造 本 表	文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の文体は敬体を用い、めあて、吹き出しの言葉は常体でも表記されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の文体は敬体を用い、吹き出しの言葉や説明文は常体でも表記されている。</li> </ul>
		②資料・手引書等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容が基礎・広がり・活用の「三つの柱」で構成されており、目次と教材ページに色分けしたラベルで示されている。</li> <li>関連楽曲や関連資料の掲載ページが、教材のページの右下に太字で示されている。</li> <li>教材で扱う音楽記号等は、教材のページ右上に抜き出している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「音楽学習MAP」において、歌唱・創作・鑑賞を色分け表示し、それぞれの教材で共通事項の学習内容が記号化して示されている。</li> <li>関連楽曲や関連資料の掲載ページが、教材のページに示されている。</li> <li>音楽記号等を書き込んで復習する学習活動が各学年に設けられている。</li> </ul>
表 現 （ 歌 唱 ・ 創 作 ）	紙挿 質 造 本 表	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真掲載ページ数は111。</li> <li>イラスト掲載ページ数は53。</li> <li>巻頭は、芸術家のメッセージが掲載されている。</li> <li>巻末と鑑賞教材に音楽の種類や楽器についての写真資料等が見開き3ページで掲載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真掲載ページ数は86。</li> <li>イラスト掲載ページ数は61。</li> <li>巻頭は、様々な舞台や舞台装置等の写真が見開きに掲載されている。</li> <li>巻末には、我が国及び諸民族の音楽に関する写真資料等が見開きで掲載されている。</li> </ul>
		②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>網代綴じ。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平綴じ。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>
教 科 独 自	表現（歌唱・創作）	①共通事項との関連を図りながら、思いや意図をもって表現を工夫し、言葉の特性を生かして歌うことについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲種別曲数は、クラシック2、近現代6、我が国の伝統的な音楽8、それ以外の我が国の音楽46、諸民族の音楽1、合計63曲が取り上げられている。</li> <li>演奏形態別曲数は、斉唱19、2部合唱10、3部合唱27、4部合唱4、アンサンブル3。</li> <li>共通教材は、7曲ともに風景写真が掲載されている。そのうち5曲に作者の言葉が掲載されている。総ページ数は22。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲種別曲数は、クラシック2、近現代7、我が国の伝統的な音楽4、それ以外の我が国の音楽46、諸民族の音楽2、合計61曲が取り上げられている。</li> <li>演奏形態別曲数は、斉唱12、2部合唱12、3部合唱28、4部合唱8、アンサンブル1。</li> <li>共通教材は、7曲ともに風景写真が掲載されている。そのうち5曲に作者の言葉が掲載されている。総ページ数は18。</li> </ul>
		②共通事項との関連を図りながら、思いや意図をもって言葉や音階、音素材の特徴を生かして音楽を作ることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>創作教材の総ページ数は16。</li> <li>リズム→音階（日本の音階）→音素材を学習した後、テーマに沿った創作へと発展的に示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創作教材の総ページ数は15。</li> <li>リズム→音階・和音等を学習した後、共通事項（構成、テクニク等）を踏まえたアンサンブルの創作へと発展的に示されている。</li> </ul>
鑑 賞	鑑賞	①様々な音楽のよさや美しさを感じ取る鑑賞教材について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲種別曲数は、クラシック7、近現代3、我が国の伝統的な音楽6、諸民族の音楽3、合計19曲が取り上げられている。</li> <li>鑑賞領域の総ページ数は83。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲種別曲数は、クラシック7、近現代4、我が国の伝統的な音楽8、諸民族の音楽4、合計23曲が取り上げられている。</li> <li>鑑賞領域の総ページ数は82。</li> </ul>
		②共通事項との関連を図りながら、根拠をもって批評する音楽活動について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統的な音楽や芸能について、「箏、尺八、雅楽、文楽、能、歌舞伎、民謡、芸能」が取り上げられ、表現活動を伴った教材が8つ示されている。</li> <li>楽曲の聴き方を示しているページ数は83。</li> <li>感じたこと等を記入できるページ数は8。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統的な音楽や芸能について、「箏、尺八、雅楽、文楽、能、歌舞伎、民謡、芸能」が取り上げられ、表現活動を伴った教材が6つ示されている。</li> <li>楽曲の聴き方を示しているページ数は31。</li> <li>感じたこと等を記入できるページ数は4。</li> </ul>

## 1 学習指導要領に示された目標

## 【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

## 【各学年の目標】

	第1学年	第2・3学年
(1)	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
(2)	多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。	多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
(3)	多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。	多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

## 【共通事項】

ア	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。
イ	音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

## 2 教科独自の調査研究の観点

(1) 表現 (器楽)	<p>① 共通事項との関連を図りながら、思いや意図をもって表現を工夫して演奏することについて、どのように示されているか。</p> <p>② 楽器の特徴や奏法について、どのように示されているか。</p>
----------------	--

# 【 音楽（器楽合奏） 】

観 点		発行者	17 教 出	27 教 芸
教 科 共 通	単 元 ・ 題 材 の 構 成 及 び 内 容 の 取 扱 い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数は109。</li> <li>アルトリコーダー、ギター、和楽器（箏・三味線・篠笛・太鼓・尺八）の順で構成されている。</li> <li>題材構成は、「演奏の仕方を身につけよう」「合わせて演奏しよう」「名曲旋律集」の三部構成となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数は98。</li> <li>アルトリコーダー、ギター、和楽器（箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八）、打楽器の順で構成されている。</li> <li>題材構成は、「Let's play instruments!（独奏楽器教材群）」「アンサンブルセミナー」「アンサンブル（合奏教材群）」「名曲スケッチ」の四部構成となっている。</li> </ul>
		②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校の実態に応じて選択できるよう、アルトリコーダー曲29、ギター曲7、和楽器曲16が掲載されている。</li> <li>巻末に「名曲旋律集」として、リコーダー曲8と箏曲2が掲載されている。</li> <li>身体を使って表現するボディパーカッションの教材曲2が掲載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校の実態に応じて選択できるよう、アルトリコーダー曲29、ギター曲4、和楽器曲11（創作活動を含む）、打楽器曲3（創作活動を含む）が掲載されている。</li> <li>巻末に「名曲スケッチ」として、リコーダー曲9が掲載されている。</li> <li>リズム伴奏で、手拍子に代わって打楽器を使う教材曲1が掲載されている。</li> </ul>
		③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な奏法の練習として、簡単な練習曲12、わらべ歌や民謡・映画音楽等による合奏曲5、和楽器を用いた合奏曲1が掲載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な奏法の練習として、簡単な練習曲28、リコーダーを基本とした合奏曲3、打楽器の合奏曲1が掲載されている。</li> <li>それぞれの楽器に関連した鑑賞曲が紹介されている。</li> </ul>
文 章 表 現 ・ 資 料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見出しは、楽器の種類ごとに色を変えて示されている。</li> <li>ブレス記号は「v」が用いられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見出しは、楽器の種類ごとに色を変えて示されている。</li> <li>ブレス記号は「v」が用いられている。</li> </ul>	
	②資料・手引書等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末にリコーダーの運指表、ギターとキーボードコード表、いろいろな用語、記号が掲載されている。</li> <li>リコーダーの息の入れ方は、写真を用いて説明されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末にリコーダーの運指表、ギターのコードダイアグラム一覧、音楽の約束（音符・休符・記号・用語）、日本の伝統音楽の楽器編成が掲載されている。</li> <li>リコーダーの息の入れ方は、Q&amp;A形式で説明されている。</li> <li>共通事項に関連した学習活動が設けられている。</li> </ul>	
挿 絵 ・ 図 表	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真掲載ページ数は51。</li> <li>イラスト掲載ページ数は8。</li> <li>巻頭には様々な演奏家の写真とメッセージが掲載されている。</li> <li>見開き3ページで日本の楽器と音楽、手作りの横笛の資料が掲載されている。</li> <li>演奏するときの姿勢や奏法等が、写真を用いて説明されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真掲載ページ数は42。</li> <li>イラスト掲載ページ数は18。</li> <li>巻頭には様々な演奏家の写真とコメントが掲載されている。</li> <li>演奏するときの姿勢や奏法等が、写真を用いて説明されている。</li> </ul>	
	②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>網代綴じ。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平綴じ。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>	
教 科 独 自	①共通事項との関連を図りながら、思いや意図をもって表現を工夫して演奏することについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲種別曲数は、クラシック19、近現代8、我が国の伝統的な音楽7、それ以外の日本の音楽22、諸民族の音楽5が取り上げられている。</li> <li>「合わせて演奏しよう」の中の4曲については演奏のポイントが記載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲種別曲数は、クラシック13、近現代15、我が国の伝統的な音楽6、それ以外の日本の音楽10、諸民族の音楽8が取り上げられている。</li> <li>「アンサンブル」の全ての曲に共通事項に関連する演奏のポイントが記載されている。</li> </ul>	
	②楽器の特徴や奏法について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルトリコーダーでは、20音の運指を段階的に学習できるよう練習曲が配列されている。</li> <li>練習曲7、二重奏曲10が配列されている。</li> <li>和楽器の種類別ページ数は、箏12、三味線8、篠笛4、太鼓8、尺八2。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルトリコーダーでは、15音の運指を段階的に学習できるよう練習曲が配列されている。</li> <li>輪奏曲2を含む練習曲10、二重奏曲5が配列されている。</li> <li>和楽器の種類別ページ数は、箏8、三味線6、太鼓4、篠笛2、尺八2。</li> </ul>	

## 1 学習指導要領に示された目標

## 【美術科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

## 【各学年の目標】

	第1学年	第2・3学年
(1)	楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。	主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
(2)	対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。	対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
(3)	自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。	自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

## 【共通事項】

(1)	「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。
ア	形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。
イ	形や色彩などの特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。

## 2 調査研究の観点

(1) 絵や彫刻などに表現する活動。	① 対象を見つめ、感じ取る力や想像力を高めることについて、どのように示されているか。 ② 表現の技能を身につけ、表現方法を創意工夫することについて、どのように示されているか。
(2) デザインや工芸などに表現する活動	① 豊かに発想し、構想する力を高めることについて、どのように示されているか。 ② 美しく表現したり、創造的に表現することについて、どのように示されているか。
(3) 鑑賞する活動	① 自然の造形、美術作品などに対する基礎的な理解や見方を深め、よさや美しさなどを味わい、美術を愛好する心情を育てることについて、どのように示されているか。 ② 美術文化や文化遺産等に対する関心を高め、心豊かに生きるための美術の働きなどに関心を持つことについて、どのように示されているか。 ③ 作品から感じ取ったイメージを表現させることについて、どのように示されているか。

# 【 美術 】

観点		発行者	9 開隆堂	38 光村																																																								
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な題材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元、題材設定に関しては、学年の発達や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力・判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・領域・分野の構成（ページ数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">表現</th> <th rowspan="2">鑑賞</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン・工芸</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>166</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「表現」のページに鑑賞の図版を盛り込んでいる。</p> <p>・鑑賞に関わる内容については、オリエンテーションのページ数は29。見開きページ数は36。</p> <p>・題材ごとの目標は4つの観点で示されている。</p> <p>・課題解決の手だてが示されている箇所は20。問いかけの数は98。部分拡大をした作品の数は11。</p>	表現		鑑賞	合計	絵・彫刻	デザイン・工芸	59	53	54	166	<p>・領域・分野の構成（ページ数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">表現</th> <th rowspan="2">鑑賞</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン・工芸</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>54</td> <td>62</td> <td>54</td> <td>170</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「表現」のページに鑑賞の図版を盛り込んでいる。</p> <p>・鑑賞に関わる内容については、オリエンテーションのページ数は18。見開きページ数は36。</p> <p>・題材ごとの目標は4つの観点で示されている。</p> <p>・課題解決の手だてが示されている箇所は46。問いかけの数は94。部分拡大をした作品の数は4。</p>	表現		鑑賞	合計	絵・彫刻	デザイン・工芸	54	62	54	170																																				
	表現		鑑賞	合計																																																								
	絵・彫刻	デザイン・工芸																																																										
59	53	54	166																																																									
表現		鑑賞	合計																																																									
絵・彫刻	デザイン・工芸																																																											
54	62	54	170																																																									
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引き等が有効に使われ、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・テーマと題材名は角ゴシック体、本文は明朝体。</p> <p>・主文は敬体、説明文は常体。</p> <p>・主題や学びのねらいの文末は「～しましょう」。</p> <p>・技法と用具の資料は「パレットコーナー」や「道具箱」としてまとめられ、題目数は4。図版数は20。</p> <p>・学習指導要領（共通事項）の手引きは、「色彩ホームページ」などにまとめられ、題目数は10。図版数は20。</p> <p>・制作過程を示す図版数は17。</p>	<p>・テーマと題材名は丸ゴシック体、本文は明朝体。</p> <p>・主文は敬体、説明文は常体。</p> <p>・主題や学びのねらいの文末は「～しよう」。</p> <p>・技法と用具の資料は「学習を支える資料」としてまとめられ、題目数は10。図版数は101。</p> <p>・学習指導要領（共通事項）の手引きは、「学習を支える資料」などにまとめられ、題目数は4。図版数は60。</p> <p>・制作過程を示す図版数は25。</p>																																																									
紙質・造本	<p>①挿絵、図表、統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質、造本については、どのように示されているか。</p>	<p>・掲載されている作品数（総数 425）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生徒作品</th> <th>日本の作家作品</th> <th>海外の作家作品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>234</td> <td>104</td> <td>87</td> </tr> </tbody> </table> <p>・用紙は光沢あり。表紙はコーティング。造本はA4判。</p> <p>・配色等に関する配慮の記載あり。</p> <p>・美術1、美術2・3の2分冊。</p>	生徒作品	日本の作家作品	海外の作家作品	234	104	87	<p>・掲載されている作品数（総数 495）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生徒作品</th> <th>日本の作家作品</th> <th>海外の作家作品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>156</td> <td>226</td> <td>113</td> </tr> </tbody> </table> <p>・用紙は光沢あり。表紙はコーティング。造本はA4判。</p> <p>・配色等に関する配慮の記載あり。</p> <p>・美術1、美術2・3の2分冊。</p>	生徒作品	日本の作家作品	海外の作家作品	156	226	113																																													
生徒作品	日本の作家作品	海外の作家作品																																																										
234	104	87																																																										
生徒作品	日本の作家作品	海外の作家作品																																																										
156	226	113																																																										
教科独自	絵・彫刻	<p>①対象を見つめ、感じ取る力や想像力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②表現の技法を身につけ、表現方法を創意工夫することについてどのように示されているか。</p>	<p>・主題を基に構想するための資料数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>題材</th> <th>図版</th> <th>作者の言葉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>20</td> <td>144</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・創意工夫して表現するための資料数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技法</th> <th>情報</th> <th>生徒作品</th> <th>作家作品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>30</td> <td>92</td> <td>73</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ	題材	図版	作者の言葉	20	20	144	2	技法	情報	生徒作品	作家作品	14	30	92	73	<p>・主題を基に構想するための資料数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>題材</th> <th>図版</th> <th>作者の言葉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>21</td> <td>134</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>・創意工夫して表現するための資料数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技法</th> <th>情報</th> <th>生徒作品</th> <th>作家作品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>70</td> <td>48</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ	題材	図版	作者の言葉	21	21	134	17	技法	情報	生徒作品	作家作品	15	70	48	66																								
	テーマ	題材	図版	作者の言葉																																																								
	20	20	144	2																																																								
技法	情報	生徒作品	作家作品																																																									
14	30	92	73																																																									
テーマ	題材	図版	作者の言葉																																																									
21	21	134	17																																																									
技法	情報	生徒作品	作家作品																																																									
15	70	48	66																																																									
A表現	デザイン・工芸	<p>①豊かに発想し、構想する力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②美しく表現したり、創造的に表現したりすることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・目的や機能を考え、発想するための資料数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>テーマ</th> <th>題材</th> <th>図版</th> <th>作者の言葉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構成・装飾</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>50</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>伝達</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>50</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>用途・機能</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>59</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・創造的に表現するための資料数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>情報</th> <th>生徒作品</th> <th>作家作品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>24</td> <td>107</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>	内容	テーマ	題材	図版	作者の言葉	構成・装飾	2	17	50	1	伝達	4	12	50	0	用途・機能	5	16	59	1	手順	情報	生徒作品	作家作品	8	24	107	51	<p>・目的や機能を考え、発想するための資料数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>テーマ</th> <th>題材</th> <th>図版</th> <th>作者の言葉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構成・装飾</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>92</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>伝達</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>43</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>用途・機能</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>54</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>・創造的に表現するための資料数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>情報</th> <th>生徒作品</th> <th>作家作品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16</td> <td>35</td> <td>43</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table>	内容	テーマ	題材	図版	作者の言葉	構成・装飾	7	7	92	0	伝達	4	5	43	1	用途・機能	6	6	54	6	手順	情報	生徒作品	作家作品	16	35	43	91
内容	テーマ	題材	図版	作者の言葉																																																								
構成・装飾	2	17	50	1																																																								
伝達	4	12	50	0																																																								
用途・機能	5	16	59	1																																																								
手順	情報	生徒作品	作家作品																																																									
8	24	107	51																																																									
内容	テーマ	題材	図版	作者の言葉																																																								
構成・装飾	7	7	92	0																																																								
伝達	4	5	43	1																																																								
用途・機能	6	6	54	6																																																								
手順	情報	生徒作品	作家作品																																																									
16	35	43	91																																																									
B鑑賞	<p>①自然の造形、美術作品などに対する基礎的な理解や見方を深め、よさや美しさなどを味わうことについて、どのように示されているか。</p> <p>②美術文化や文化遺産等に対する関心を高め、心豊かに生きるための美術の働きなどに関心を持つことについて、どのように示されているか。</p> <p>③作品から感じ取ったイメージを表現させることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・自然の造形のみしさを味わう題材数は1。ページ数は4。図版数は9。</p> <p>・美術作品などに対する理解を深める題材数は14。ページ数は36。図版数は131。</p> <p>・美術文化や文化遺産に関する題材数は11。ページ数は19。図版数は69。</p> <p>・日常生活と美術との関わりを扱った題材数は6。ページ数は38。</p> <p>・話し合いのための視点を示した箇所は23。</p>	<p>・自然の造形のみしさを味わう題材数は2。ページ数は10。図版数は30。</p> <p>・美術作品などに対する理解を深める題材数は18。ページ数は33。図版数は86。</p> <p>・美術文化や文化遺産に関する題材数は8。ページ数は20。図版数は45。</p> <p>・日常生活と美術との関わりを扱った題材数は16。ページ数は36。</p> <p>・話し合いのための視点を示した箇所は28。</p>																																																									

# 【 美 術 】

観点		発行者	116 日 文																														
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な題材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元、題材設定に関しては、学年の発達や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力・判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・領域・分野の構成（ページ数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">表現</th> <th rowspan="2">鑑賞</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン・工芸</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>44</td> <td>46</td> <td>80</td> <td>170</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「表現」のページに鑑賞の図版を盛り込んでいる。</p> <p>・鑑賞に関わる内容については、オリエンテーションのページ数は17。見開きページ数は58。</p> <p>・題材ごとの目標は2~4つの観点で示されている。</p> <p>・課題解決の手だてが示されている箇所は46。問いかけの数は82。部分拡大をした作品の数は2。</p>				表現		鑑賞	合計	絵・彫刻	デザイン・工芸	44	46	80	170																	
	表現		鑑賞	合計																													
	絵・彫刻	デザイン・工芸																															
44	46	80	170																														
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引き等が有効に使われ、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・テーマと題材名は丸ゴシック体、本文は明朝体。</p> <p>・主文は敬体、説明文は常体。</p> <p>・主題や学びのねらいの文末は「～しましょう」。</p> <p>・技法と用具の資料は巻末に「表現や鑑賞の資料」としてまとめられ、題目数は17。図版数は57。</p> <p>・学習指導要領〔共通事項〕の手引きは、「色彩の資料」「技法の資料」などにまとめられ、題目数は2。図版数は15。</p> <p>・制作過程を示す図版数は11。</p>																															
挿絵・図表 紙質・造本	<p>①挿絵、図表、統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質、造本については、どのように示されているか。</p>	<p>・掲載されている作品数（総数 476）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生徒作品</th> <th>日本の作家作品</th> <th>海外の作家作品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>198</td> <td>179</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table> <p>・用紙は光沢あり。表紙はコーティング。造本はA4 変形判。</p> <p>・配色等に関する配慮の記載あり。</p> <p>・美術1、美術2・3上、美術2・3下の3分冊。</p>				生徒作品	日本の作家作品	海外の作家作品	198	179	99																						
生徒作品	日本の作家作品	海外の作家作品																															
198	179	99																															
教科独自	絵・彫刻	<p>①対象を見つめ、感じ取る力や想像力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②表現の技法を身につけ、表現方法を創意工夫することについてどのように示されているか。</p>	<p>・主題を基に構想するための資料数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>題材</th> <th>図版</th> <th>作者の言葉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>25</td> <td>185</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>・創意工夫して表現するための資料数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技法</th> <th>情報</th> <th>生徒作品</th> <th>作家作品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>84</td> <td>93</td> <td>129</td> </tr> </tbody> </table>				テーマ	題材	図版	作者の言葉	25	25	185	30	技法	情報	生徒作品	作家作品	5	84	93	129											
	テーマ	題材	図版	作者の言葉																													
	25	25	185	30																													
技法	情報	生徒作品	作家作品																														
5	84	93	129																														
A表現 デザイン・工芸	<p>①豊かに発想し、構想する力を高めることについて、どのように示されているか。</p> <p>②美しく表現したり、創造的に表現したりすることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・目的や機能を考え、発想するための資料数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>テーマ</th> <th>題材</th> <th>図版</th> <th>作者の言葉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>構成・装飾</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>74</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>伝達</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>37</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>用途・機能</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>79</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>・創造的に表現するための資料数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>情報</th> <th>生徒作品</th> <th>作家作品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>44</td> <td>85</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table>				内容	テーマ	題材	図版	作者の言葉	構成・装飾	7	12	74	6	伝達	6	8	37	2	用途・機能	10	10	79	7	手順	情報	生徒作品	作家作品	8	44	85	66
内容	テーマ	題材	図版	作者の言葉																													
構成・装飾	7	12	74	6																													
伝達	6	8	37	2																													
用途・機能	10	10	79	7																													
手順	情報	生徒作品	作家作品																														
8	44	85	66																														
B鑑賞	<p>①自然の造形、美術作品などに対する基礎的な理解や見方を深め、よさや美しさなどを味わうことについて、どのように示されているか。</p> <p>②美術文化や文化遺産等に対する関心を高め、心豊かに生きるための美術の働きなどに関心を持つことについて、どのように示されているか。</p> <p>③作品から感じ取ったイメージを表現させることについて、どのように示されているか。</p>	<p>・自然の造形的美しさを味わう題材数は6。ページ数は17。図版数は15。</p> <p>・美術作品などに対する理解を深める題材数は13。ページ数は48。図版数は133。</p> <p>・美術文化や文化遺産に関する題材数は24。ページ数は67。図版数は188。</p> <p>・日常生活と美術との関わりを扱った題材数は21。ページ数は42。</p> <p>・話し合いのための視点を示した箇所は49。</p>																															





## 1 学習指導要領に示された目標

### 【保健体育科の目標】

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

### 【各学年の目標】

		第1学年・第2学年	第3学年
体育分野	(1)	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、知識や技能を高め、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにする。
	(2)	運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。	運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の調和的発達を図る。
	(3)	運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。	運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。
保健分野	個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。		

### 【体育理論の内容】

第1学年及び第2学年	1 運動やスポーツの多様性 (1) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。 2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全 (2) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。
第3学年	3 文化としてのスポーツの意義 (1) 文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。

## 2 教科独自の調査研究の観点

(1) 体育分野	① 運動やスポーツに関する基礎的な内容を実践的に理解することについて、どのように示されているか。
(2) 保健分野	① 自らの健康を適切に改善していくための基礎的な内容を実践的に理解することについて、どのように示されているか。 ② 知識を活用する学習を行うことについて、どのように示されているか。

# 【 保健体育 】

観点		発行者	2 東書	4 大日本																																																														
単元・題材の構成及び内容の取扱い	教科共通	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年ごとに「保健分野」「体育分野」の順で配置されている。</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>分野</th><th>単元数</th><th>題材数</th></tr> <tr><td>体育</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr><td>保健</td><td>4</td><td>40</td></tr> <tr><td>計</td><td>7</td><td>49</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th rowspan="2">分野</th><th colspan="3">ページ数</th></tr> <tr><th>本文</th><th>資料</th><th>学習内容のまとめ</th></tr> <tr><td>体育</td><td>18</td><td>12</td><td>3</td></tr> <tr><td>保健</td><td>87</td><td>17</td><td>12</td></tr> <tr><td>計</td><td>105</td><td>29</td><td>15</td></tr> </table>	分野	単元数	題材数	体育	3	9	保健	4	40	計	7	49	分野	ページ数			本文	資料	学習内容のまとめ	体育	18	12	3	保健	87	17	12	計	105	29	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体育分野」「保健分野」の順で配置されている。</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>分野</th><th>単元数</th><th>題材数</th></tr> <tr><td>体育</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr><td>保健</td><td>4</td><td>40</td></tr> <tr><td>計</td><td>7</td><td>49</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th rowspan="2">分野</th><th colspan="3">ページ数</th></tr> <tr><th>本文</th><th>資料</th><th>学習内容のまとめ</th></tr> <tr><td>体育</td><td>18</td><td>16</td><td>5</td></tr> <tr><td>保健</td><td>80</td><td>12</td><td>7</td></tr> <tr><td>計</td><td>98</td><td>28</td><td>12</td></tr> </table>	分野	単元数	題材数	体育	3	9	保健	4	40	計	7	49	分野	ページ数			本文	資料	学習内容のまとめ	体育	18	16	5	保健	80	12	7	計	98	28	12
		分野	単元数	題材数																																																														
		体育	3	9																																																														
保健	4	40																																																																
計	7	49																																																																
分野	ページ数																																																																	
	本文	資料	学習内容のまとめ																																																															
体育	18	12	3																																																															
保健	87	17	12																																																															
計	105	29	15																																																															
分野	単元数	題材数																																																																
体育	3	9																																																																
保健	4	40																																																																
計	7	49																																																																
分野	ページ数																																																																	
	本文	資料	学習内容のまとめ																																																															
体育	18	16	5																																																															
保健	80	12	7																																																															
計	98	28	12																																																															
②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元のはじめに、保健分野では、小学校で学習した内容と高校で学習する内容が、体育分野では、高校で学習する内容が記されている。また、他教科と関連する学習内容には「他教科」のマークが記されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元のはじめに、学習内容の構造図が示されている。</li> </ul>																																																																
③基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題の数は49。</li> <li>・学習に取り組むきっかけとなる質問の数は85。</li> <li>・一題材の基本的な学習の流れは、「今日の学習」→「やってみよう」→「本文と資料」→「考えてみよう」→「生かそう」の5段階で構成されている。</li> <li>・1時間の学習内容は、主に見開き2ページとなるよう構成されている。</li> <li>・各単元の終わりに、「章末資料」、「確認の問題と活用の問題」、「学習のまとめ」が設けられている。</li> <li>・発展的な学習内容に関わるページ数は14。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題の数は86。</li> <li>・学習に取り組むきっかけとなる質問の数は46。</li> <li>・一題材の基本的な学習の流れは、「学習課題」→「考えよう」→「本文と資料」→「学習を活かして」の4段階で構成されている。</li> <li>・1時間の学習内容は、主に見開き2ページとなるよう構成されている。</li> <li>・各単元の終わりに、「章末資料」、「学習のまとめ」が設けられている。</li> <li>・発展的な学習内容に関わるページ数は13。</li> </ul>																																																																
文章表現・資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</li> <li>②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね1ページの文字数は330、行数は11。</li> <li>・重要語句を太ゴシックで強調し、全てにルビがふられている。また全ての文字に、ユニバーサルデザインフォントを使用。</li> <li>・牽引の項目数は349。</li> <li>・語句や本文についての解説数は72。</li> <li>・関連するWebサイトのURLがページ内に記載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね1ページの文字数は336、行数は12。</li> <li>・重要語句を太ゴシックで強調。本文のふりがなに、ユニバーサルデザインフォントを使用。</li> <li>・牽引の項目数は292。</li> <li>・語句や本文についての解説数は28。</li> </ul>																																																															
紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> <li>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</li> <li>②紙質・造本については、どのように示されているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考の助けとなる図表、写真、統計の数は、以下のとおりである。</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>図表</th><th>写真</th><th>統計</th><th>作文(手記)</th></tr> <tr><td>184</td><td>72</td><td>60</td><td>3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造本：AB判。植物油インキ使用。</li> <li>・ユニバーサルデザインにより、配色の配慮あり。</li> </ul>	図表	写真	統計	作文(手記)	184	72	60	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考の助けとなる図表、写真、統計の数は、以下のとおりである。</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>図表</th><th>写真</th><th>統計</th><th>作文(手記)</th></tr> <tr><td>187</td><td>67</td><td>52</td><td>3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造本：B5変型判。植物油インキ使用。</li> <li>・ユニバーサルデザインにより、配色の配慮あり。</li> </ul>	図表	写真	統計	作文(手記)	187	67	52	3																																															
図表	写真	統計	作文(手記)																																																															
184	72	60	3																																																															
図表	写真	統計	作文(手記)																																																															
187	67	52	3																																																															
体育分野(体育理論)	教科独自	①運動やスポーツに関する基礎的な内容を実践的に理解することについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な内容を実践的に理解するためのチェック項目、記述欄、コラムやトピックスの数は、以下のとおりである。</li> </ul> <table border="1"> <tr><th colspan="3">1 運動やスポーツの多様性</th></tr> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>9</td><td>5</td><td>2</td></tr> <tr><th colspan="3">2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全</th></tr> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>36</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th colspan="3">3 文化としてのスポーツの意義</th></tr> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>15</td><td>2</td><td>2</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育分野との関連や体力を高めるための取り組みを記したページ数は5。</li> <li>・新体力テストの行い方については、巻末資料に掲載されている。</li> </ul>	1 運動やスポーツの多様性			チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	9	5	2	2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全			チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	36	2	1	3 文化としてのスポーツの意義			チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	15	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な内容を実践的に理解するためのチェック項目、記述欄、コラムやトピックスの数は、以下のとおりである。</li> </ul> <table border="1"> <tr><th colspan="3">1 運動やスポーツの多様性</th></tr> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>13</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><th colspan="3">2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全</th></tr> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>20</td><td>0</td><td>7</td></tr> <tr><th colspan="3">3 文化としてのスポーツの意義</th></tr> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>11</td><td>0</td><td>4</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育分野との関連や体力を高めるための取り組みを記したページ数は5。</li> <li>・新体力テストの行い方については、体育分野に掲載されている。</li> </ul>	1 運動やスポーツの多様性			チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	13	0	0	2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全			チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	20	0	7	3 文化としてのスポーツの意義			チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	11	0	4								
1 運動やスポーツの多様性																																																																		
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
9	5	2																																																																
2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全																																																																		
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
36	2	1																																																																
3 文化としてのスポーツの意義																																																																		
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
15	2	2																																																																
1 運動やスポーツの多様性																																																																		
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
13	0	0																																																																
2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全																																																																		
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
20	0	7																																																																
3 文化としてのスポーツの意義																																																																		
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
11	0	4																																																																
保健分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自らの健康を適切に改善していくための基礎的な内容を実践的に理解することについて、どのように示されているか。</li> <li>②知識を活用する学習を行うことについて、どのように示されているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な内容を実践的に理解するためのチェック項目、記述欄、コラムやトピックスの数は、以下のとおりである。</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>188</td><td>32</td><td>30</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスカッション、ブレインストーミング、実習・実験、ロールプレイングなどの学習活動の数は17。</li> </ul>	チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	188	32	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な内容を実践的に理解するためのチェック項目、記述欄、コラムやトピックスの数は、以下のとおりである。</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>208</td><td>1</td><td>34</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスカッション、ブレインストーミング、実習・実験、ロールプレイングなどの学習活動の数は6。</li> </ul>	チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	208	1	34																																																			
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
188	32	30																																																																
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
208	1	34																																																																

# 【 保健体育 】

観点		発行者	50 大修館	224 学研																																																														
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・「体育分野」「保健分野」の順で配置されている。</p> <table border="1"> <tr><th>分野</th><th>単元数</th><th>題材数</th></tr> <tr><td>体育</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr><td>保健</td><td>4</td><td>37</td></tr> <tr><td>計</td><td>7</td><td>46</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th rowspan="2">分野</th><th colspan="3">ページ数</th></tr> <tr><th>本文</th><th>資料</th><th>学習内容のまとめ</th></tr> <tr><td>体育</td><td>24</td><td>8</td><td>3</td></tr> <tr><td>保健</td><td>92</td><td>16</td><td>4</td></tr> <tr><td>計</td><td>116</td><td>24</td><td>7</td></tr> </table> <p>・口絵のページ数は11。</p> <p>・各単元のはじめに、生徒の経験に関わる発問が示されている。</p> <p>・学習課題の数は46。</p> <p>・学習に取り組むきっかけとなる質問の数は46。</p> <p>・一題材の基本的な学習の流れは、「Question」→「本文と資料」→「学習のまとめ」の3段階で構成されている。</p> <p>・1時間の学習内容は、主に見開き2ページとなるよう構成されている。</p> <p>・各単元の終わりに、「学習のまとめ」が設けられている。</p> <p>・発展的な学習内容に関わるページ数は18。</p>	分野	単元数	題材数	体育	3	9	保健	4	37	計	7	46	分野	ページ数			本文	資料	学習内容のまとめ	体育	24	8	3	保健	92	16	4	計	116	24	7	<p>・「保健分野」「体育分野」の順で配置されている。</p> <table border="1"> <tr><th>分野</th><th>単元数</th><th>題材数</th></tr> <tr><td>体育</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr><td>保健</td><td>4</td><td>36</td></tr> <tr><td>計</td><td>7</td><td>45</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th rowspan="2">分野</th><th colspan="3">ページ数</th></tr> <tr><th>本文</th><th>資料</th><th>学習内容のまとめ</th></tr> <tr><td>体育</td><td>20</td><td>9</td><td>3</td></tr> <tr><td>保健</td><td>82</td><td>22</td><td>10</td></tr> <tr><td>計</td><td>102</td><td>31</td><td>13</td></tr> </table> <p>・口絵のページ数は4。</p> <p>・各単元のはじめに、保健分野では、小学校で学習した内容と高校で学習する内容が、体育分野では、高校で学習する内容が記されている。また、他教科と関連する学習内容には「関連」のマークが記されている。</p> <p>・学習課題の数は89。</p> <p>・学習に取り組むきっかけとなる質問の数は109。</p> <p>・一題材の基本的な学習の流れは、「学習の目標」→「ウォームアップ」→「本文と資料」→「エクササイズ」→「活用しよう」の5段階で構成されている。</p> <p>・1時間の学習内容は、主に見開き2ページとなるよう構成されている。</p> <p>・各単元の終わりに、「探求しようよ」、「章のまとめ」が設けられている。</p> <p>・発展的な学習内容に関わるページ数は16。</p>	分野	単元数	題材数	体育	3	9	保健	4	36	計	7	45	分野	ページ数			本文	資料	学習内容のまとめ	体育	20	9	3	保健	82	22	10	計	102	31	13
	分野	単元数	題材数																																																															
	体育	3	9																																																															
保健	4	37																																																																
計	7	46																																																																
分野	ページ数																																																																	
	本文	資料	学習内容のまとめ																																																															
体育	24	8	3																																																															
保健	92	16	4																																																															
計	116	24	7																																																															
分野	単元数	題材数																																																																
体育	3	9																																																																
保健	4	36																																																																
計	7	45																																																																
分野	ページ数																																																																	
	本文	資料	学習内容のまとめ																																																															
体育	20	9	3																																																															
保健	82	22	10																																																															
計	102	31	13																																																															
	文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・概ね1ページの文字数は336、行数は12。</p> <p>・重要語句を太ゴシックで強調。</p> <p>・牽引の項目数は375。</p> <p>・語句や本文についての解説数は169。</p> <p>・関連するWebサイトのURLが、ページ下に記載されている。</p>	<p>・概ね1ページの文字数は324、行数は12。</p> <p>・重要語句を太ゴシックで強調。資料等に、ユニバーサルデザインフォントを使用。</p> <p>・牽引の項目数は226。</p> <p>・語句や本文についての解説数は95。</p> <p>・関連するWebサイト名が、ページ下に記載されている。</p>																																																														
	紙質・造本	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<p>・思考の助けとなる図表、写真、統計の数は、以下のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>図表</th><th>写真</th><th>統計</th><th>作文(手記)</th></tr> <tr><td>172</td><td>127</td><td>17</td><td>5</td></tr> </table> <p>・造本：B5判。植物油インキ使用。</p> <p>・ユニバーサルデザインにより、配色の配慮あり。</p>	図表	写真	統計	作文(手記)	172	127	17	5	<p>・思考の助けとなる図表、写真、統計の数は、以下のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>図表</th><th>写真</th><th>統計</th><th>作文(手記)</th></tr> <tr><td>250</td><td>94</td><td>36</td><td>3</td></tr> </table> <p>・造本：B5判。植物油インキ使用。</p> <p>・ユニバーサルデザインにより、配色の配慮あり。</p>	図表	写真	統計	作文(手記)	250	94	36	3																																														
図表	写真	統計	作文(手記)																																																															
172	127	17	5																																																															
図表	写真	統計	作文(手記)																																																															
250	94	36	3																																																															
教科独自	体育分野	<p>①運動やスポーツに関する基礎的な内容を実践的に理解することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・基礎的な内容を実践的に理解するためのチェック項目、記述欄、コラムやトピックスの数は、以下のとおりである。</p> <p>1 運動やスポーツの多様性</p> <table border="1"> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>4</td><td>3</td><td>2</td></tr> </table> <p>2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全</p> <table border="1"> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>12</td><td>4</td><td>3</td></tr> </table> <p>3 文化としてのスポーツの意義</p> <table border="1"> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>5</td></tr> </table> <p>・体育分野との関連や体力を高めるための取り組みを記したページ数は6。</p> <p>・新体力テストの行い方と調査結果の活用については、体育分野に掲載されている。</p>	チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	4	3	2	チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	12	4	3	チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	3	3	5	<p>・基礎的な内容を実践的に理解するためのチェック項目、記述欄、コラムやトピックスの数は、以下のとおりである。</p> <p>1 運動やスポーツの多様性</p> <table border="1"> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>12</td><td>2</td><td>1</td></tr> </table> <p>2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全</p> <table border="1"> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>10</td><td>2</td><td>3</td></tr> </table> <p>3 文化としてのスポーツの意義</p> <table border="1"> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>8</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <p>・体育分野との関連や体力を高めるための取り組みを記したページ数は4。</p> <p>・新体力テストの行い方と調査結果の活用については、巻末資料に掲載されている。</p>	チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	12	2	1	チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	10	2	3	チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	8	3	3																										
	チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																															
4	3	2																																																																
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
12	4	3																																																																
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
3	3	5																																																																
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
12	2	1																																																																
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
10	2	3																																																																
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
8	3	3																																																																
	保健分野	<p>①自らの健康を適切に改善していくための基礎的な内容を実践的に理解することについて、どのように示されているか。</p> <p>②知識を活用する学習を行うことについて、どのように示されているか。</p>	<p>・基礎的な内容を実践的に理解するためのチェック項目、記述欄、コラムやトピックスの数は、以下のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>34</td><td>20</td><td>39</td></tr> </table> <p>・ディスカッション、ブレインストーミング、実習・実験、ロールプレイングなどの学習活動の数は16。</p>	チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	34	20	39	<p>・基礎的な内容を実践的に理解するためのチェック項目、記述欄、コラムやトピックスの数は、以下のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>チェック項目</th><th>記述欄</th><th>コラム・トピックス</th></tr> <tr><td>187</td><td>23</td><td>21</td></tr> </table> <p>・ディスカッション、ブレインストーミング、実習・実験、ロールプレイングなどの学習活動の数は14。</p>	チェック項目	記述欄	コラム・トピックス	187	23	21																																																		
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
34	20	39																																																																
チェック項目	記述欄	コラム・トピックス																																																																
187	23	21																																																																



## 1 学習指導要領に示された目標

## 【技術・家庭科の目標】

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

## 【技術分野の目標】

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

## 2 教科独自の調査研究の観点

(1) 材料と加工に関する技術	<p>① 設計・製作に関わる実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりの基礎的な知識と技術を身に付けさせることについて、どのように示されているか。</p> <p>② 生活と技術のかかわりを理解させることについて、どのように示されているか。</p>
(2) エネルギー変換に関する技術	<p>① エネルギー利用の基礎的な知識と技術を身に付けさせ、環境と資源について、どのように示されているか。</p> <p>② 生活とエネルギーのかかわりを理解させることについて、どのように示されているか。</p>
(3) 生物育成に関する技術	<p>① 生物育成に関する基礎的な知識と技術を身に付けさせ、技術が社会や環境に果たす役割や影響を理解させることについて、どのように示されているか。</p>
(4) 情報に関する技術	<p>① 情報手段の特性を生かした適切なコンピュータの利用を通して、コンピュータ活用の基礎的な知識と技術を身に付けさせることについて、どのように示されているか。</p> <p>② 情報モラルを理解させることについて、どのように示されているか。</p>

# 【 技術・家庭（技術分野） 】

観点		発行者	2 東 書						6 教 団																																																																																																																			
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるように示されているか。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査内容</th> <th colspan="4">①</th> <th colspan="2">②</th> <th>③</th> </tr> <tr> <th>ページ数</th> <th>ページ数の割合</th> <th>大題材数</th> <th>小題材数</th> <th>学習内容と生活の関連数</th> <th>習得状況の確認項目数</th> <th>言語活動の項目数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料と加工</td> <td>74</td> <td>31%</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>エネルギー変換</td> <td>56</td> <td>24%</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>生物育成技術</td> <td>44</td> <td>18%</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>情報に関する技術</td> <td>64</td> <td>27%</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>238</td> <td>100%</td> <td>13</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>29</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>						調査内容	①				②		③	ページ数	ページ数の割合	大題材数	小題材数	学習内容と生活の関連数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数	材料と加工	74	31%	3	9	9	7	11	エネルギー変換	56	24%	3	11	11	6	12	生物育成技術	44	18%	3	7	7	7	9	情報に関する技術	64	27%	4	13	13	9	13	合 計	238	100%	13	40	40	29	45	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査内容</th> <th colspan="4">①</th> <th colspan="2">②</th> <th>③</th> </tr> <tr> <th>ページ数</th> <th>ページ数の割合</th> <th>大題材数</th> <th>小題材数</th> <th>学習内容と生活の関連数</th> <th>習得状況の確認項目数</th> <th>言語活動の項目数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料と加工</td> <td>74</td> <td>30%</td> <td>6</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>エネルギー変換</td> <td>54</td> <td>22%</td> <td>5</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>6</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>生物育成技術</td> <td>56</td> <td>23%</td> <td>5</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>情報に関する技術</td> <td>60</td> <td>25%</td> <td>4</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>244</td> <td>100%</td> <td>20</td> <td>85</td> <td>85</td> <td>23</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>						調査内容	①				②		③	ページ数	ページ数の割合	大題材数	小題材数	学習内容と生活の関連数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数	材料と加工	74	30%	6	20	20	6	11	エネルギー変換	54	22%	5	23	23	6	17	生物育成技術	56	23%	5	22	22	6	9	情報に関する技術	60	25%	4	20	20	5	35	合 計	244	100%	20	85	85	23	72
	調査内容	①				②		③																																																																																																																				
		ページ数	ページ数の割合	大題材数	小題材数	学習内容と生活の関連数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数																																																																																																																				
材料と加工	74	31%	3	9	9	7	11																																																																																																																					
エネルギー変換	56	24%	3	11	11	6	12																																																																																																																					
生物育成技術	44	18%	3	7	7	7	9																																																																																																																					
情報に関する技術	64	27%	4	13	13	9	13																																																																																																																					
合 計	238	100%	13	40	40	29	45																																																																																																																					
調査内容	①				②		③																																																																																																																					
	ページ数	ページ数の割合	大題材数	小題材数	学習内容と生活の関連数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数																																																																																																																					
材料と加工	74	30%	6	20	20	6	11																																																																																																																					
エネルギー変換	54	22%	5	23	23	6	17																																																																																																																					
生物育成技術	56	23%	5	22	22	6	9																																																																																																																					
情報に関する技術	60	25%	4	20	20	5	35																																																																																																																					
合 計	244	100%	20	85	85	23	72																																																																																																																					
	文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引き等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判で、概ね1行の文字数は28、1ページの行数は10。</li> <li>・重要事項は黒色、太字ゴシック体で示されており、個数は109。</li> <li>・参考となる資料や解説数は39。</li> <li>・発展学習の項目数は2。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・B5判で、概ね1行の文字数は28、1ページの行数は10。</li> <li>・重要事項は黒色、太字ゴシック体で示されており、個数は135。</li> <li>・参考となる資料や解説数は21。</li> <li>・発展学習の項目数は5。</li> </ul>																																																																																																																			
	挿絵・図表	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵、図表、統計等がカラーで示されている。</li> <li>・再生紙で、植物油インキが使用されている。</li> <li>・配色等に関する配慮の記載あり</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵、図表、統計等がカラーで示されている。</li> <li>・再生紙で、植物油インキが使用されている。</li> <li>・配色等に関する配慮の記載あり</li> </ul>																																																																																																																			
教科独自	材料と加工に関する技術	<p>①設計・製作に関わる実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりの基礎的な知識と技術を身に付けさせることについて、どのように示されているか。</p> <p>②生活と技術のかかわりを理解させることについて、どのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工方法（けがき、切断、部品加工、接合など）ごとに材料にあわせて説明されている。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">①</th> <th>実験例数</th> <td>4</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>製作例数</th> <td>9</td> </tr> <tr> <th colspan="2">伝統と文化に関する内容数</th> <td>7</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">②</th> <th>生活と技術に関する内容数</th> <td>17</td> </tr> <tr> <th>安全指導に関する内容数</th> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>						①	実験例数	4	製作例数	9	伝統と文化に関する内容数		7	②	生活と技術に関する内容数	17	安全指導に関する内容数	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材、プラスチック、金属の基本的な加工方法を制作例ごとに説明されている。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">①</th> <th>実験例数</th> <td>3</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>製作例数</th> <td>8</td> </tr> <tr> <th colspan="2">伝統と文化に関する内容数</th> <td>6</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">②</th> <th>生活と技術に関する内容数</th> <td>20</td> </tr> <tr> <th>安全指導に関する内容数</th> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>						①	実験例数	3	製作例数	8	伝統と文化に関する内容数		6	②	生活と技術に関する内容数	20	安全指導に関する内容数	12																																																																																				
	①	実験例数	4																																																																																																																									
		製作例数	9																																																																																																																									
伝統と文化に関する内容数		7																																																																																																																										
②	生活と技術に関する内容数	17																																																																																																																										
	安全指導に関する内容数	18																																																																																																																										
①	実験例数	3																																																																																																																										
	製作例数	8																																																																																																																										
伝統と文化に関する内容数		6																																																																																																																										
②	生活と技術に関する内容数	20																																																																																																																										
	安全指導に関する内容数	12																																																																																																																										
	エネルギー変換に関する技術	<p>①エネルギー利用の基礎的な知識と技術を身に付けさせ、環境と資源について、どのように示されているか。</p> <p>②生活とエネルギーのかかわりを理解させることについて、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">①</th> <th>エネルギー変換の方法に関する題材数</th> <td>7</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>実験・実習例数</th> <td>10</td> </tr> <tr> <th>原子力に関する内容数</th> <td>2</td> </tr> <tr> <th>環境に関する内容数</th> <td>2</td> </tr> <tr> <th>②</th> <th>生活と技術に関する内容数</th> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>						①	エネルギー変換の方法に関する題材数	7	実験・実習例数	10	原子力に関する内容数	2	環境に関する内容数	2	②	生活と技術に関する内容数	22	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">①</th> <th>エネルギー変換の方法に関する題材数</th> <td>11</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>実験・実習例数</th> <td>3</td> </tr> <tr> <th>原子力に関する内容数</th> <td>2</td> </tr> <tr> <th>環境に関する内容数</th> <td>4</td> </tr> <tr> <th>②</th> <th>生活と技術に関する内容数</th> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>						①	エネルギー変換の方法に関する題材数	11	実験・実習例数	3	原子力に関する内容数	2	環境に関する内容数	4	②	生活と技術に関する内容数	23																																																																																						
①	エネルギー変換の方法に関する題材数	7																																																																																																																										
	実験・実習例数	10																																																																																																																										
	原子力に関する内容数	2																																																																																																																										
	環境に関する内容数	2																																																																																																																										
②	生活と技術に関する内容数	22																																																																																																																										
①	エネルギー変換の方法に関する題材数	11																																																																																																																										
	実験・実習例数	3																																																																																																																										
	原子力に関する内容数	2																																																																																																																										
	環境に関する内容数	4																																																																																																																										
②	生活と技術に関する内容数	23																																																																																																																										
	生物育成に関する技術	<p>①生物育成に関する基礎的な知識と技術を身に付けさせ、技術が社会や環境に果たす役割や影響を理解させることについて、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">①</th> <th>植物の栽培や動物の飼育などの題材数</th> <td>3</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>実験例数</th> <td>11</td> </tr> <tr> <th>栽培の工夫に関する項目数</th> <td>3</td> </tr> <tr> <th>社会や環境に果たす役割や影響についての掲載数</th> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>						①	植物の栽培や動物の飼育などの題材数	3	実験例数	11	栽培の工夫に関する項目数	3	社会や環境に果たす役割や影響についての掲載数	4	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">①</th> <th>植物の栽培や動物の飼育などの題材数</th> <td>2</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>実験例数</th> <td>10</td> </tr> <tr> <th>栽培の工夫に関する項目数</th> <td>6</td> </tr> <tr> <th>社会や環境に果たす役割や影響についての掲載数</th> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>						①	植物の栽培や動物の飼育などの題材数	2	実験例数	10	栽培の工夫に関する項目数	6	社会や環境に果たす役割や影響についての掲載数	7																																																																																												
①	植物の栽培や動物の飼育などの題材数	3																																																																																																																										
	実験例数	11																																																																																																																										
	栽培の工夫に関する項目数	3																																																																																																																										
	社会や環境に果たす役割や影響についての掲載数	4																																																																																																																										
①	植物の栽培や動物の飼育などの題材数	2																																																																																																																										
	実験例数	10																																																																																																																										
	栽培の工夫に関する項目数	6																																																																																																																										
	社会や環境に果たす役割や影響についての掲載数	7																																																																																																																										
	情報に関する技術	<p>①情報手段の特性を生かした適切なコンピュータの利用を通して、コンピュータ活用の基礎的な知識と技術を身に付けさせることについて、どのように示されているか。</p> <p>②情報モラルを理解させることについて、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">①</th> <th>生活と情報に関する内容数</th> <td>37</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>デジタル作品の設計・製作例数</th> <td>8</td> </tr> <tr> <th>②</th> <th>情報モラルに関する内容数</th> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>						①	生活と情報に関する内容数	37	デジタル作品の設計・製作例数	8	②	情報モラルに関する内容数	5	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">①</th> <th>生活と情報に関する内容数</th> <td>20</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>デジタル作品の設計・製作例数</th> <td>4</td> </tr> <tr> <th>②</th> <th>情報モラルに関する内容数</th> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>						①	生活と情報に関する内容数	20	デジタル作品の設計・製作例数	4	②	情報モラルに関する内容数	5																																																																																														
①	生活と情報に関する内容数	37																																																																																																																										
	デジタル作品の設計・製作例数	8																																																																																																																										
②	情報モラルに関する内容数	5																																																																																																																										
①	生活と情報に関する内容数	20																																																																																																																										
	デジタル作品の設計・製作例数	4																																																																																																																										
②	情報モラルに関する内容数	5																																																																																																																										

# 【 技術・家庭（技術分野） 】

観点		発行者	9 開 隆 堂																																																							
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるように示されているか。</p>	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">調査内容</th> <th colspan="4">①</th> <th colspan="2">②</th> <th>③</th> </tr> <tr> <th>ページ数</th> <th>ページ数の割合</th> <th>大題材数</th> <th>小題材数</th> <th>学習内容と生活の関連数</th> <th>習得状況の確認項目数</th> <th>言語活動の項目数</th> </tr> <tr> <td>材料と加工</td> <td>72</td> <td>32%</td> <td>6</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>7</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>エネルギー変換</td> <td>44</td> <td>20%</td> <td>6</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>生物育成技術</td> <td>40</td> <td>18%</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>情報に関する技術</td> <td>68</td> <td>30%</td> <td>8</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>8</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>224</td> <td>100%</td> <td>26</td> <td>84</td> <td>84</td> <td>28</td> <td>83</td> </tr> </table>	調査内容	①				②		③	ページ数	ページ数の割合	大題材数	小題材数	学習内容と生活の関連数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数	材料と加工	72	32%	6	31	31	7	31	エネルギー変換	44	20%	6	14	14	6	14	生物育成技術	40	18%	6	15	15	7	14	情報に関する技術	68	30%	8	24	24	8	24	合計	224	100%	26	84	84	28	83
	調査内容	①				②		③																																																		
		ページ数	ページ数の割合	大題材数	小題材数	学習内容と生活の関連数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数																																																		
	材料と加工	72	32%	6	31	31	7	31																																																		
	エネルギー変換	44	20%	6	14	14	6	14																																																		
生物育成技術	40	18%	6	15	15	7	14																																																			
情報に関する技術	68	30%	8	24	24	8	24																																																			
合計	224	100%	26	84	84	28	83																																																			
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引き等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B5判で、概ね1行の文字数は24。1ページの行数は10。</li> <li>・重要事項は黒色、太字ゴシック体で示されており、個数は167。</li> <li>・参考となる資料や解説数は97。</li> <li>・発展学習の項目数は2。</li> </ul>																																																								
紙質・挿絵・図表	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵、図表、統計等がカラーで示されている。</li> <li>・再生紙で、大豆油インキが使用されている。</li> <li>・配色等に関する配慮の記載あり</li> </ul>																																																								
材料と加工に関する技術	<p>①設計・製作に関わる実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりの基礎的な知識と技術を身に付けさせることについて、どのように示されているか。</p> <p>②生活と技術のかかわりを理解させることについて、どのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工方法（けがき、切断、部品加工、接合など）ごとに材料にあわせて説明されている。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">①</td> <td>実験例数</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>製作例数</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>伝統と文化に関する内容数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②</td> <td>生活と技術に関する内容数</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>安全指導に関する内容数</td> <td>16</td> </tr> </table>	①	実験例数	3	製作例数	9	伝統と文化に関する内容数	1	②	生活と技術に関する内容数	31	安全指導に関する内容数	16																																												
①	実験例数	3																																																								
	製作例数	9																																																								
	伝統と文化に関する内容数	1																																																								
②	生活と技術に関する内容数	31																																																								
	安全指導に関する内容数	16																																																								
技術 エネルギー変換に関する	<p>①エネルギー利用の基礎的な知識と技術を身に付けさせ、環境と資源について、どのように示されているか。</p> <p>②生活とエネルギーのかかわりを理解させることについて、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">①</td> <td>エネルギー変換の方法に関する題材数</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>実験・実習例数</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>原子力に関する内容数</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>環境に関する内容数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>生活と技術に関する内容数</td> <td>14</td> </tr> </table>	①	エネルギー変換の方法に関する題材数	5	実験・実習例数	5	原子力に関する内容数	3	環境に関する内容数	2	②	生活と技術に関する内容数	14																																												
①	エネルギー変換の方法に関する題材数	5																																																								
	実験・実習例数	5																																																								
	原子力に関する内容数	3																																																								
	環境に関する内容数	2																																																								
②	生活と技術に関する内容数	14																																																								
生物育成に関する技術	<p>①生物育成に関する基礎的な知識と技術を身に付けさせ、技術が社会や環境に果たす役割や影響を理解させることについて、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">①</td> <td>植物の栽培や動物の飼育などの題材数</td> <td>6</td> <td rowspan="2">作物 9</td> <td rowspan="2">飼育 1</td> </tr> <tr> <td>実習例数</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>栽培の工夫に関する項目数</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>社会や環境に果たす役割や影響についての掲載数</td> <td>10</td> </tr> </table>	①	植物の栽培や動物の飼育などの題材数	6	作物 9	飼育 1	実習例数	10	栽培の工夫に関する項目数	10	社会や環境に果たす役割や影響についての掲載数	10																																													
①	植物の栽培や動物の飼育などの題材数	6		作物 9	飼育 1																																																					
	実習例数	10																																																								
	栽培の工夫に関する項目数	10																																																								
	社会や環境に果たす役割や影響についての掲載数	10																																																								
情報に関する技術	<p>①情報手段の特性を生かした適切なコンピュータの利用を通して、コンピュータ活用の基礎的な知識と技術を身に付けさせることについて、どのように示されているか。</p> <p>②情報モラルを理解させることについて、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">①</td> <td>生活と情報に関する内容数</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>デジタル作品の設計・製作例数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>情報モラルに関する内容数</td> <td>5</td> </tr> </table>	①	生活と情報に関する内容数	24	デジタル作品の設計・製作例数	8	②	情報モラルに関する内容数	5																																																
①	生活と情報に関する内容数	24																																																								
	デジタル作品の設計・製作例数	8																																																								
②	情報モラルに関する内容数	5																																																								





## 1 学習指導要領に示された目標

## 【技術・家庭科の目標】

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

## 【家庭分野の目標】

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

## 2 教科独自の調査研究の観点

(1) 家族・家庭と子どもの成長	<p>① 家族・家庭に関して学ぶための、幼児や家族・家庭に関する知識や、家族や幼児に主体的にかかわることについて、どのように示されているか。</p> <p>② これからの生活を展望して、課題をもって家庭生活をよりよくしようとするについて、どのように示されているか。</p>
(2) 食生活と自立	<p>① 日常食の献立作成や調理などの知識及び技術を身に付けることについて、どのように示されているか。</p> <p>② 課題をもって食生活をよりよくしようとするについて、どのように示されているか。</p>
(3) 衣生活・住生活と自立	<p>① 衣服の選択、着用、手入れと住居の安全で快適な住まい方についての知識及び技術を身に付けることについて、どのように示されているか。</p> <p>② 課題をもって衣生活と住生活をよりよくしようとするについて、どのように示されているか。</p>
(4) 身近な消費生活と環境	<p>① 消費生活と環境についての知識及び技術を身に付けることについて、どのように示されているか。</p> <p>② 身近な消費生活の視点から持続可能な社会を展望して、環境に配慮した生活を主体的に営むことについて、どのように示されているか。</p>

# 【技術・家庭（家庭分野）】

観点		発行者	2 東 書							6 教 図																																																					
単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。 ②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。 ③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。	調査内容 内容	①				②		③	調査内容 内容	①				②		③																																														
			ページ数	ページ数の割合	大題材数	小題材数	学習内容と生活の関連数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数		ページ数	ページ数の割合	大題材数	小題材数	学習内容と生活の関連数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数																																														
教科共通		家族・家庭	50	21%	3	12	8	9	12	家族・家庭	56	21%	2	14	13	2	7																																														
		食生活	71	30%	3	16	12	5	3	食生活	75	28%	3	8	8	3	1																																														
		衣生活・住生活	74	32%	3	12	12	4	5	衣生活・住生活	75	28%	3	11	11	2	1																																														
		消費生活と環境	27	12%	2	8	7	2	1	消費生活と環境	47	18%	2	9	11	2	4																																														
		生活の課題と実践	11	5%						生活の課題と実践	14	5%																																																			
		合計	233	100%	11	48	39	20	21	合計	267	100%	10	42	43	9	13																																														
文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。 ②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>AB判で、概ね1行の文字数は、28。1ページの行数は、22。</li> <li>重要事項は黒色、太字ゴシック体で示されており、個数は、125。</li> <li>参考となる資料や解説数は、54。</li> <li>発展学習の項目数は、4。</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>B5判で、概ね1行の文字数は、27。1ページの行数は、17。</li> <li>重要事項は黒色、太字ゴシック体で示されており、個数は、216。</li> <li>参考となる資料や解説数は、44。</li> <li>発展学習の項目数は、9。</li> </ul>																																																						
		挿絵・図表	<ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵・図表・統計等がカラーで示されている。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> <li>再生紙、植物油インキが使用されている。</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵・図表・統計等がカラーで示されている。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> <li>再生紙、植物性インキが使用されている。</li> </ul>																																																					
子ども・家庭と	①家族・家庭に関して学ぶための、幼児や家族・家庭に関する知識や、家族や幼児に主体的にかかわることについて、どのように示されているか。 ②これからの生活を展望して、課題をもって家庭生活をよりよくしようとする事について、どのように示されているか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児とのふれ合いは、12ページにわたり示され、学習過程は、「幼児との関わり方を考えよう」「実習例」「幼児との関わり方についてまとめよう」で構成されている。</li> <li>ガイダンスの内容は、本編前に「家庭分野のガイダンス」として示され、合計ページ数は、12。</li> <li>生活の課題と実践の課題例数は、2。</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児とのふれ合いは、6ページにわたり示され、学習過程は「①ふれ合いのための事前準備」「②幼児とふれ合う」「③ふれ合い実習を終えて」で構成されている。</li> <li>ガイダンスの内容は、本編前に「家庭分野の学習を、はじめよう」として示され、合計ページ数は、4。</li> <li>生活の課題と実践の課題例数は、2。</li> </ul>																																																					
		食生活と自立	<ul style="list-style-type: none"> <li>①日常食の献立作成や調理などの知識及び技術を身に付けることについて、どのように示されているか。</li> <li>②課題をもって食生活をよりよくしようとする事について、どのように示されているか。</li> </ul>							<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>調理の基礎技能の指導項目数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調理実習例数</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調理実習例数のうち「郷土料理」</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調理実習例数のうち「行事食」</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調理実習のページ数</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td></td> <td>献立作成に係る資料のページ数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>生活の課題と実践の課題例数</td> <td>2</td> </tr> </table>							①	調理の基礎技能の指導項目数	8		調理実習例数	40		調理実習例数のうち「郷土料理」	1		調理実習例数のうち「行事食」	2		調理実習のページ数	21		献立作成に係る資料のページ数	7	②	生活の課題と実践の課題例数	2	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>調理の基礎技能の指導項目数</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調理実習例数</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調理実習例数のうち「郷土料理」</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調理実習例数のうち「行事食」</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調理実習のページ数</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td></td> <td>献立作成に係る資料のページ数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>生活の課題と実践の課題例数</td> <td>2</td> </tr> </table>							①	調理の基礎技能の指導項目数	5		調理実習例数	33		調理実習例数のうち「郷土料理」	1		調理実習例数のうち「行事食」	2		調理実習のページ数	21		献立作成に係る資料のページ数	8	②
①	調理の基礎技能の指導項目数		8																																																												
	調理実習例数	40																																																													
	調理実習例数のうち「郷土料理」	1																																																													
	調理実習例数のうち「行事食」	2																																																													
	調理実習のページ数	21																																																													
	献立作成に係る資料のページ数	7																																																													
②	生活の課題と実践の課題例数	2																																																													
①	調理の基礎技能の指導項目数	5																																																													
	調理実習例数	33																																																													
	調理実習例数のうち「郷土料理」	1																																																													
	調理実習例数のうち「行事食」	2																																																													
	調理実習のページ数	21																																																													
	献立作成に係る資料のページ数	8																																																													
②	生活の課題と実践の課題例数	2																																																													
衣生活と・住生活と自立	①衣服の選択、着用、手入れと住居の安全で快適な住まい方についての知識及び技術を身に付けることについて、どのように示されているか。 ②課題をもって衣生活と住生活をよりよくしようとする事について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣生活に関わる体験・実験・実習等の例数は、17。</li> <li>手縫いの基礎技能は「基礎技能」に、ミシン縫いの基礎技能は「基礎技能」に示され、項目数は、14。</li> <li>住生活に関わる体験・実験・実習等の例数は、4。</li> <li>生活の課題と実践の課題例数は、2。</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>衣生活に関わる体験・実験・実習等の例数は、16。</li> <li>手縫いの基礎技能は「衣服の手入れ・実習」に、ミシン縫いの基礎技能は「製作実習の基礎」に示され、項目数は、17。</li> <li>住生活に関わる体験・実験・実習等の例数は、2。</li> <li>生活の課題と実践の課題例数は、2。</li> </ul>																																																						
		身近な消費生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境への影響に関わる衣生活、食生活、住生活、消費生活の実験例数は、4。</li> <li>消費生活に関わる調査活動例数は、3。</li> <li>家庭生活での実践例数は、7。</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>環境への影響に関わる衣生活、食生活、住生活、消費生活の実験例数は、7。</li> <li>消費生活に関わる調査活動例数は、8。</li> <li>家庭生活での実践例数は、11。</li> </ul>																																																					

# 【技術・家庭（家庭分野）】

観点		発行者	9 開 隆 堂																					
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。	調査内容 内容	①				②	③															
		②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達の段階・経験に照らして、どのように示されているか。		ページ数	ページ数の割合	大題材数	小題材数	学習内容と生活の関連数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数														
		③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるよう、どのように示されているか。		家族・家庭	50	20%	4	17	10	5	6													
				食生活	86	34%	4	16	11	5	4													
				衣生活・住生活	66	27%	2	6	15	7	9													
				消費生活と環境	34	14%	4	10	9	5	3													
	生活の課題と実践	12		5%																				
合計		248	100%	14	52	45	22	22																
	文章表現・資料	①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B5 判で、概ね 1 行の文字数は、24。1 ページの行数は、20。</li> <li>・重要事項は黒色、太字ゴシック体で示されており、個数は、159。</li> <li>・参考となる資料や解説数は、34。</li> <li>・発展学習の項目数は、11。</li> </ul>																					
	紙質・挿絵・造本	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵・図表・統計等がカラーで示されている。</li> <li>・配色等に関する配慮の記載あり。</li> </ul>																					
		②紙質・造本については、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生紙、大豆油インキが使用されている。</li> </ul>																					
教科独自	子ども・家族・家庭と成長	①家族・家庭に関して学ぶための、幼児や家族・家庭に関する知識や、家族や幼児に主体的にかかわることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児とのふれ合いは、8 ページにわたり示され、学習過程は、「1. ふれ合い体験の前に」「2. ふれ合い体験をする」「3. ふれ合い体験をふり返る」で構成されている。</li> </ul>																					
		②これからの生活を展望して、課題をもって家庭生活をよりよくしようとする事について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンスの内容は、本編前に「家庭分野の学習をはじめよう」として示され、合計ページ数は、8。</li> <li>・生活の課題と実践の課題例数は、2。</li> </ul>																					
	食生活と自立	①日常食の献立作成や調理などの知識及び技術を身に付けることについて、どのように示されているか。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="6">①</td> <td>調理の基礎技能の指導項目数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>調理実習例数</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>調理実習例数のうち「郷土料理」</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>調理実習例数のうち「行事食」</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>調理実習のページ数</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>献立作成に係る資料のページ数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>生活の課題と実践の課題例数</td> <td>2</td> </tr> </table>							①	調理の基礎技能の指導項目数	8	調理実習例数	48	調理実習例数のうち「郷土料理」	1	調理実習例数のうち「行事食」	1	調理実習のページ数	23	献立作成に係る資料のページ数	7	②	生活の課題と実践の課題例数
①	調理の基礎技能の指導項目数	8																						
	調理実習例数	48																						
	調理実習例数のうち「郷土料理」	1																						
	調理実習例数のうち「行事食」	1																						
	調理実習のページ数	23																						
	献立作成に係る資料のページ数	7																						
②	生活の課題と実践の課題例数	2																						
衣生活と住生活と自立	①衣服の選択、着用、手入れと住居の安全で快適な住まい方についての知識及び技術を身に付けることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣生活に関わる体験・実験・実習等の例数は、14。</li> <li>・手縫いの基礎技能は「衣服の補修」に、ミシン縫いの基礎技能は「布を用いた物の製作」に示され、項目数は、24。</li> <li>・住生活に関わる体験・実験・実習等例数は、1。</li> </ul>																						
	②課題をもって衣生活と住生活をよりよくしようとする事について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の課題と実践の課題例数は、3。</li> </ul>																						
身近な消費生活と環境	①消費生活と環境についての知識及び技術を身に付けることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への影響に関わる衣生活、食生活、住生活、消費生活の実験例数は、3。</li> <li>・消費生活に関わる調査活動例数は、6。</li> </ul>																						
	②身近な消費生活の視点から持続可能な社会を展望して、環境に配慮した生活を主体的に営むことについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活での実践例数は、10。</li> </ul>																						



## 1 学習指導要領に示された目標

## 【外国語科の目標】

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

## 【英語の目標】

(1)	初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。
(2)	初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。
(3)	英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
(4)	英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。

## 2 教科独自の調査研究の観点

(1) 知識・理解	① 小学校外国語活動で養われた素地の上に、初歩的な英語を理解し、基礎・基本を自然に「習得」するための題材がどのように示されているか。
(2) 理解・表現の能力	① 4技能を統合的に発達させるための学習活動がどのように示されているか。
(3) 関心・意欲・態度	① 外国語を通じて、自国や他国の言語・文化に関心を持ち、グローバル人材としての視野を養う題材がどのように示されているか。 ② 4技能を駆使してコミュニケーションしていこうとする自己表現の題材がどのように示されているか。

# 【 英 語 】

観点		発行者	2 東 書	9 開隆堂																																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <tr><th>内 容</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td>総頁数</td><td>152</td><td>152</td><td>152</td></tr> <tr><td>単元数</td><td>11</td><td>7</td><td>6</td></tr> <tr><td>単調のコーナー等の数</td><td>26</td><td>15</td><td>11</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年の各単元は3つのPartと、まとめ・演習で構成されている。</li> <li>2、3年の各単元はStarting Out、Dialog、Read and Think、Activityの4つのパートで構成されている。</li> </ul> <p>・対話文：説明(物語)文のページ数の割合は、1年8:2、2年4:6、3年3:7。</p> <p>・小学校外国語活動との接続のための学習が15ページ設定されている。</p> <p>・習得した語句や文型を使って行う自己表現活動の数は、1年10、2年11、3年10。</p>	内 容	1年	2年	3年	総頁数	152	152	152	単元数	11	7	6	単調のコーナー等の数	26	15	11	<table border="1"> <tr><th>内 容</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td>総頁数</td><td>152</td><td>152</td><td>144</td></tr> <tr><td>単元数</td><td>11</td><td>12</td><td>9</td></tr> <tr><td>単調のコーナー等の数</td><td>29</td><td>19</td><td>16</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元はBasic Dialog、文型演習、本文で構成されている。</li> </ul> <p>・対話文：説明(物語)文のページ数の割合は、1年9:1、2年4:6、3年4:6。</p> <p>・小学校外国語活動との接続のための学習が17ページ設定されている。</p> <p>・習得した語句や文型を使って行う自己表現活動の数は、1年8、2年11、3年8。</p>	内 容	1年	2年	3年	総頁数	152	152	144	単元数	11	12	9	単調のコーナー等の数	29	19	16																												
	内 容	1年	2年	3年																																																												
	総頁数	152	152	152																																																												
単元数	11	7	6																																																													
単調のコーナー等の数	26	15	11																																																													
内 容	1年	2年	3年																																																													
総頁数	152	152	144																																																													
単元数	11	12	9																																																													
単調のコーナー等の数	29	19	16																																																													
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年ではブロック体、最終単元のReadingのみ活字体を使用。</li> <li>2、3年は活字体中心で、手紙文等では手書き風のフォントも使用。</li> </ul> <p>・「一言メモ」というタイトルで、本文の中に出てくる外国の事物が説明されている。</p> <p>・歌に関するコラム数は8。</p> <p>・各単元の中で、内容に関するコラムが掲載されている。</p> <p>・英語の歌はWe Are the World等8曲が扱われている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年ではブロック体、最終単元のReadingのみ活字体を使用。</li> <li>2、3年は活字体中心で、手紙文等ではブロック体を使用。</li> </ul> <p>・各単元の中で、内容に関するコラムが掲載されている。</p> <p>・英語の歌はEternal Flame等10曲が扱われている。</p>																																																													
挿絵・図表 紙質・造本	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解の助けとなるイラストや写真、図表や統計等の数は、1年65、2年75、3年74。</li> <li>ユニバーサルデザイン書体を使用。</li> <li>AB判。再生紙、植物油インキを使用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解の助けとなるイラストや写真、図表や統計等の数は、1年63、2年79、3年70。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> <li>AB判。植物油インキを使用。</li> </ul>																																																													
教科独自	知識・理解	<p>①小学校外国語活動で養われた素地の上に、初歩的な英語を理解し、基礎・基本を自然に「習得」するための題材がどのように示されているか。</p>	<table border="1"> <tr><th>内 容</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>381</td><td>412</td><td>312</td><td>1105</td></tr> </table> <p>※新出単語以外で言語活動を補充・発展させるために用いられた単語数は327。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生の巻末資料にフォニックスのまとめが設定されている。</li> <li>数単元おきに文法のまとめと演習のコーナーが設定されている。</li> <li>本文の種類(ページ数)</li> </ul> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td>物語、エッセイ、説明文</td><td>3</td><td>16</td><td>28</td></tr> <tr><td>意見文、感想文、手紙文</td><td>5</td><td>10</td><td>4</td></tr> <tr><td>対話文、スキット</td><td>29</td><td>9</td><td>8</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>5</td><td>1</td></tr> </table>	内 容	1年	2年	3年	合計	新出単語数	381	412	312	1105		1年	2年	3年	物語、エッセイ、説明文	3	16	28	意見文、感想文、手紙文	5	10	4	対話文、スキット	29	9	8	その他	0	5	1	<table border="1"> <tr><th>内 容</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>428</td><td>407</td><td>295</td><td>1130</td></tr> </table> <p>※新出単語以外で言語活動を補充・発展させるために用いられた単語数は451。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全学年の巻末資料にフォニックスのまとめが設定されている。</li> <li>数単元おきに文法のまとめと演習のコーナーが設定されている。</li> <li>本文の種類(ページ数)</li> </ul> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td>物語、エッセイ、説明文</td><td>5</td><td>12</td><td>15</td></tr> <tr><td>意見文、感想文、手紙文</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>対話文、スキット</td><td>21</td><td>18</td><td>9</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table>	内 容	1年	2年	3年	合計	新出単語数	428	407	295	1130		1年	2年	3年	物語、エッセイ、説明文	5	12	15	意見文、感想文、手紙文	2	3	4	対話文、スキット	21	18	9	その他	0	1	0
	内 容	1年	2年	3年	合計																																																											
	新出単語数	381	412	312	1105																																																											
	1年	2年	3年																																																													
物語、エッセイ、説明文	3	16	28																																																													
意見文、感想文、手紙文	5	10	4																																																													
対話文、スキット	29	9	8																																																													
その他	0	5	1																																																													
内 容	1年	2年	3年	合計																																																												
新出単語数	428	407	295	1130																																																												
	1年	2年	3年																																																													
物語、エッセイ、説明文	5	12	15																																																													
意見文、感想文、手紙文	2	3	4																																																													
対話文、スキット	21	18	9																																																													
その他	0	1	0																																																													
理解の能力 表現の能力	<p>①4技能を統合的に発達させるための学習活動がどのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4技能のうち複数を統合的に関連づけて使用するよう設定されている活動の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td>38</td><td>16</td><td>15</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の終わりのDaily Sceneのコーナーで、モデル文を読んで書いたり話したりする活動が設定されている。</li> <li>複数単元後のPresentationのコーナーで、4技能を使った表現活動が設定されている。</li> </ul>	1年	2年	3年	38	16	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>4技能のうち複数を統合的に関連づけて使用するよう設定されている活動の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td>8</td><td>12</td><td>10</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の終わりのPOWER-UPのコーナーで、各技能を伸ばす活動が設定されている。</li> <li>複数単元後のMy Projectのコーナーで、4技能を使った表現活動が設定されている。</li> </ul>	1年	2年	3年	8	12	10																																																	
1年	2年	3年																																																														
38	16	15																																																														
1年	2年	3年																																																														
8	12	10																																																														
関心・意欲・態度	<p>①外国語を通じて、自国や他国の言語・文化に関心を持ち、グローバル人材としての視野を養う題材がどのように示されているか。</p> <p>②4技能を駆使してコミュニケーションしていこうとする自己表現の題材がどのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な文化や現代の課題についての題材の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th></th><th>日本の文化</th><th>国際理解</th><th>グローバルな視野</th></tr> <tr><td>1年</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>2年</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>3年</td><td>2</td><td>0</td><td>4</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己表現活動で扱われているテーマ</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td>・自己紹介 ・一日の生活の発表 ・思い出の行事の発表</td><td>・将来の夢の発表 ・自分の町についての発表</td><td>・日本の文化についての発表 ・修学旅行についての発表 ・中学校生活についての発表</td></tr> </table>		日本の文化	国際理解	グローバルな視野	1年	0	2	1	2年	2	2	2	3年	2	0	4	1年	2年	3年	・自己紹介 ・一日の生活の発表 ・思い出の行事の発表	・将来の夢の発表 ・自分の町についての発表	・日本の文化についての発表 ・修学旅行についての発表 ・中学校生活についての発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な文化や現代の課題についての題材の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th></th><th>日本の文化</th><th>国際理解</th><th>グローバルな視野</th></tr> <tr><td>1年</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td></tr> <tr><td>2年</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>3年</td><td>3</td><td>0</td><td>5</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己表現活動で扱われているテーマ</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td>・自己紹介 ・好きな人の紹介</td><td>・なりたい人というテーマでスピーチ ・CM作り</td><td>・有名へのインタビュー ・日本文化の紹介 ・卒業に向けてのメッセージ作成</td></tr> </table>		日本の文化	国際理解	グローバルな視野	1年	2	3	1	2年	3	4	3	3年	3	0	5	1年	2年	3年	・自己紹介 ・好きな人の紹介	・なりたい人というテーマでスピーチ ・CM作り	・有名へのインタビュー ・日本文化の紹介 ・卒業に向けてのメッセージ作成																	
	日本の文化	国際理解	グローバルな視野																																																													
1年	0	2	1																																																													
2年	2	2	2																																																													
3年	2	0	4																																																													
1年	2年	3年																																																														
・自己紹介 ・一日の生活の発表 ・思い出の行事の発表	・将来の夢の発表 ・自分の町についての発表	・日本の文化についての発表 ・修学旅行についての発表 ・中学校生活についての発表																																																														
	日本の文化	国際理解	グローバルな視野																																																													
1年	2	3	1																																																													
2年	3	4	3																																																													
3年	3	0	5																																																													
1年	2年	3年																																																														
・自己紹介 ・好きな人の紹介	・なりたい人というテーマでスピーチ ・CM作り	・有名へのインタビュー ・日本文化の紹介 ・卒業に向けてのメッセージ作成																																																														

# 【 英 語 】

観点		発行者	11 学 図	15 三省堂																																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <tr><th>内 容</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>総頁数</td><td>157</td><td>163</td><td>163</td></tr> <tr><td>単元数</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td></tr> <tr><td>単元のコーナー等の数</td><td>30</td><td>21</td><td>18</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元は3つまたは4つのSectionとReviewで構成されている。</li> <li>対話文：説明(物語)文のページ数の割合は、1年9:1、2年7:3、3年4:6。</li> <li>小学校外国語活動との接続のための学習が15ページ設定されている。</li> <li>習得した語句や文型を使って行う自己表現活動の数は1年9、2年8、3年8。</li> </ul>	内 容	1 年	2 年	3 年	総頁数	157	163	163	単元数	9	8	7	単元のコーナー等の数	30	21	18	<table border="1"> <tr><th>内 容</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>総頁数</td><td>160</td><td>160</td><td>160</td></tr> <tr><td>単元数</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td></tr> <tr><td>単元のコーナー等の数</td><td>35</td><td>22</td><td>21</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元は基礎・基本を習得するGETと基礎的な力を活用するUSEで構成されている。</li> <li>対話文：説明(物語)文のページ数の割合は、1年6:4、2年4:6、3年2:8。</li> <li>小学校外国語活動との接続のための学習が12ページ設定されている。</li> <li>習得した語句や文型を使って行う自己表現活動の数は、1年6、2年11、3年10。</li> </ul>	内 容	1 年	2 年	3 年	総頁数	160	160	160	単元数	9	8	7	単元のコーナー等の数	35	22	21																												
	内 容	1 年	2 年	3 年																																																												
	総頁数	157	163	163																																																												
単元数	9	8	7																																																													
単元のコーナー等の数	30	21	18																																																													
内 容	1 年	2 年	3 年																																																													
総頁数	160	160	160																																																													
単元数	9	8	7																																																													
単元のコーナー等の数	35	22	21																																																													
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年ではブロック体、最終単元のReadingのみ活字体を使用。</li> <li>2、3年は活字体中心で、手紙文等ではブロック体も使用。</li> <li>英語の歌はHero等9曲が扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年はブロック体、最終単元で活字体を使用。</li> <li>2、3年もブロック体中心だが、物語等の読み物に活字体を使用。</li> <li>文法、言葉の補足説明が四角囲みで示されている。</li> <li>英語の歌はYou Raise Me Up等9曲が扱われている。</li> </ul>																																																													
挿絵・図表 紙質・造本	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解の助けとなるイラストや写真、図表や統計等の数は、1年91、2年88、3年76。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> <li>B5判。植物油インキを使用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解の助けとなるイラストや写真、図表や統計等の数は、1年73、2年78、3年74。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> <li>AB判。植物油インキを使用。</li> </ul>																																																													
教科独自	知識・理解	<p>①小学校外国語活動で養われた素地の上に、初歩的な英語を理解し、基礎・基本を自然に「習得」するための題材がどのように示されているか。</p>	<table border="1"> <tr><th>内 容</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>511</td><td>441</td><td>308</td><td>1260</td></tr> </table> <p>※新出単語以外で言語活動を補充・発展させるために用いられた単語数は181。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全学年の巻末資料にフォニックスのまとめが設定されている。</li> <li>数単元おきに文法のまとめのコーナーが設定されている。</li> <li>本文の種類(ページ数)</li> </ul> <table border="1"> <tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>物語、エッセイ、説明文</td><td>7</td><td>15</td><td>22</td></tr> <tr><td>意見文、感想文、手紙文</td><td>3</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr><td>対話文、スキット</td><td>24</td><td>19</td><td>8</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table>	内 容	1 年	2 年	3 年	合計	新出単語数	511	441	308	1260		1 年	2 年	3 年	物語、エッセイ、説明文	7	15	22	意見文、感想文、手紙文	3	7	8	対話文、スキット	24	19	8	その他	0	1	0	<table border="1"> <tr><th>内 容</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>399</td><td>369</td><td>252</td><td>1020</td></tr> </table> <p>※新出単語以外で言語活動を補充・発展させるために用いられた単語数は521。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1・2年生の巻末資料にフォニックスのまとめが設定されている。</li> <li>単元毎に文法のまとめのコーナー設定されている。</li> <li>本文の種類(ページ数)</li> </ul> <table border="1"> <tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>物語、エッセイ、説明文</td><td>7</td><td>17</td><td>20</td></tr> <tr><td>意見文、感想文、手紙文</td><td>6</td><td>8</td><td>13</td></tr> <tr><td>対話文、スキット</td><td>28</td><td>19</td><td>12</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>3</td><td>0</td></tr> </table>	内 容	1 年	2 年	3 年	合計	新出単語数	399	369	252	1020		1 年	2 年	3 年	物語、エッセイ、説明文	7	17	20	意見文、感想文、手紙文	6	8	13	対話文、スキット	28	19	12	その他	0	3	0
	内 容	1 年	2 年	3 年	合計																																																											
	新出単語数	511	441	308	1260																																																											
	1 年	2 年	3 年																																																													
物語、エッセイ、説明文	7	15	22																																																													
意見文、感想文、手紙文	3	7	8																																																													
対話文、スキット	24	19	8																																																													
その他	0	1	0																																																													
内 容	1 年	2 年	3 年	合計																																																												
新出単語数	399	369	252	1020																																																												
	1 年	2 年	3 年																																																													
物語、エッセイ、説明文	7	17	20																																																													
意見文、感想文、手紙文	6	8	13																																																													
対話文、スキット	28	19	12																																																													
その他	0	3	0																																																													
理解の能力	<p>①4技能を統合的に発達させるための学習活動がどのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4技能のうち複数を統合的に関連づけて使用するよう設定されている活動の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>11</td><td>13</td><td>12</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数単元後のChapter Projectで、4技能を使った表現活動が設定されている。</li> </ul>	1 年	2 年	3 年	11	13	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>4技能のうち複数を統合的に関連づけて使用するよう設定されている活動の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>7</td><td>13</td><td>10</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の終わりのUSEのコーナーで、各技能を伸ばす活動が設定されている。</li> <li>複数単元後のProjectのコーナーで、4技能を使った表現活動が設定されている。</li> </ul>	1 年	2 年	3 年	7	13	10																																																	
1 年	2 年	3 年																																																														
11	13	12																																																														
1 年	2 年	3 年																																																														
7	13	10																																																														
関心・意欲・態度	<p>①外国語を通じて、本国や他国の言語・文化に関心を持ち、グローバル人材としての視野を養う題材がどのように示されているか。</p> <p>②4技能を駆使してコミュニケーションしていきようとする自己表現の題材がどのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な文化や現代の課題についての題材の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th></th><th>日本の文化</th><th>国際理解</th><th>グローバルな視野</th></tr> <tr><td>1 年</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>2 年</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 年</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己表現活動で扱われているテーマ</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>自己紹介 ・友だちの紹介 ・写真の説明文作成 ・ALTへの手紙作成</td><td>旅行計画のスピーチ ・将来の夢のスピーチ ・自分の宝物についてのスピーチ</td><td>ALTへのインタビュー ・尊敬する人についてのスピーチ ・二者択一の自分の意見を言う活動 ・自分の人生についての作文</td></tr> </table>		日本の文化	国際理解	グローバルな視野	1 年	2	2	1	2 年	2	4	2	3 年	1	2	4	1 年	2 年	3 年	自己紹介 ・友だちの紹介 ・写真の説明文作成 ・ALTへの手紙作成	旅行計画のスピーチ ・将来の夢のスピーチ ・自分の宝物についてのスピーチ	ALTへのインタビュー ・尊敬する人についてのスピーチ ・二者択一の自分の意見を言う活動 ・自分の人生についての作文	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な文化や現代の課題についての題材の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th></th><th>日本の文化</th><th>国際理解</th><th>グローバルな視野</th></tr> <tr><td>1 年</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>2 年</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 年</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己表現活動で扱われているテーマ</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>自己紹介 ・先生へのインタビュー ・友だちへのインタビュー ・スリーヒントクイズ ・大切なものの紹介</td><td>有名人の紹介 ・自分の夢の紹介 ・自分の町の紹介</td><td>好きなことば ・先生へのインタビュー ・行きたい場所についてのスピーチ ・日本文化の紹介 ・ディスカッションをしよう</td></tr> </table>		日本の文化	国際理解	グローバルな視野	1 年	1	1	1	2 年	1	3	2	3 年	1	2	2	1 年	2 年	3 年	自己紹介 ・先生へのインタビュー ・友だちへのインタビュー ・スリーヒントクイズ ・大切なものの紹介	有名人の紹介 ・自分の夢の紹介 ・自分の町の紹介	好きなことば ・先生へのインタビュー ・行きたい場所についてのスピーチ ・日本文化の紹介 ・ディスカッションをしよう																	
	日本の文化	国際理解	グローバルな視野																																																													
1 年	2	2	1																																																													
2 年	2	4	2																																																													
3 年	1	2	4																																																													
1 年	2 年	3 年																																																														
自己紹介 ・友だちの紹介 ・写真の説明文作成 ・ALTへの手紙作成	旅行計画のスピーチ ・将来の夢のスピーチ ・自分の宝物についてのスピーチ	ALTへのインタビュー ・尊敬する人についてのスピーチ ・二者択一の自分の意見を言う活動 ・自分の人生についての作文																																																														
	日本の文化	国際理解	グローバルな視野																																																													
1 年	1	1	1																																																													
2 年	1	3	2																																																													
3 年	1	2	2																																																													
1 年	2 年	3 年																																																														
自己紹介 ・先生へのインタビュー ・友だちへのインタビュー ・スリーヒントクイズ ・大切なものの紹介	有名人の紹介 ・自分の夢の紹介 ・自分の町の紹介	好きなことば ・先生へのインタビュー ・行きたい場所についてのスピーチ ・日本文化の紹介 ・ディスカッションをしよう																																																														



# 【 英 語 】

観点		発行者	17 教 出	38 光 村																																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②単元・題材設定に関しては、学年の段階や生徒の発達段階・経験に照らして、どのように示されているか。</p> <p>③基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決する中で、思考力、判断力、表現力等をはぐむ学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<table border="1"> <tr><th>内 容</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>総頁数</td><td>144</td><td>144</td><td>144</td></tr> <tr><td>単元数</td><td>9</td><td>8</td><td>6</td></tr> <tr><td>単元のコーナー等の数</td><td>35</td><td>23</td><td>22</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元は Hop、Step で活動を通して基本文等を学び、Jump Task で単元を振り返る活動で構成されている。</li> <li>対話文：説明(物語)文のページ数の割合は、1年7:3、2年7:3、3年4:6。</li> <li>小学校外国語活動との接続のための学習が16ページ設定されている。</li> <li>習得した語句や文型を使って行う自己表現活動の数は、1年12、2年11、3年8。</li> </ul>	内 容	1 年	2 年	3 年	総頁数	144	144	144	単元数	9	8	6	単元のコーナー等の数	35	23	22	<table border="1"> <tr><th>内 容</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>総頁数</td><td>168</td><td>160</td><td>152</td></tr> <tr><td>単元数</td><td>11</td><td>9</td><td>7</td></tr> <tr><td>単元のコーナー等の数</td><td>26</td><td>19</td><td>19</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元は Try It! で基本文等を学び、練習し、You Can Do It! で実際によくある場面で使ってみる活動で構成されている。</li> <li>対話文：説明(物語)文のページ数の割合は、1年8:2、2年7:3、3年7:3。</li> <li>小学校外国語活動との接続のための学習が14ページ設定されている。</li> <li>習得した語句や文型を使って行う自己表現活動の数は、1年12、2年12、3年10。</li> </ul>	内 容	1 年	2 年	3 年	総頁数	168	160	152	単元数	11	9	7	単元のコーナー等の数	26	19	19																												
	内 容	1 年	2 年	3 年																																																												
	総頁数	144	144	144																																																												
単元数	9	8	6																																																													
単元のコーナー等の数	35	23	22																																																													
内 容	1 年	2 年	3 年																																																													
総頁数	168	160	152																																																													
単元数	11	9	7																																																													
単元のコーナー等の数	26	19	19																																																													
文章表現・資料	<p>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</p> <p>②資料・手引等が有効に使われ生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年ではブロック体、単元6以降に活字体を使用。</li> <li>2、3年は活字体を使用。</li> <li>各単元の本文の下に、外国の文化について説明されている。</li> <li>英語の歌は Smile 等6曲が扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年はブロック体を使用。はがきや新聞は手書き風文字を使用。</li> <li>2、3年は活字体を使用。</li> <li>英語の歌は Graduation Day 等7曲が扱われている。</li> </ul>																																																													
挿絵・図表 紙質・造本	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p> <p>②紙質・造本については、どのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解の助けとなるイラストや写真、図表や統計等の数は、1年70、2年87、3年80。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> <li>B5判。再生紙、植物油インキを使用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解の助けとなるイラストや写真、図表や統計等の数は、1年59、2年68、3年62。</li> <li>配色等に関する配慮の記載あり。</li> <li>AB判。植物油インキを使用。</li> </ul>																																																													
教科独自	知識・理解	<p>①小学校外国語活動で養われた素地の上に、初歩的な英語を理解し、基礎・基本を自然に「習得」するための題材がどのように示されているか。</p>	<table border="1"> <tr><th>内 容</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>457</td><td>384</td><td>240</td><td>1081</td></tr> </table> <p>※新出単語以外で言語活動を補充・発展させるために用いられた単語数は522。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生の巻末資料にフォニックスのまとめが設定されている。</li> <li>数単元おきに文法のまとめのコーナーが設定されている。</li> <li>本文の種類(ページ数)</li> </ul> <table border="1"> <tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>物語、エッセイ、説明文</td><td>7</td><td>15</td><td>16</td></tr> <tr><td>意見文、感想文、手紙文</td><td>9</td><td>9</td><td>15</td></tr> <tr><td>対話文、スキット</td><td>38</td><td>32</td><td>16</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	内 容	1 年	2 年	3 年	合計	新出単語数	457	384	240	1081		1 年	2 年	3 年	物語、エッセイ、説明文	7	15	16	意見文、感想文、手紙文	9	9	15	対話文、スキット	38	32	16	その他	0	0	0	<table border="1"> <tr><th>内 容</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>537</td><td>373</td><td>242</td><td>1152</td></tr> </table> <p>※新出単語以外で言語活動を補充・発展させるために用いられた単語数は267。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1・2年生の巻末資料にフォニックスのまとめが設定されている。</li> <li>数単元おきに文法のまとめと演習のコーナーが設定されている。</li> <li>本文の種類(ページ数)</li> </ul> <table border="1"> <tr><th></th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>物語、エッセイ、説明文</td><td>5</td><td>5</td><td>8</td></tr> <tr><td>意見文、感想文、手紙文</td><td>4</td><td>9</td><td>12</td></tr> <tr><td>対話文、スキット</td><td>30</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	内 容	1 年	2 年	3 年	合計	新出単語数	537	373	242	1152		1 年	2 年	3 年	物語、エッセイ、説明文	5	5	8	意見文、感想文、手紙文	4	9	12	対話文、スキット	30	16	17	その他	1	0	0
	内 容	1 年	2 年	3 年	合計																																																											
新出単語数	457	384	240	1081																																																												
	1 年	2 年	3 年																																																													
物語、エッセイ、説明文	7	15	16																																																													
意見文、感想文、手紙文	9	9	15																																																													
対話文、スキット	38	32	16																																																													
その他	0	0	0																																																													
内 容	1 年	2 年	3 年	合計																																																												
新出単語数	537	373	242	1152																																																												
	1 年	2 年	3 年																																																													
物語、エッセイ、説明文	5	5	8																																																													
意見文、感想文、手紙文	4	9	12																																																													
対話文、スキット	30	16	17																																																													
その他	1	0	0																																																													
理解の能力 表現の能力	<p>④4技能を統合的に発達させるための学習活動がどのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4技能のうち複数を統合的に関連づけて使用するように設定されている活動の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>31</td><td>21</td><td>16</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の終わりの Task のコーナーで、各技能を伸ばす活動が設定されている。</li> <li>複数単元後の Project のコーナーで、4技能を使った表現活動が設定されている。</li> </ul>	1 年	2 年	3 年	31	21	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>4技能のうち複数を統合的に関連づけて使用するように設定されている活動の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>16</td><td>28</td><td>29</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の終わりの You Can Do It! のコーナーで、各技能を伸ばす活動が設定されている。</li> <li>複数単元後の Go for It! のコーナーで、4技能を使った表現活動が設定されている。</li> </ul>	1 年	2 年	3 年	16	28	29																																																	
1 年	2 年	3 年																																																														
31	21	16																																																														
1 年	2 年	3 年																																																														
16	28	29																																																														
関心・意欲・態度	<p>①外国語を通じて、本国や他国の言語・文化に関心を持ち、グローバル人材としての視野を養う題材がどのように示されているか。</p> <p>②4技能を駆使してコミュニケーションしていきこうとする自己表現の題材がどのように示されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な文化や現代の課題についての題材の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th></th><th>日本の文化</th><th>国際理解</th><th>グローバルな視野</th></tr> <tr><td>1 年</td><td>1</td><td>3</td><td>0</td></tr> <tr><td>2 年</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 年</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己表現活動で扱われているテーマ</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>自己紹介 ・友だち紹介 ・好きな漫画やアニメの紹介</td><td>英語新聞をつくる活動 ・夢の紹介 ・アンケート調査の発表</td><td>自分たちの町のガイドブックを作る活動 ・卒業スピーチ</td></tr> </table>		日本の文化	国際理解	グローバルな視野	1 年	1	3	0	2 年	2	2	2	3 年	2	2	1	1 年	2 年	3 年	自己紹介 ・友だち紹介 ・好きな漫画やアニメの紹介	英語新聞をつくる活動 ・夢の紹介 ・アンケート調査の発表	自分たちの町のガイドブックを作る活動 ・卒業スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な文化や現代の課題についての題材の数</li> </ul> <table border="1"> <tr><th></th><th>日本の文化</th><th>国際理解</th><th>グローバルな視野</th></tr> <tr><td>1 年</td><td>3</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>2 年</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 年</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己表現活動で扱われているテーマ</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th></tr> <tr><td>自己紹介スピーチ ・大切な人やペットの紹介 ・インタビュー記事を作る活動</td><td>旅行の予定を書く活動 ・自分の体験のスピーチ ・自分の町の行事などの紹介</td><td>修学旅行新聞を作る活動 ・意見交換活動 ・卒業文集作成</td></tr> </table>		日本の文化	国際理解	グローバルな視野	1 年	3	1	0	2 年	1	2	2	3 年	2	1	3	1 年	2 年	3 年	自己紹介スピーチ ・大切な人やペットの紹介 ・インタビュー記事を作る活動	旅行の予定を書く活動 ・自分の体験のスピーチ ・自分の町の行事などの紹介	修学旅行新聞を作る活動 ・意見交換活動 ・卒業文集作成																	
	日本の文化	国際理解	グローバルな視野																																																													
1 年	1	3	0																																																													
2 年	2	2	2																																																													
3 年	2	2	1																																																													
1 年	2 年	3 年																																																														
自己紹介 ・友だち紹介 ・好きな漫画やアニメの紹介	英語新聞をつくる活動 ・夢の紹介 ・アンケート調査の発表	自分たちの町のガイドブックを作る活動 ・卒業スピーチ																																																														
	日本の文化	国際理解	グローバルな視野																																																													
1 年	3	1	0																																																													
2 年	1	2	2																																																													
3 年	2	1	3																																																													
1 年	2 年	3 年																																																														
自己紹介スピーチ ・大切な人やペットの紹介 ・インタビュー記事を作る活動	旅行の予定を書く活動 ・自分の体験のスピーチ ・自分の町の行事などの紹介	修学旅行新聞を作る活動 ・意見交換活動 ・卒業文集作成																																																														